

平成 28 年度
学生生活実態調査
報 告 書

平成 29 年 3 月
大 阪 体 育 大 学

はじめに

本年度も本学の全学生を対象に「学生生活実態調査」を実施しました。

調査内容は、前回同様にアルバイトの状況、授業・学習の状況、食事状況など学生生活の現状及び大学への意見・要望などを幅広く把握するものです。

今回の調査も、全学生の8割を超える学生からの調査回答を得ることができました。これは、必修科目並びに演習科目ご担当の先生方の協力によるものです。この調査結果では、前回調査結果との比較を行いながらまとめています。この報告書を参考に、関係の方々には学生の現状を確認頂き、今後の学生への指導、対応に役立てて頂けることを期待しています。

大学においても、学生がより有意義な学生生活を過ごせるよう、大学として取り組むべき課題解決方策実現に向けての基礎的資料として活用して頂きたいと思います。

最後に、調査実施に協力に頂いた学生諸君及び教員諸氏並びに報告書作成にご尽力頂いた各学部学生委員会の先生方、その他調査にご協力頂いた関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

平成29年3月

大阪体育大学

全学学生委員会

— 目 次 —

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	2
4. 回収状況	2
5. 報告書の見方	2

II 調査結果

1. 基本項目	3
2. 住居と暮らしについて	5
3. 授業・学習について	15
4. 課外活動等について	29
5. 健康等について	33
6. 不安や悩みについて	42
7. マナー等について	46
8. 進路と就職について	51
9. ボランティア活動について	65
10. 大学施設等について	72
11. 大学への意見・要望	84

III 資料

調査票	86
-----	----

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、大阪体育大学に在籍する学生を対象として、生活状況や学業などについて意見を聞き、学生生活を送る上でよりよいキャンパスづくりに役立てるとともに、今後の学生を対象とした施設や制度のあり方を検討する際の参考とすることを目的としている。

2. 調査項目

調査項目	質問項目
1. 基本項目	◆ F 1. ①所属学部・学科 ②年次 ③性別 ④入学方法 ⑤課外活動 ⑥居住形態
2. 住居と暮らしについて	◆問 1. 家賃等 ◆問 2. 大学への通学方法 ◆問 3. 通学時間 ◆問 4. 通学中の事故の経験 ◆問 4-1. 事故の経験の具体的な理由 ◆問 5. 1ヶ月平均の生活費 ◆問 6. 家族からもらう1ヶ月平均の金額 ◆問 7. アルバイトの週平均労働時間数 ◆問 7-1. アルバイトの時間帯 ◆問 8. アルバイトの月平均収入 ◆問 9. アルバイトをする理由 ◆問 10. アルバイトが理由での授業の欠席経験
3. 授業・学習について	◆問 11. カリキュラム・時間割について ◆問 12. 授業の出席状況 ◆問 13. 授業内容の理解度 ◆問 13-1. 理解困難な理由 ◆問 14. 自習時間について ◆問 15. 学習支援室の利用状況 ◆問 16. 通信機器の所有状況 ◆問 17. 大学でのパソコンの利用目的 ◆問 18. 大学でのパソコンの主な利用場所 ◆問 19. 大阪体育大学の Google ポータルサイトの認知度 ◆問 20. Gmail の利用状況 ◆問 21. Campusmate ポータルサイトの認知度 ◆問 22. 大学の情報を見るための利用媒体
4. 課外活動等について	◆問 23. 学内の課外活動の参加状況 ◆問 23. 1. 課外活動の時間 ◆問 23-2. 課外活動の不参加理由 ◆問 24. 大学祭(雨山祭)の参加状況 ◆問 24-1. 大学祭(雨山祭)の不参加理由
5. 健康等について	◆問 25. 朝食の摂食状況 ◆問 25-1. 朝食の摂食場所 ◆問 26. 三食の栄養摂取状況 ◆問 27. 食生活について ◆問 27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由 ◆問 28. 100円朝食の利用状況 ◆問 28-1. 100円朝食について感じたこと ◆問 29. タバコ喫煙状況 ◆問 29-1. 喫煙開始時期 ◆問 29-2. 喫煙のきっかけ ◆問 29-3. 禁煙経験の有無 ◆問 29-4. 学内が全面禁煙になった場合の対応 ◆問 30. 喫煙・禁煙について
6. 不安や悩みについて	◆問 31. 悩みや課題の有無 ◆問 32. 悩みや課題の具体的内容 ◆問 33. 悩みの相談相手 ◆問 34. 学生相談室について
7. マナー等について	◆問 35. マナーアップキャンペーンの参加状況 ◆問 35-1. マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえることについての認知度 ◆問 36. 学生のマナーが悪いと思うもの ◆問 37. 学内での被害の経験
8. 進路と就職について	◆問 38. 進路について ◆問 39. 進路を考える上での情報入手手段 ◆問 40. 将来の希望職種 ◆問 41. キャリア支援センターの利用状況 ◆問 41-1. キャリア支援センター利用の方法 ◆問 41-2. キャリア支援センターを利用していない理由 ◆問 42. 教職支援センターの利用状況 ◆問 42-1. 教職支援センター利用の方法 ◆問 42-2. 教職支援センターを利用していない理由

◆◇I 調査の概要◇◆

調査項目	質問項目
9. ボランティア活動について	◆問 43. ボランティア活動の経験 ◆問 43-1. ボランティア活動の経験がない理由 ◆問 44. ボランティア活動への興味・関心 ◆問 44-1. 参加を希望するボランティア活動内容 ◆問 45. ボランティア活動に関する大学での取り扱い
10. 大学施設等について	◆問 46. 大学内で昼食時に利用する施設 ◆問 47. 大学内で空き時間に利用する施設 ◆問 48. 図書館利用について ◆問 48-1. 新聞の利用状況 ◆問 48-2. 本の利用状況 ◆問 49. トレーニングルームの利用状況 ◆問 49-1. 1週間のトレーニングルームの利用時間 ◆問 50. 大学の施設で気になること ◆問 51. 大学事務局の窓口の対応 ◆問 52. 大阪体育大学の学生生活の満足度
11. 大学への意見・要望	

3. 調査設計

調査対象	学部学生全員
調査方法	授業時に指導教員による直接配布・回収（一部、窓口提出による回収）
調査期間	平成28年10月31日～平成28年11月30日

4. 回収状況

学部・研究科	対象学生数	有効回収数	有効回収率
体育学部 / スポーツ教育学科	1,314	1087	82.7%
体育学部 / 健康・スポーツマネジメント学科	768	710	92.4%
健康福祉学部 / 健康福祉学科	264	196	74.2%
教育学部 / 教育学科小学校教育コース	150	135	90.0%
教育学部 / 教育学科保健体育教育コース	113	91	80.5%
所属学部・学科不明 *1)			
合計	2609	2219	85.0%

*1) 所属学部・学科不明：所属学部・学科の設問が無回答の件数

5. 報告書の見方

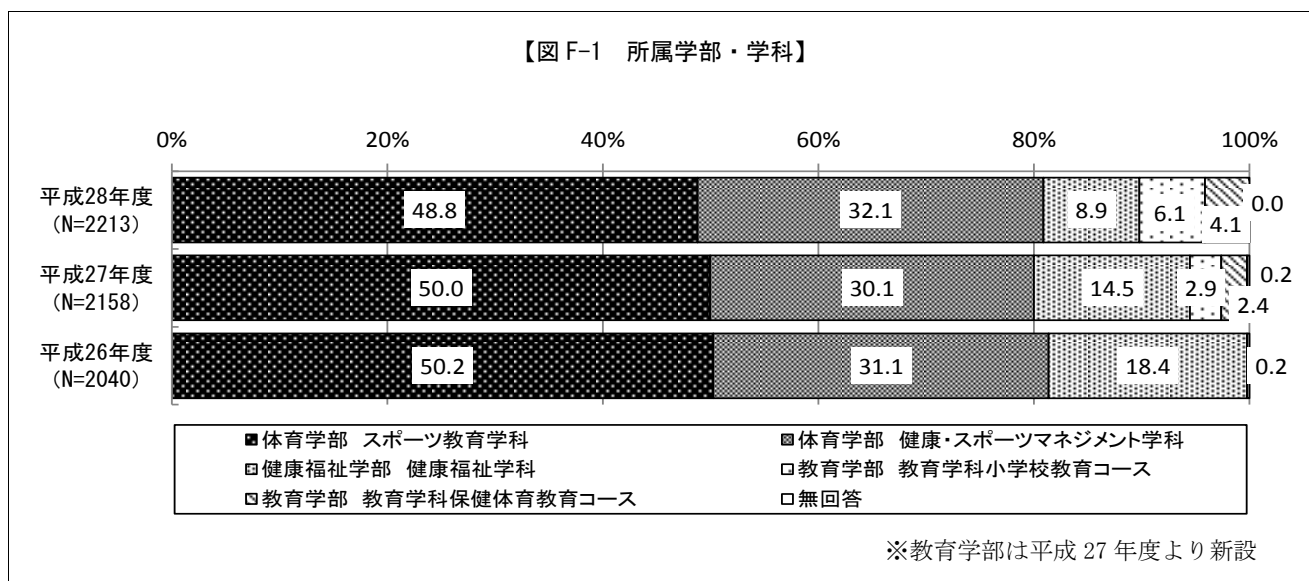
(1) 図中のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。

(2) 回答比率 (%) は回答者数 (N) を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の回答者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0%を超える。

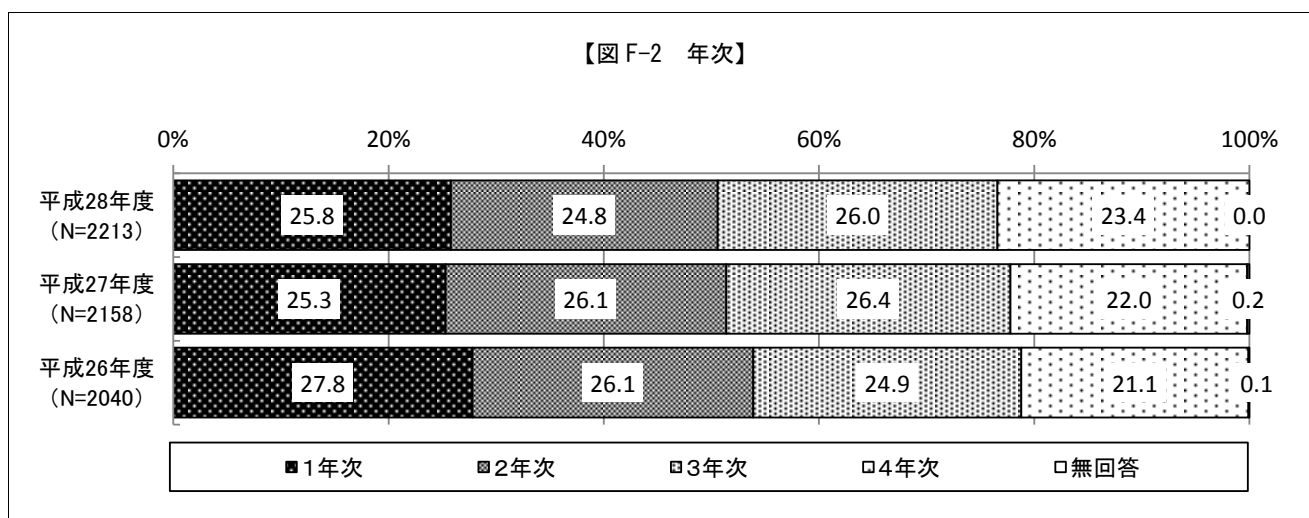
Ⅱ 調査結果

1. 基本項目

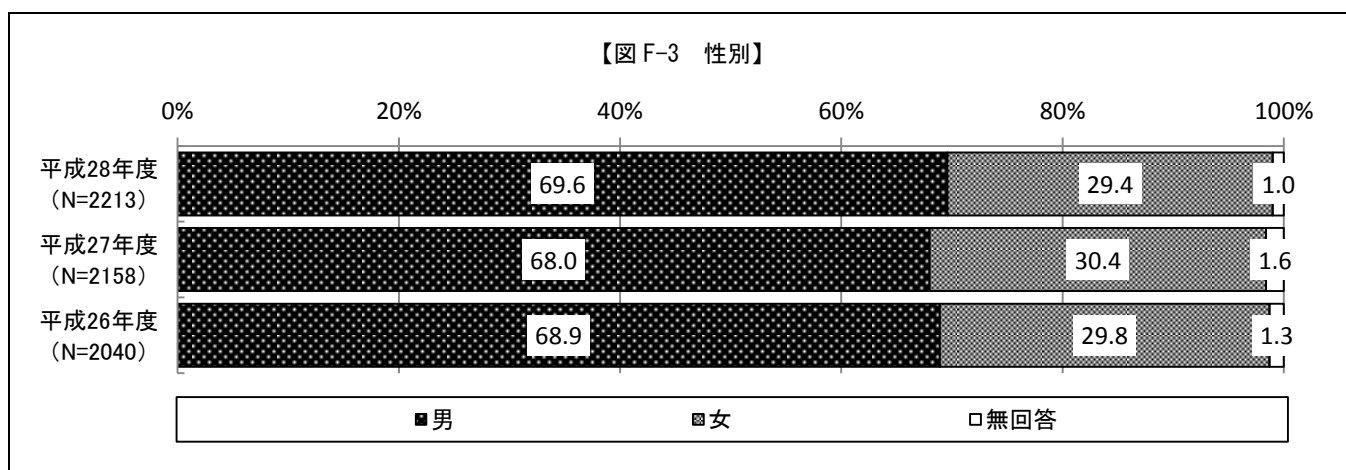
■①所属学部・学科



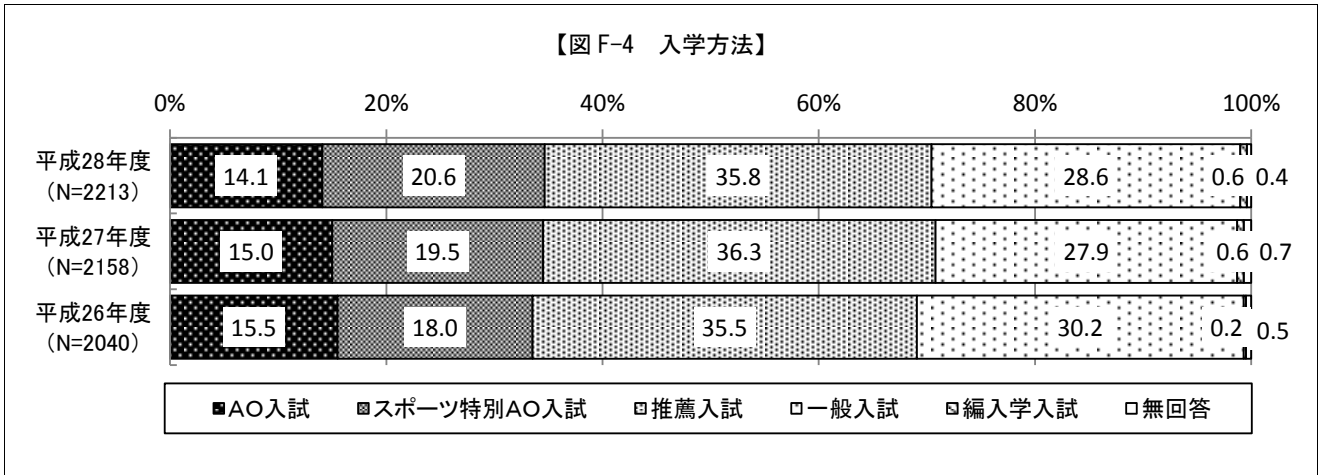
■②年次



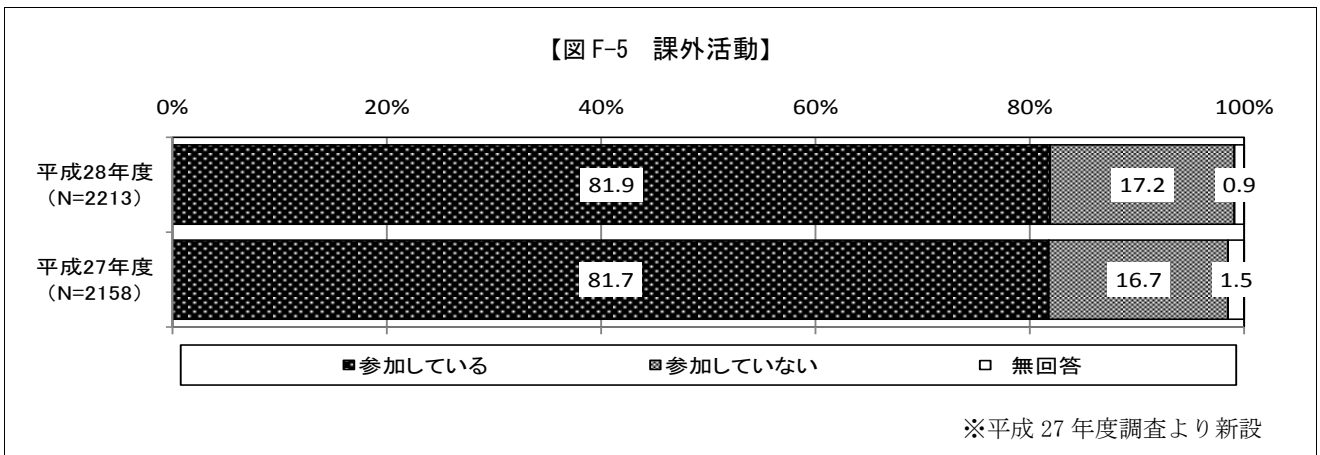
■③性別



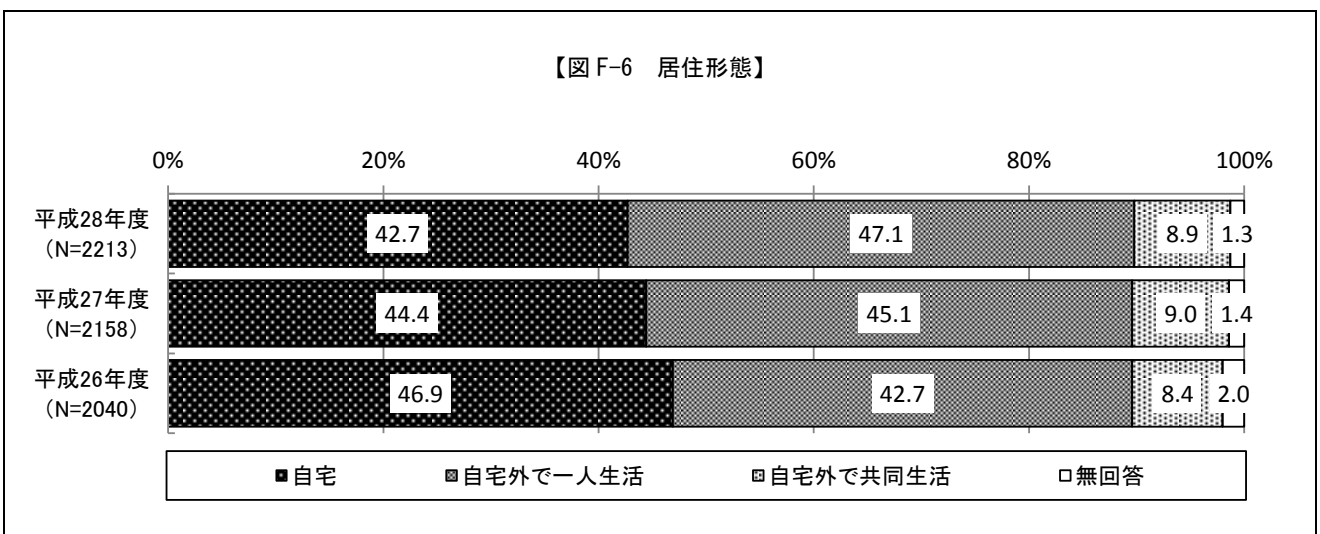
■④入学方法



■⑤課外活動



■⑥居住形態



2. 住居と暮らしについて

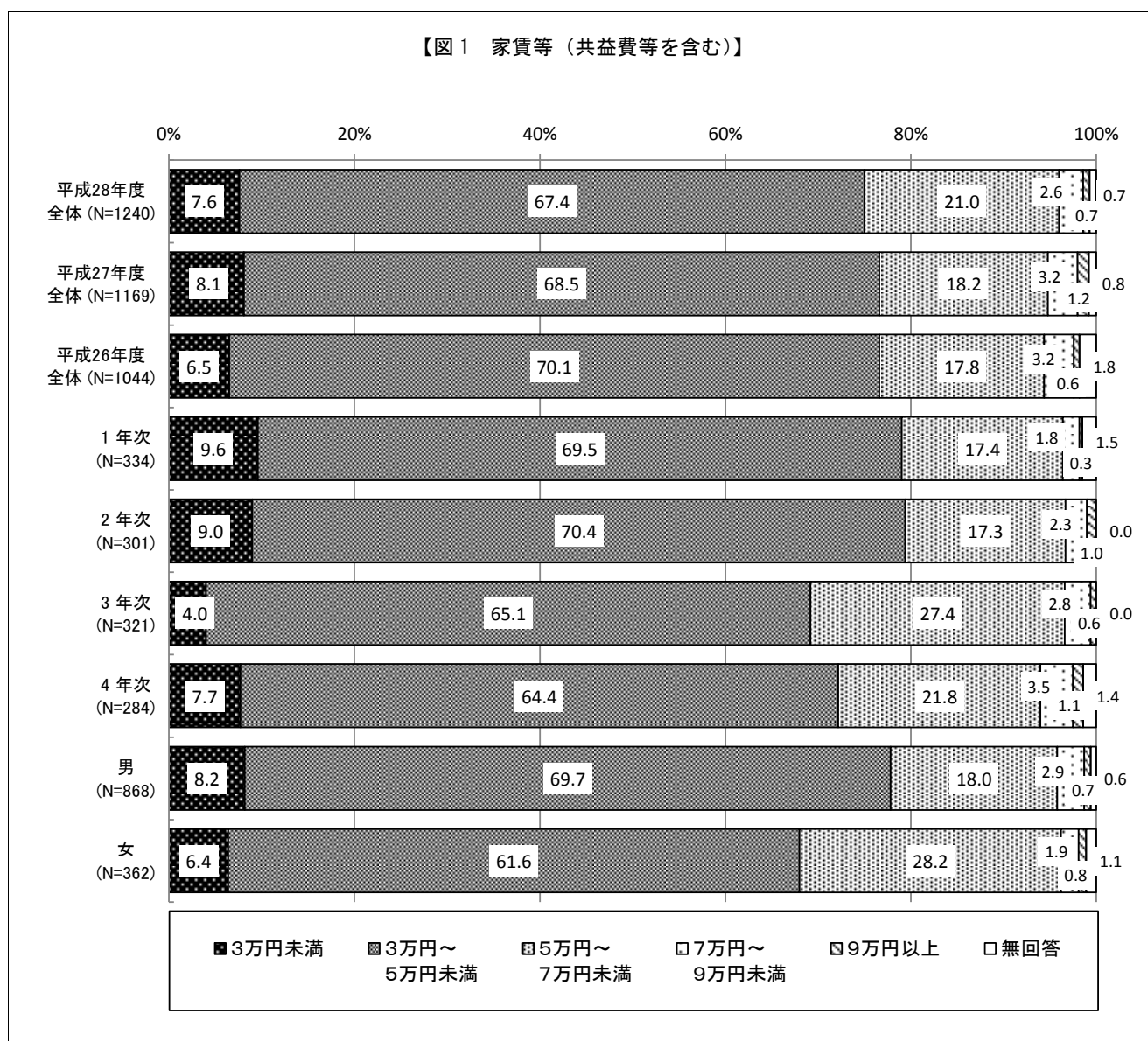
【結果概要（問1）】

問1. 自宅外で居住の場合の家賃等（共益費等を含む）は、「3万円～5万円未満」が67.4%と最も多く、「3万円未満」が7.6%と合わせると5万円未満は75.0%となっている。

平成27年度、平成26年度調査（以後、「前回調査」、「前々回調査」とする）と比べると、「5万円～7万円未満」は平成28年度調査（以後、「今回調査」とする）が最も高い数字となった。

性別でみると、「5万円未満」は男性が77.9%（8.2%+69.7%）に対し、女性は68.0%（6.4%+61.6%）と男性の方が9.9ポイント高くなっている。＜図1＞

■問1. 家賃等（共益費等を含む）（過年度調査・年次別・性別）

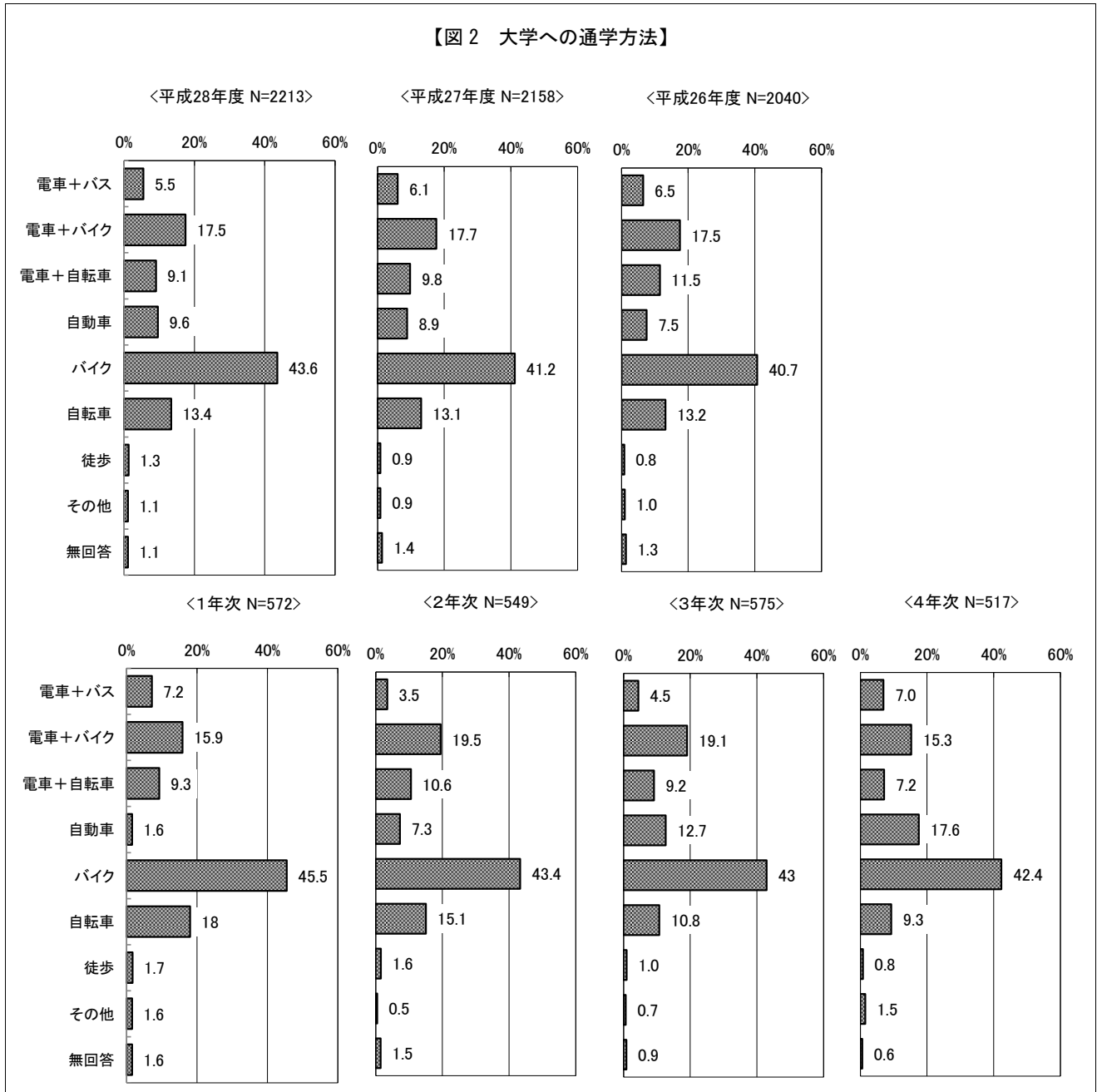


【結果概要（問2）】

問2. 大学への通学方法としては「バイク」が43.6%で最も多く、次に「電車+バイク」が17.5%、「自転車」が13.4%となっている。

年次別でみると、「自動車」は年次が上がるほど増加し、「自転車」は年次が上がるほど減少している。〈図2〉

■問2. 大学への通学方法（過年度調査・年次別）



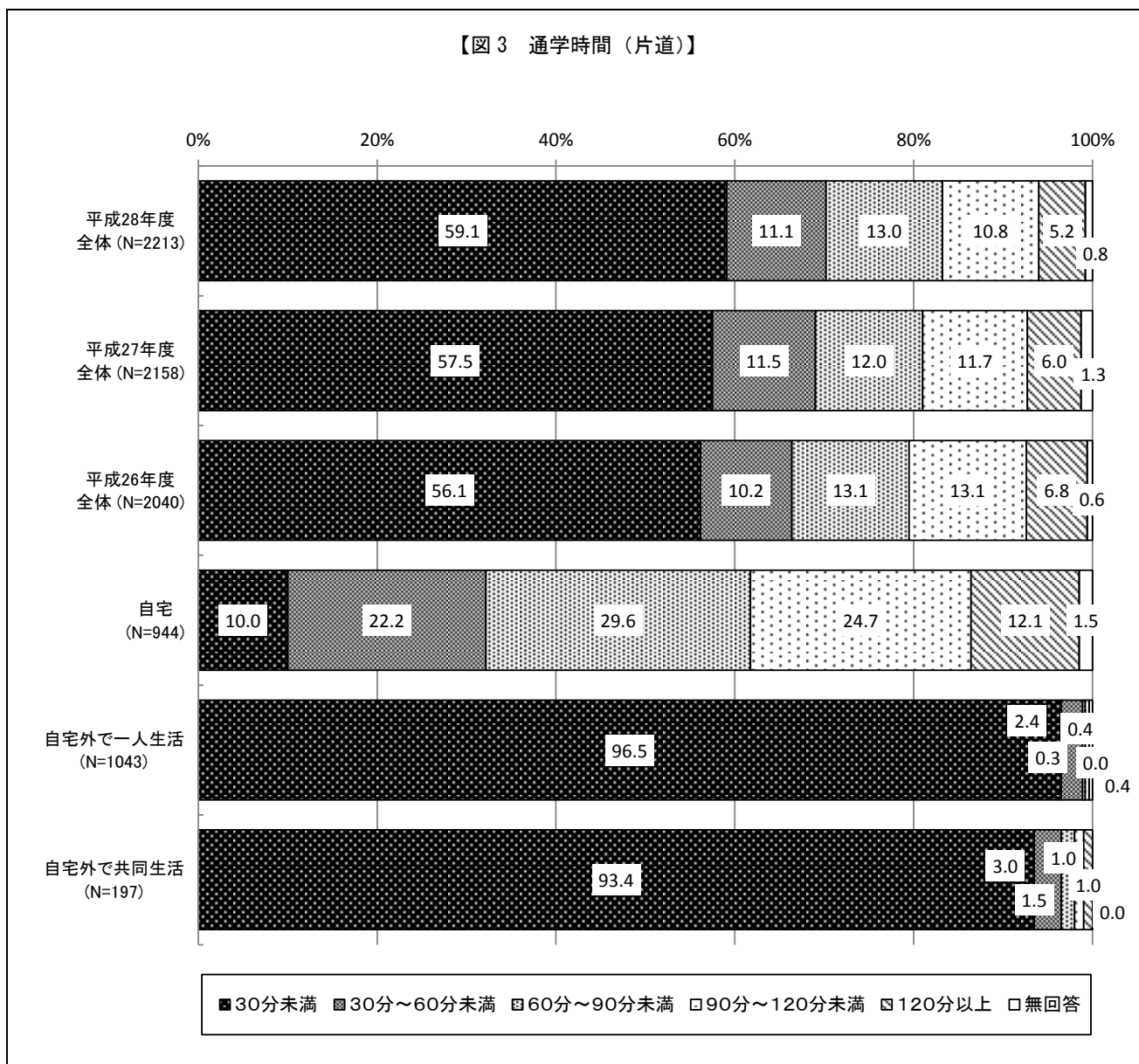
【結果概要（問3）】

問3. 通学時間は、「30分未満」が59.1%と半数以上を占めている。

前回調査と比べると、「30分未満」が1.6ポイント増加し、「30分～60分未満」は0.4ポイント減少している。

通学時間を居住形態別にみると、「自宅」からの学生は「60分～90分未満」が29.6%と最も多いが、「自宅外」の学生は9割以上が「30分未満」と大学の近い場所に居住している。＜図3＞

■問3. 通学時間（片道）（過年度調査・居住形態別）

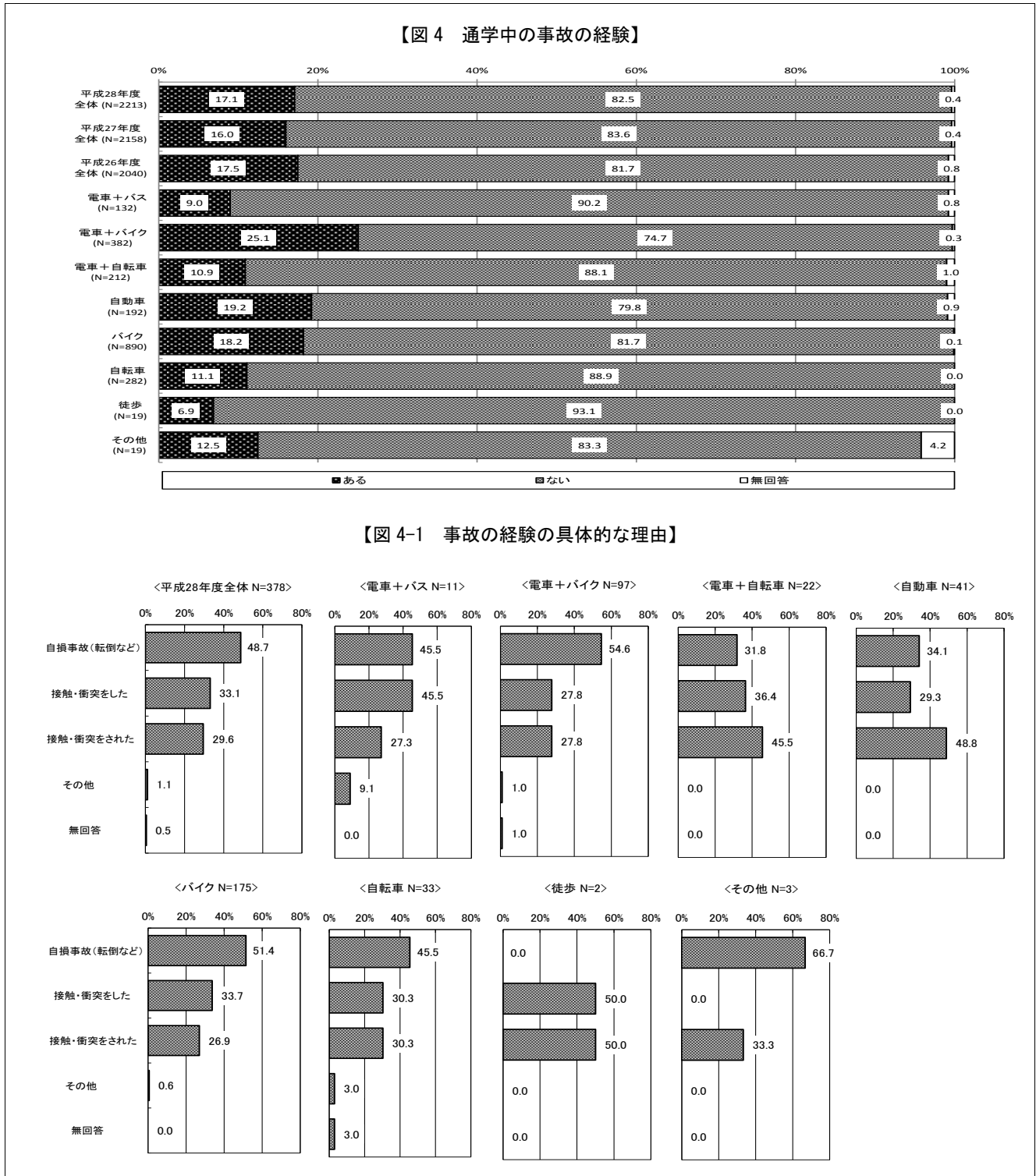


【結果概要（問4・問4-1）】

問4. 通学中の事故の経験の有無としては、「ある」が17.1%となっており、前回調査と比べると「ある」が1.1ポイント増加している。<図4>

問4-1. 通学中の事故の経験としては、「自損事故（転倒など）」が48.7%と最も多く、次に「接触・衝突をした」が33.1%、「接触・衝突をされた」は29.6%となっている。<図4-1>

■問4・問4-1. 通学中の事故の経験と具体的な理由（過年度調査・通学方法別）

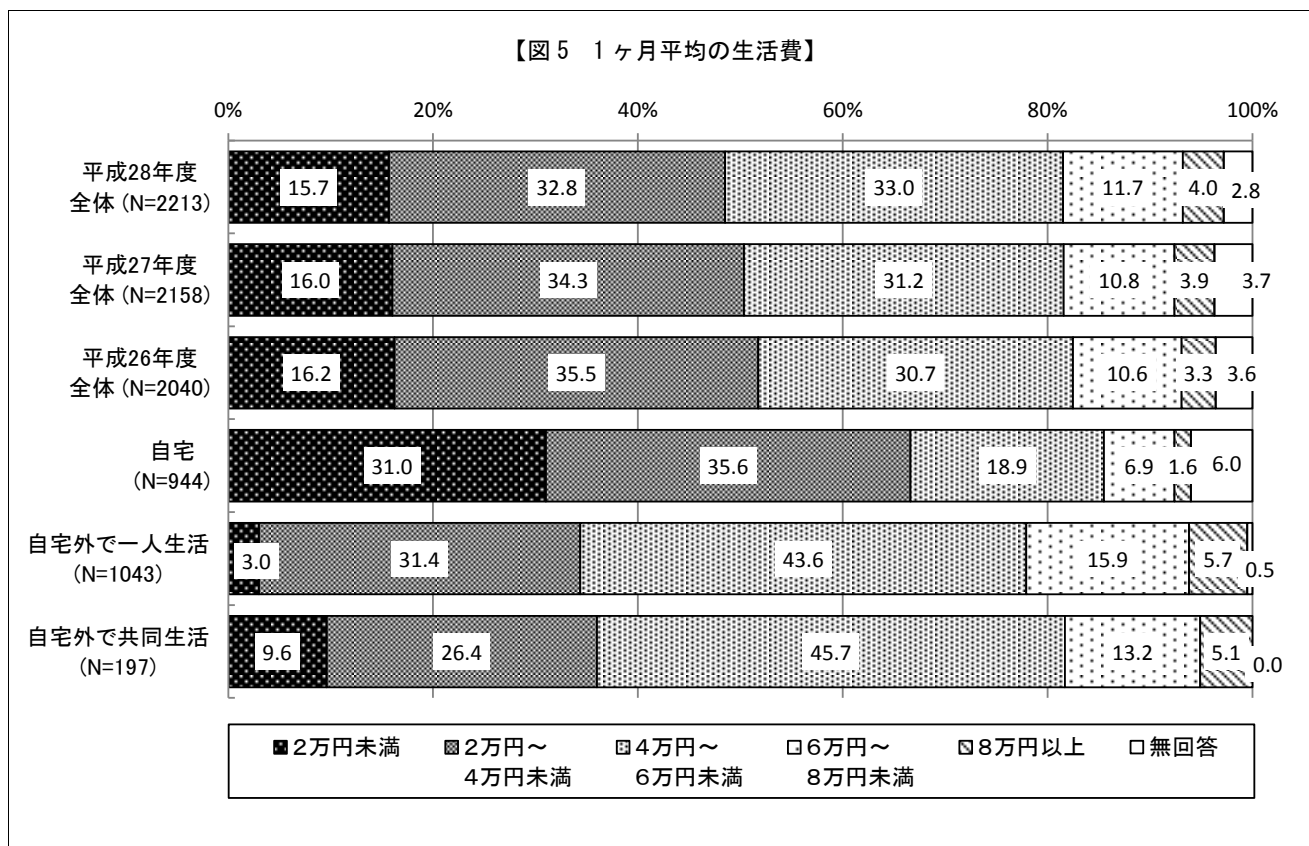


【結果概要（問5）】

問5. 1ヶ月平均の生活費は「4万円～6万円未満」が33.0%で最も多く、次に「2万円～4万円未満」が32.8%、「2万円未満」が15.7%、全体で81.5%の学生が「6万円未満」となっている。

居住形態別でみると、「自宅」から通学している学生は「4万円未満」が66.6%（31.0%+35.6%）に対し、「自宅外で一人生活」は34.4%（3.0%+31.4%）、「自宅外で共同生活」は36.0%（9.6%+26.4%）と、「自宅」の学生は全体的に生活費が安くなっている。＜図5＞

■問5. 1ヶ月平均の生活費（過年度調査・居住形態別）

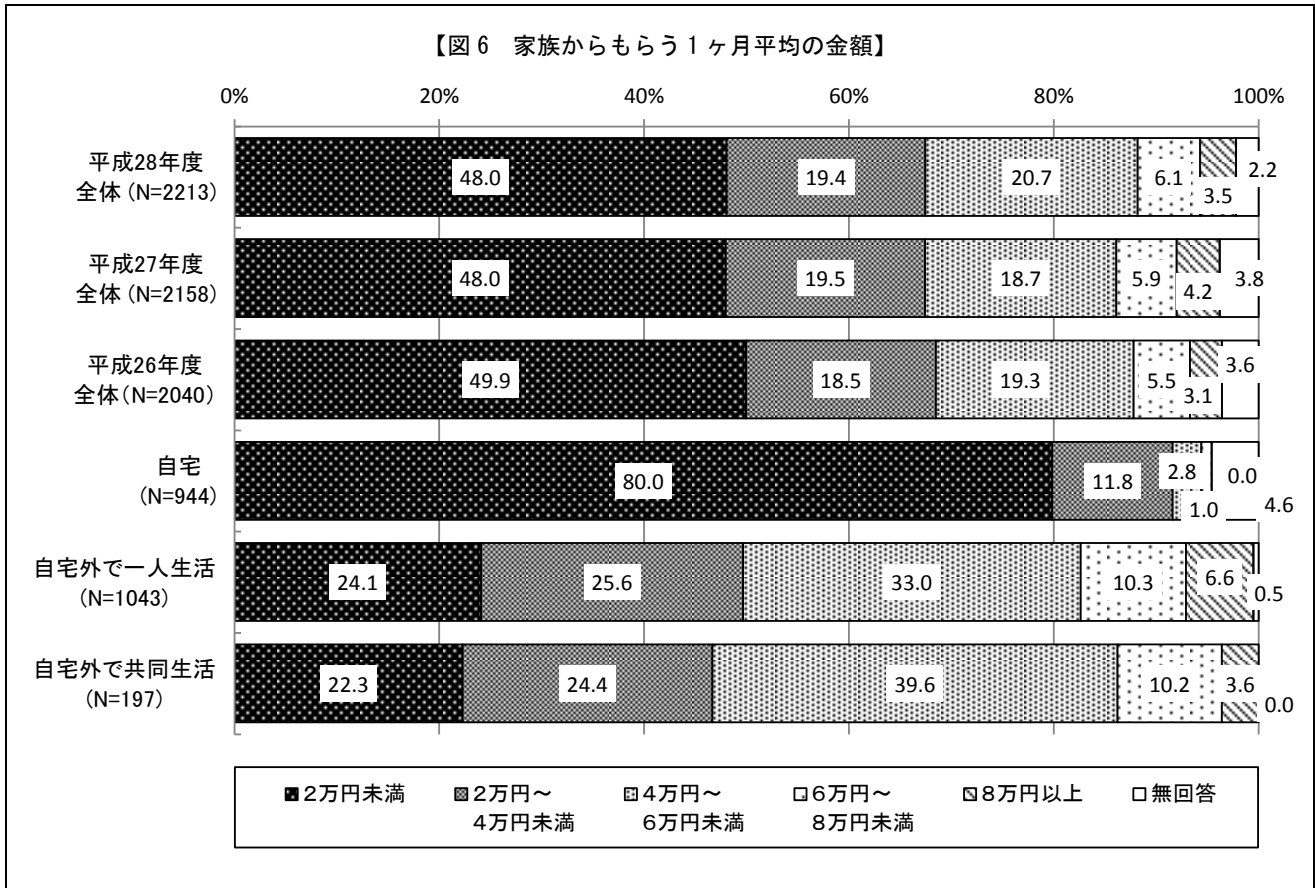


【結果概要（問6）】

問6. 家族からもらう1ヶ月の平均金額は「2万円未満」が48.0%と最も多く、次に「4万円～6万円未満」が20.7%、「2万円～4万円未満」が19.4%となっている。

居住形態別でみると、「自宅」では「2万円未満」の80.0%が最も多い。しかし、「自宅外で一人生活」と「自宅外で共同生活」では、「4万円～6万円未満」が最も多くなっている。＜図6＞

■問6. 家族からもらう1ヶ月平均の金額（過年度調査・居住形態別）



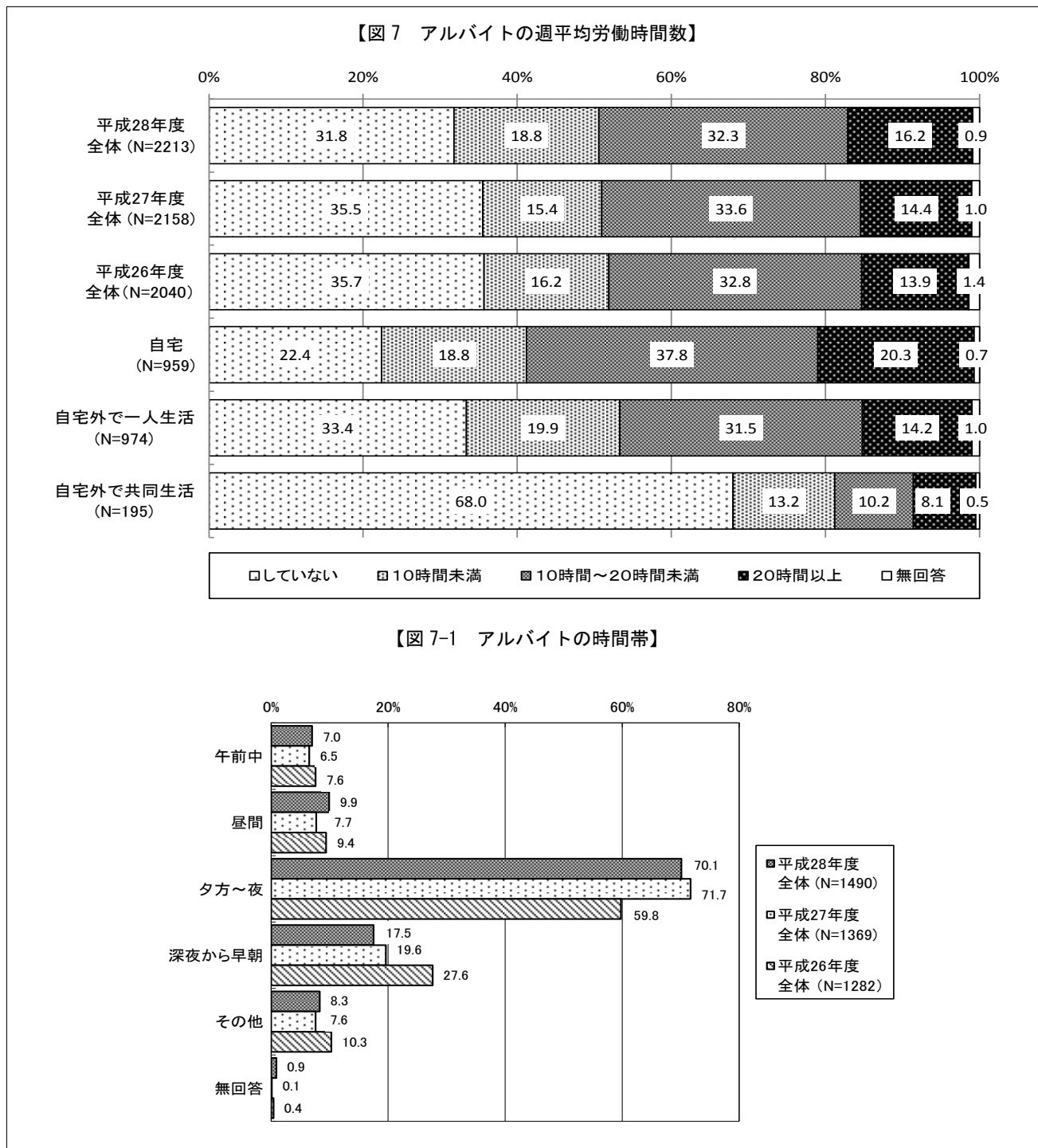
【結果概要（問7・7-1）】

問7. アルバイトの状況としては、「している」が67.3%と全体の2/3を占めている。「週平均労働の時間数」は、「10時間～20時間未満」が32.3%と最も多くなっている。＜図7＞

問7-1. アルバイトをしている時間帯としては「夕方～夜」が70.1%と最も多く、次に「深夜から早朝」が17.5%となっている。＜図7-1＞

■問7. アルバイトの週平均労働時間数（過年度調査・居住形態別）

■問7-1. アルバイトの時間帯（過年度調査）



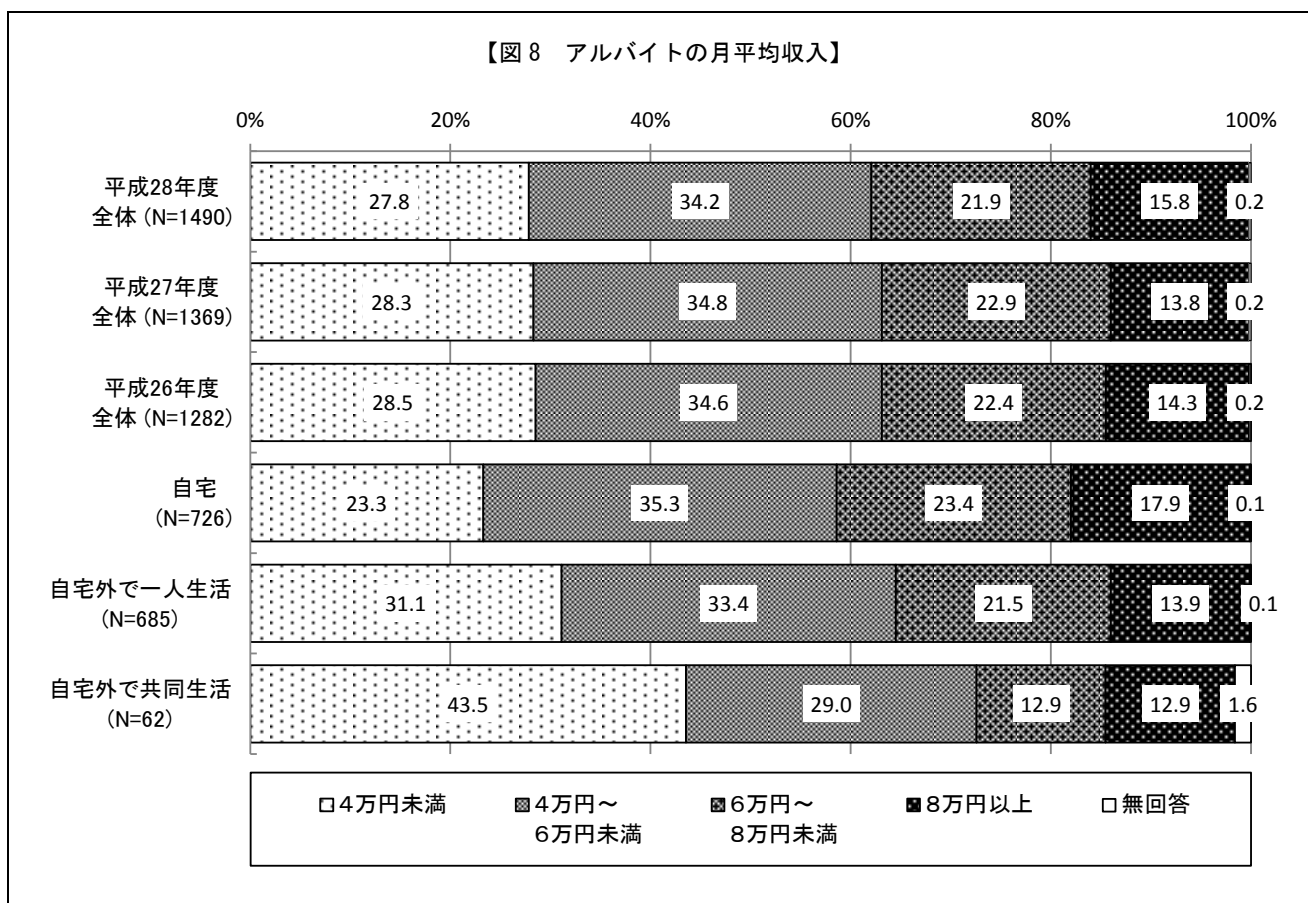
【結果概要（問8）】

問8. アルバイトの月平均収入としては、「4万円～6万円未満」が34.2%と最も多く、次に「4万円未満」が27.8%となっている。

前回調査と比べると、「6万円～8万円未満」が1.0ポイント減少し、「8万円以上」が2.0ポイント増加している。

居住形態別で見ると、「4万円～6万円未満」が「自宅」では35.3%、「自宅外で一人生活」は33.4%、「自宅外で共同生活」では「4万円未満」が43.5%と最も多くなっている。<図8>

■問8. アルバイトの月平均収入（過年度調査・居住形態別）



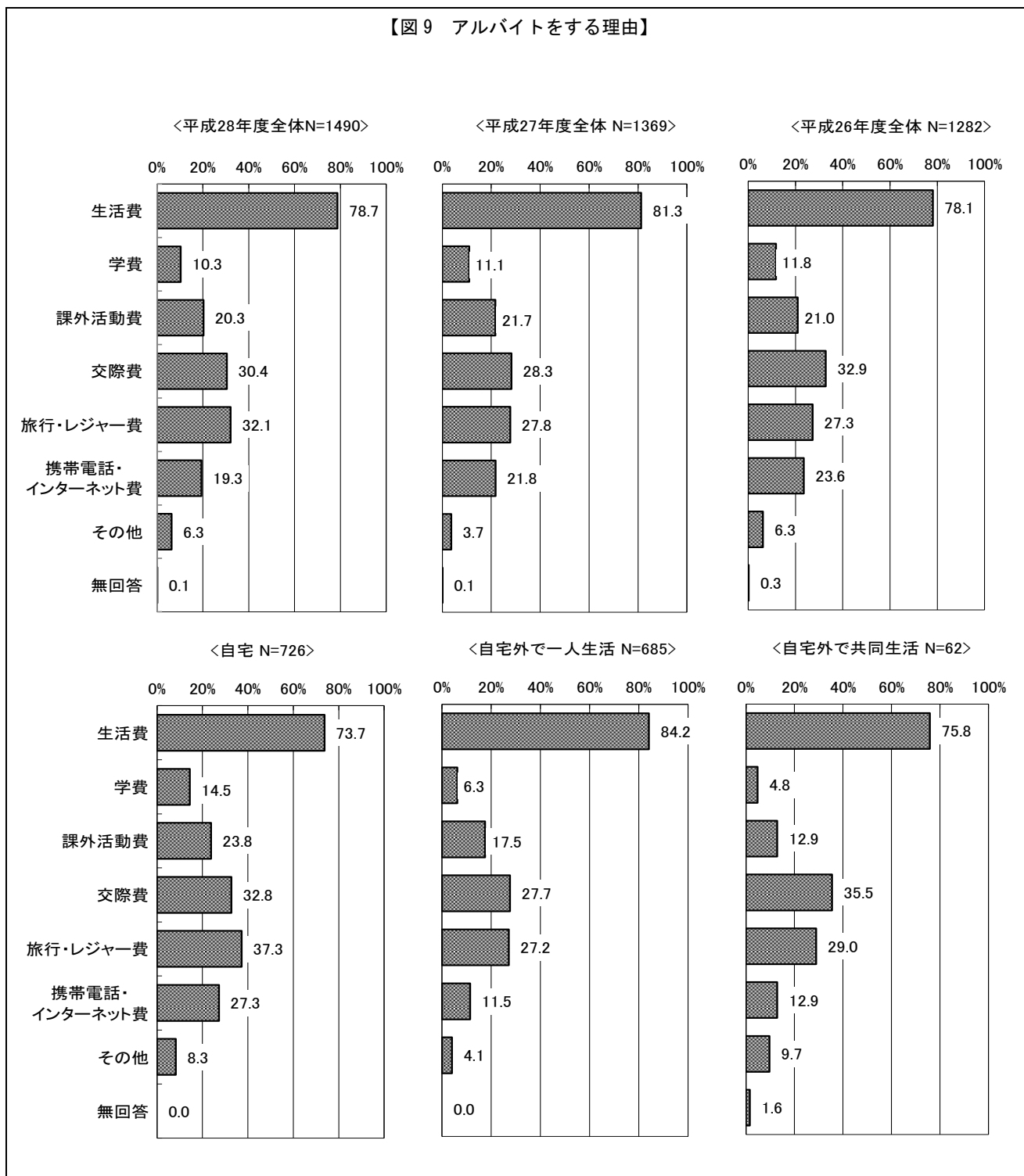
【結果概要（問9）】

問9. アルバイトをする理由としては、「生活費」が78.7%と最も多くなっている。

居住形態別でみると、「自宅」の第2位は「旅行・レジャー費」が37.3%となっている。しかし、「自宅外で一人生活」と「自宅外で共同生活」では「交際費」が第2位となっている。＜図9＞

■問9. アルバイトをする理由（過年度調査・居住形態別）

【図9 アルバイトをする理由】



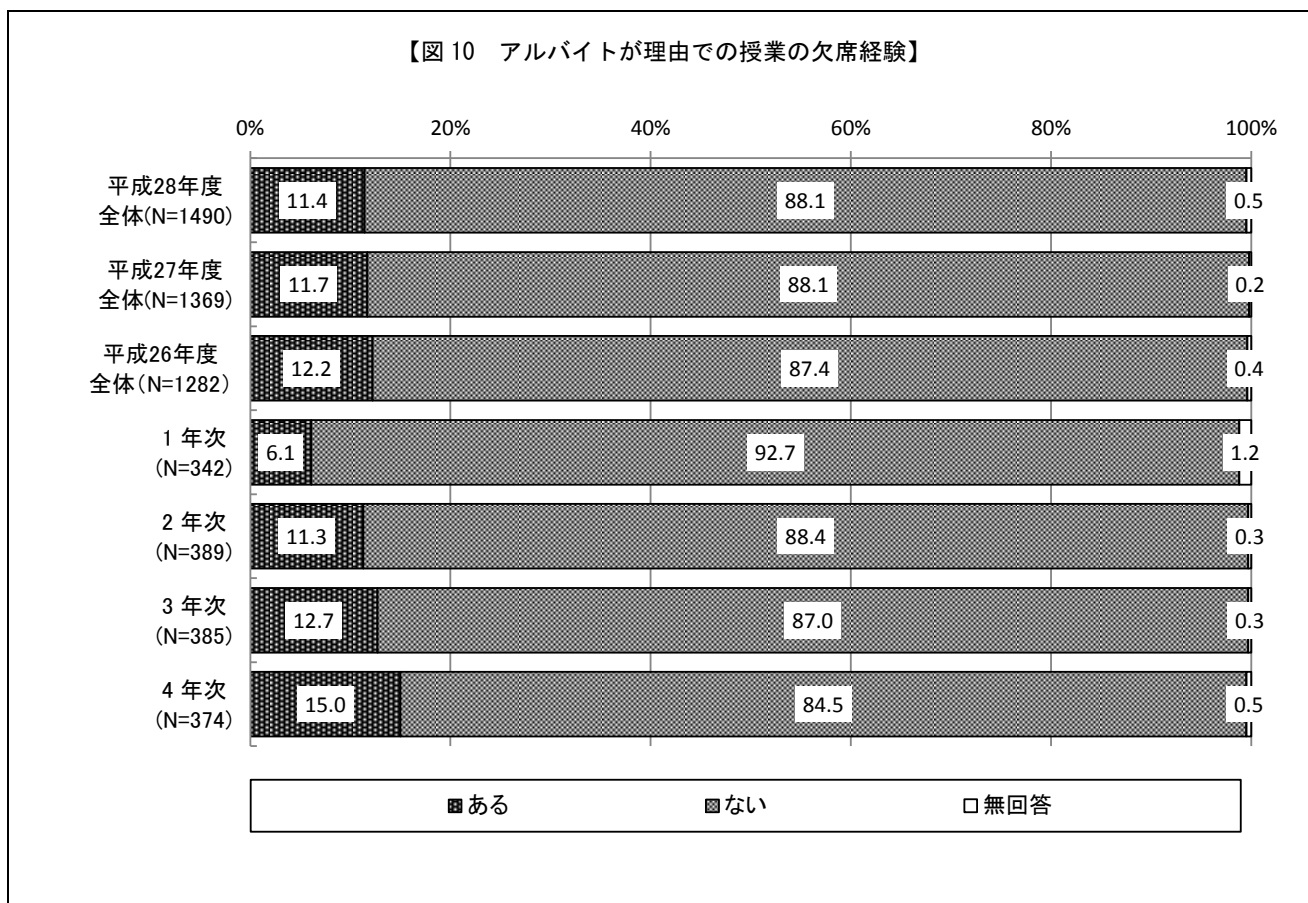
【結果概要（問10）】

問10. アルバイトが原因で授業を欠席したことがある経験は、「ある」の回答は11.4%、「ない」は88.1%となっている。

前回調査と比べると、「ある」は0.3ポイントと、やや減少している。

年次別でみると、アルバイトが原因で授業を欠席したことが「ある」は年次が上がるほど割合は増加し、1年次では6.1%に対して4年次では15.0%となっている。<図10>

■問10. アルバイトが理由での授業の欠席経験（過年度調査・年次別）



3. 授業・学習について

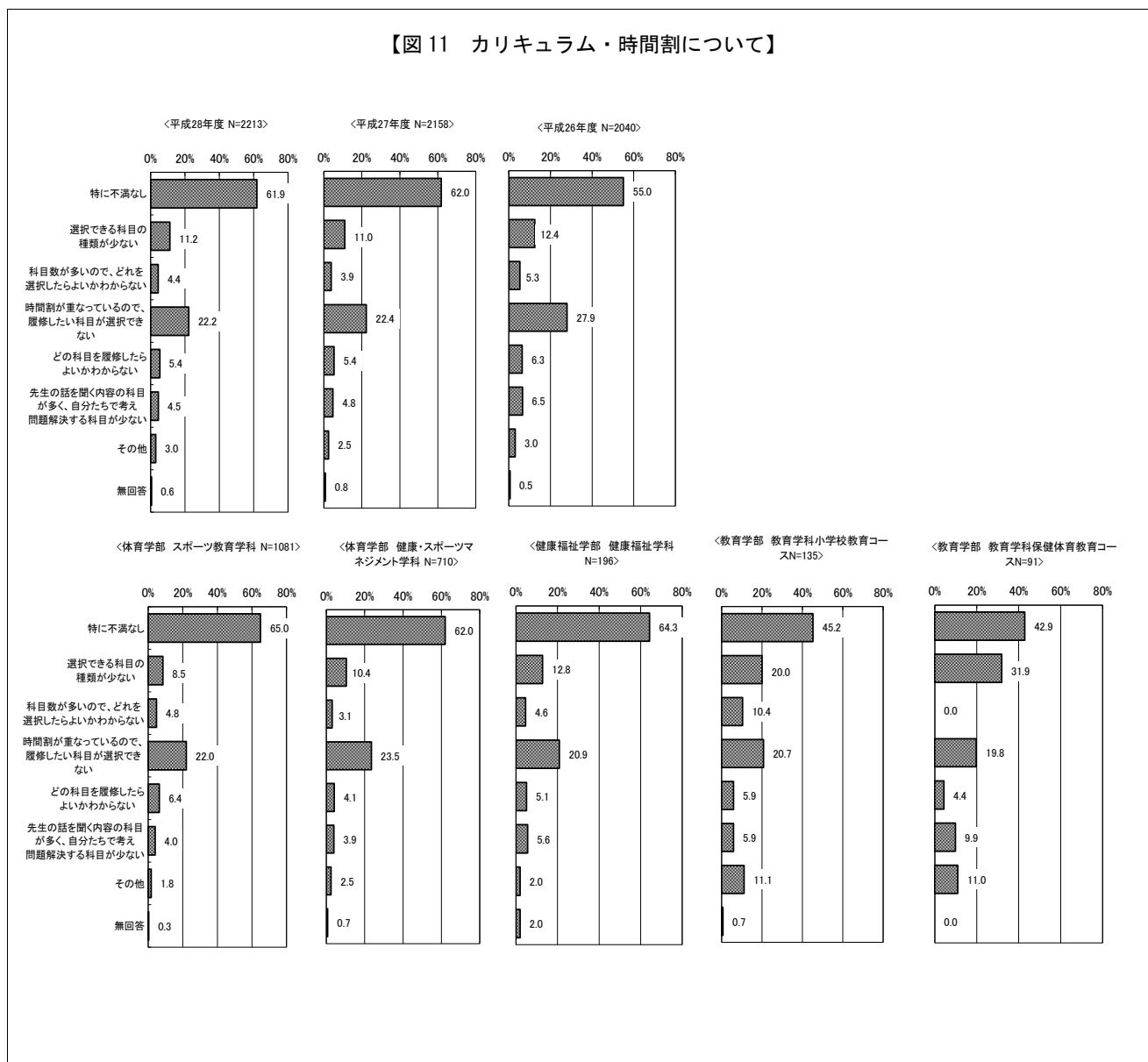
【結果概要（問11）】

問11. カリキュラム・時間割についてどう感じているかでは、「特に不満なし」が61.9%で6割以上を占めている。不満内容としては、「時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない」が22.2%と最も多くなっている。

前回調査と比べると、「時間割が重なっているので、履修したい科目が選択できない」が0.2ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、「特に不満なし」は体育学部と健康福祉学部が6割以上と他の学部・学科に比べて高く、「選択できる科目の種類が少ない」は教育学部教育学科保健体育教育コースが31.9%で他の学部・学科に比べて最も高くなっている。＜図11＞

■問11. カリキュラム・時間割について（過年度調査・学科別）

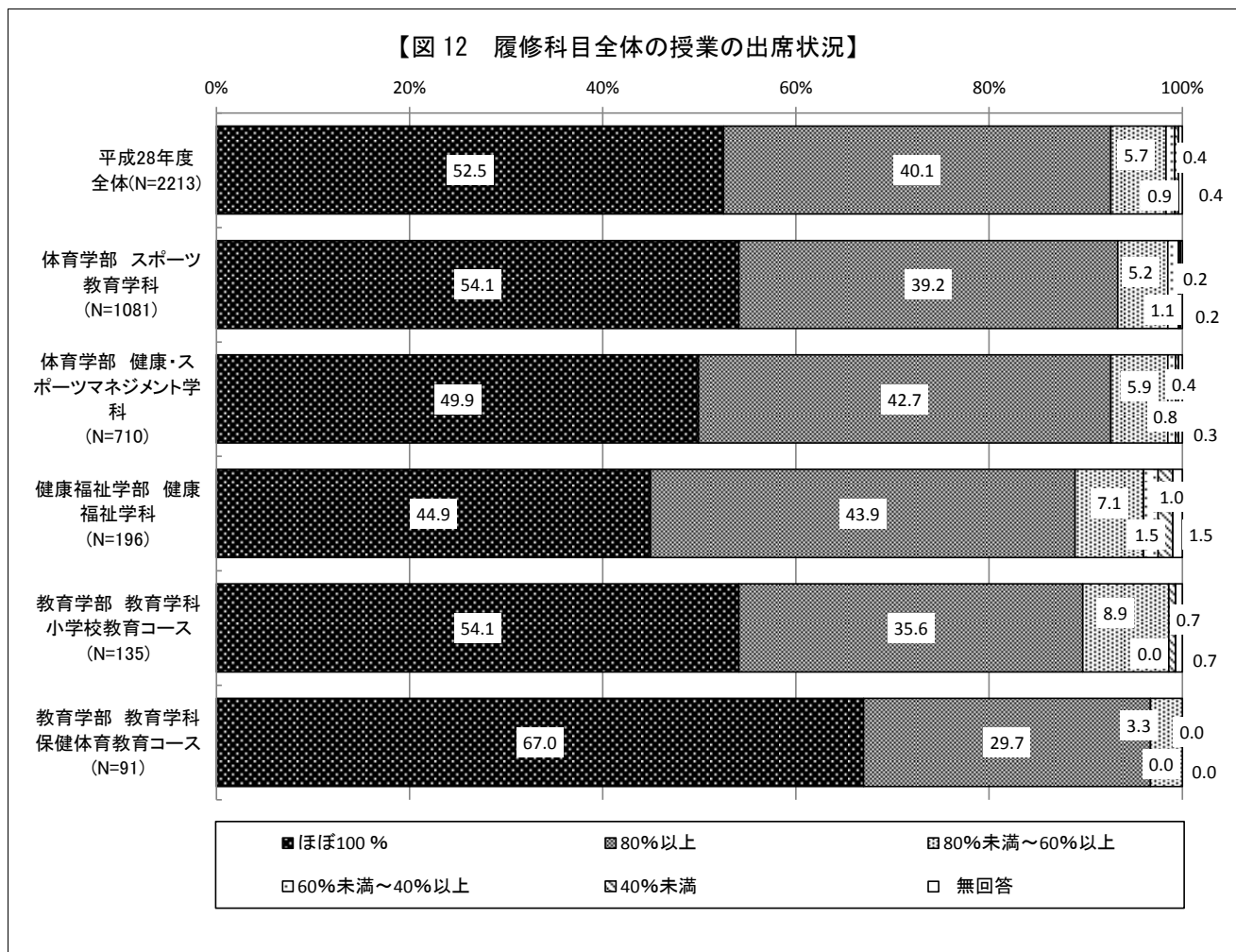


【結果概要（問12）】

問12. 履修科目全体の授業の出席状況は、「ほぼ100%」が52.5%と「80%以上」の40.1%で92.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、「80%以上」は教育学部教育学科保健体育教育コースで67.0%と最も多くなっている。

■問12. 履修科目全体の授業の出席状況（学科別）



【結果概要（問13）】

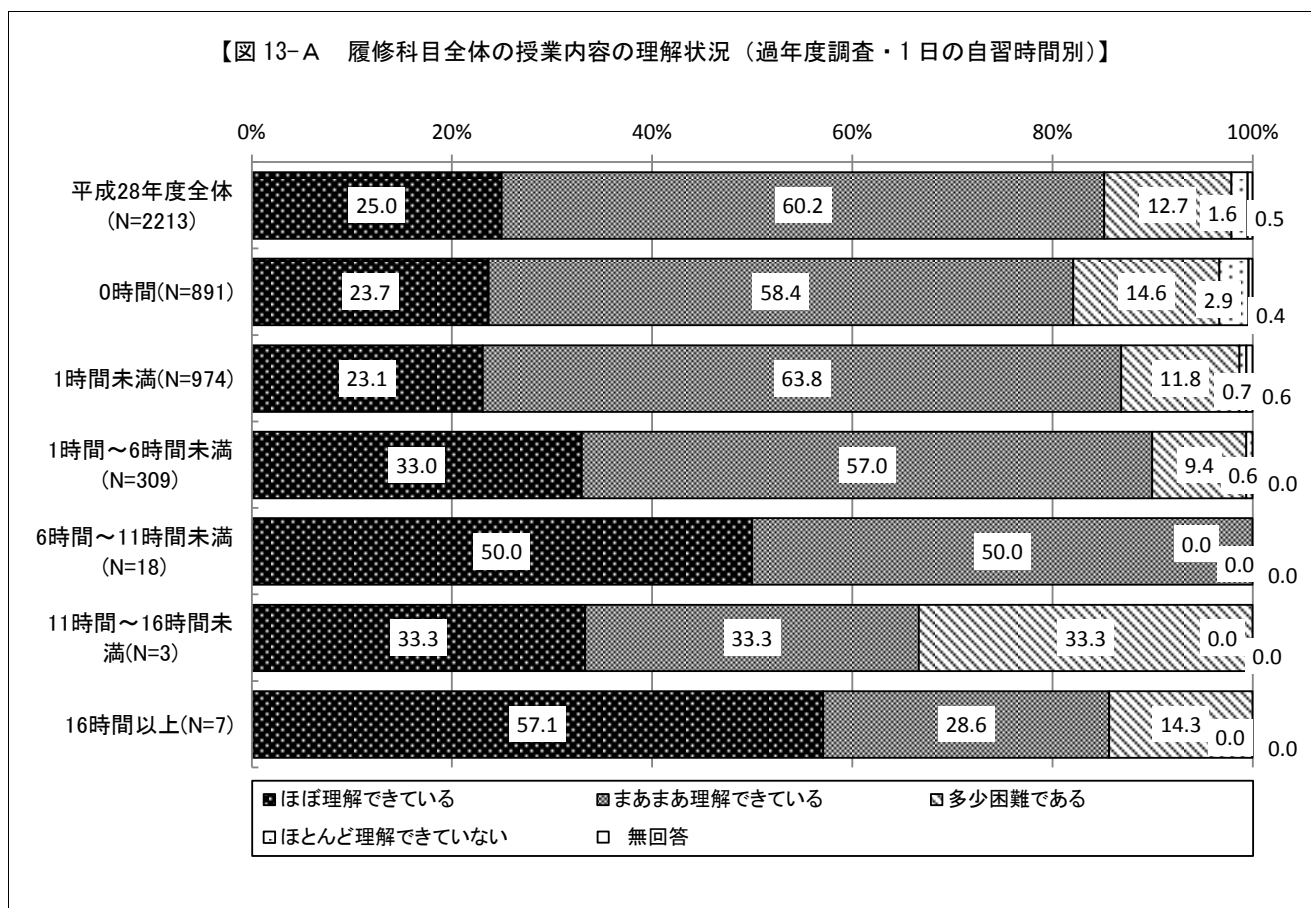
問13. 履修科目全体の授業内容の理解度としては、「まあまあ理解できている」が60.2%と最も多く、「ほぼ理解できている」の25.0%を合わせると85.2%の学生が「授業を理解できている」と回答している。

問14の「1日の自習時間」とのクロス集計では、「0時間」の学生は「多少困難である」と「ほとんど理解できていない」が合わせて17.5%と回答する割合が高く、自習時間の重要性があらわれている。<図13-A>

問25の「朝食の摂取状況」とのクロス集計では、「ほとんど毎日摂る」学生は86.9% (26.0%+60.9%)、「摂らない」学生は81.4% (26.1%+55.3%)と差が出ている。<図13-B>

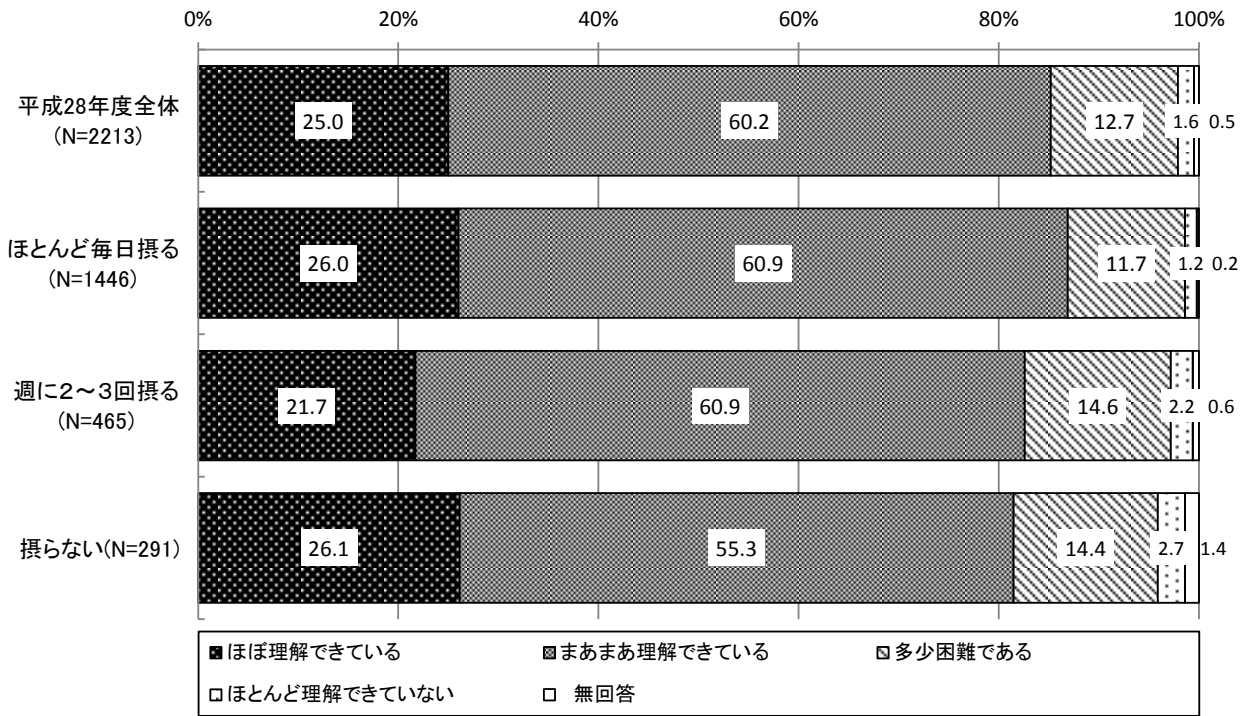
問48の「図書館の利用状況」とのクロス集計では、図書館の利用頻度が高いほど、「授業を理解できている」割合は高くなっている。<図13-C>

■問13. 履修科目全体の授業内容の理解状況（過年度調査・1日の自習時間別）

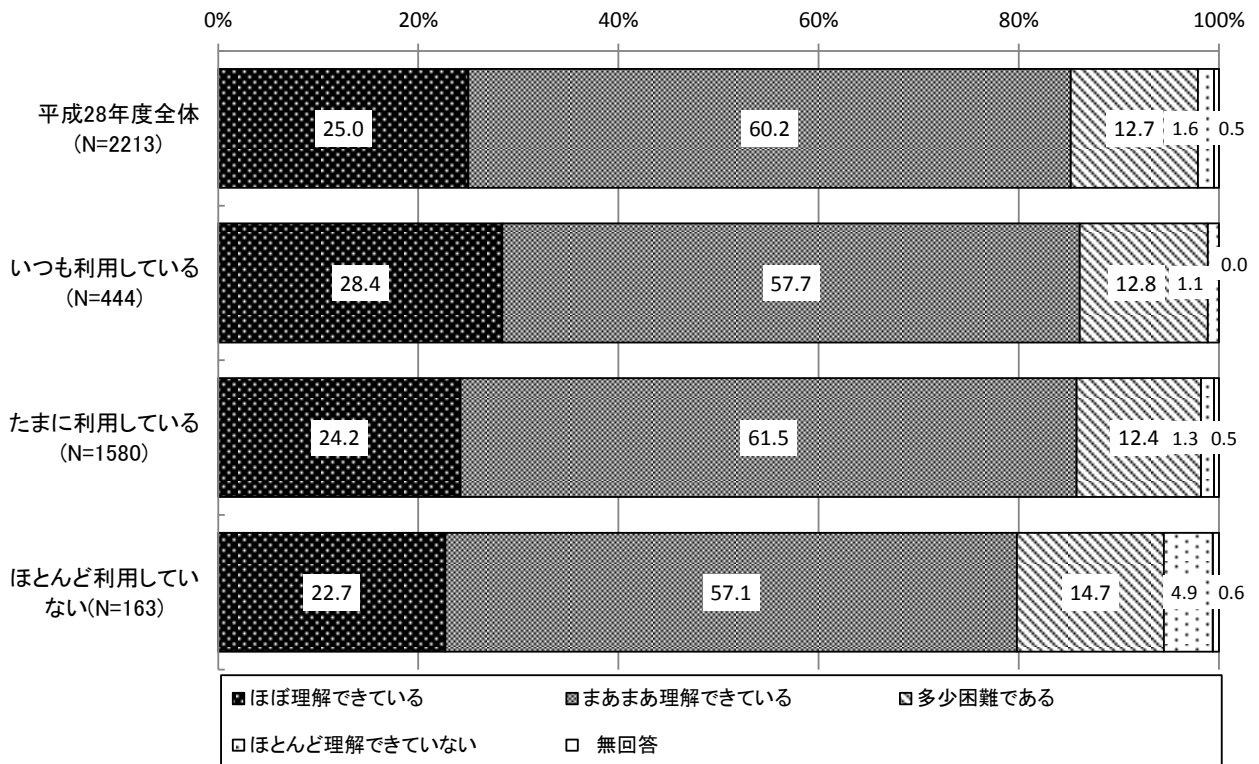


■ 問 1 3. 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食摂食状況別・図書館利用の状況別）

【図 13-B 履修科目全体の授業内容の理解状況（朝食の摂取状況別）】



【図 13-C 履修科目全体の授業内容の理解状況（図書館の利用状況別）】

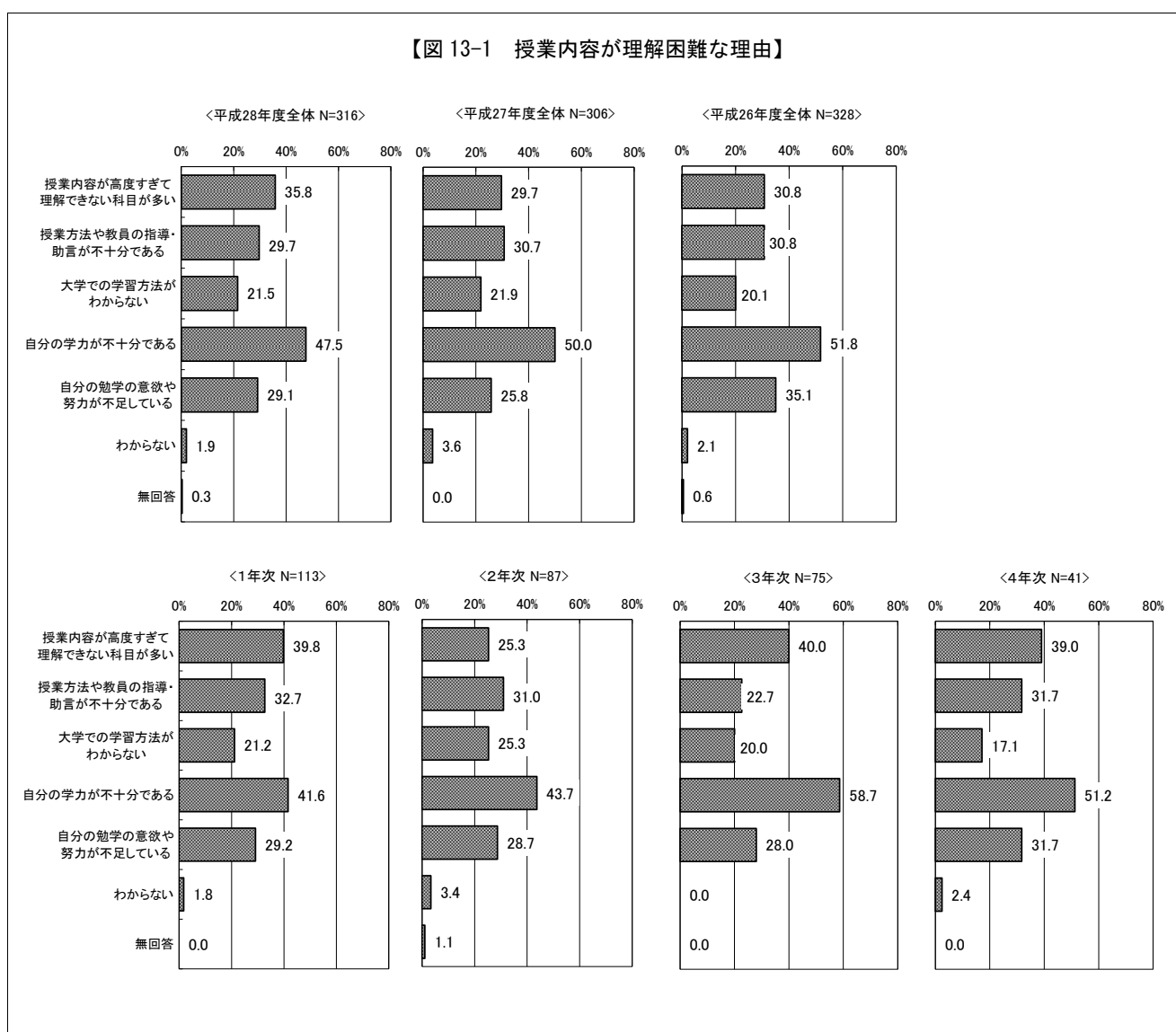


【結果概要（問13-1）】

問13-1. 問13で授業内容の理解が「多少困難である」と「ほとんど理解できていない」と回答した学生に理解困難な理由を尋ねたところ「自分の学力が不十分である」の回答が47.5%と最も多く、次に「授業内容が高度すぎて理解できない科目が多い」が35.8%、「授業方法や教員の指導・助言が不十分である」が29.7%となっている。

年次別でみると、どの年次でも「自分の学力が不十分である」が最も多い理由となっている。1年次では41.6%に対して4年次では51.2%まで上がっている。今回調査では3年次が58.7%と最も高くなっている。<図13-1>

■問13-1. 授業内容が理解困難な理由（過年度調査・年次別）

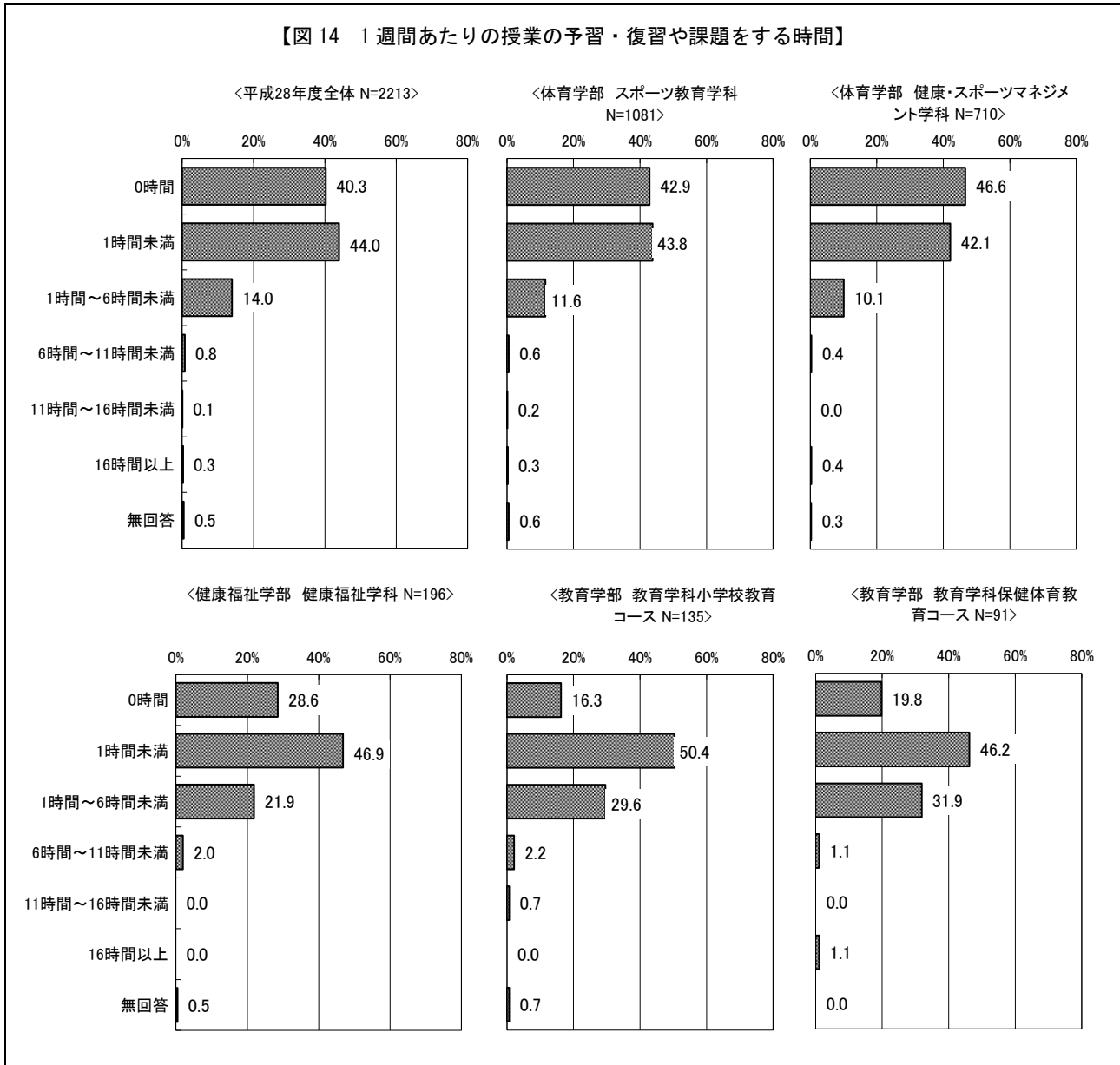


【結果概要（問14）】

問14. 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間としては、「1時間未満」が44.0%と最も多くなっており、次に「0時間」が40.3%となっている。

所属学部・学科別では、体育学部では「0時間」が40%以上に対して、教育学部では20%以下となっている。＜図14＞

■問14. 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間（学科別）



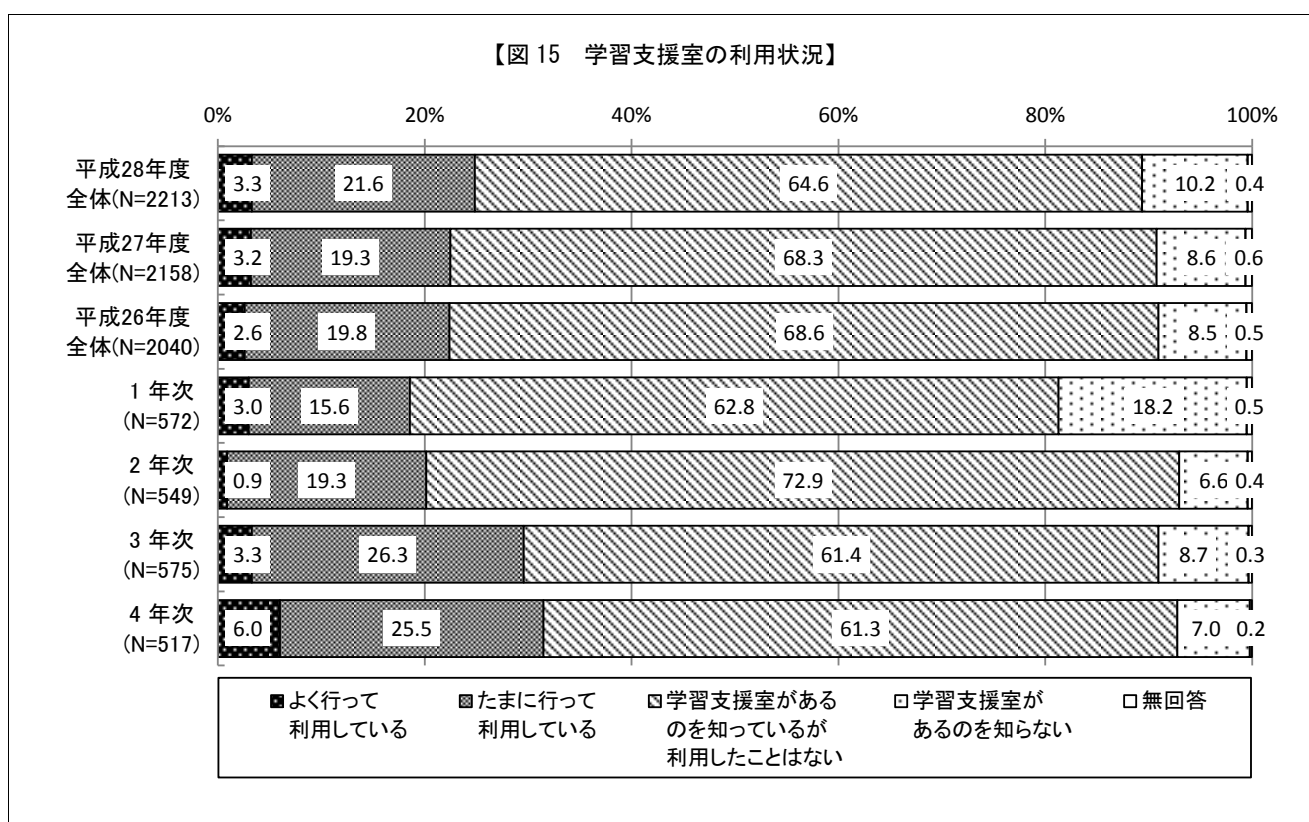
【結果概要（問15）】

問15. 学習支援室の利用状況としては、「学習支援室があるのを知っているが利用したことはない」が64.6%で最も多く、「よく行って利用している」が3.3%と「たまに行って利用している」が21.6%を合わせた利用経験者は24.9%となっている。

前回調査と比べると、「たまに行って利用している」は2.3ポイント増加している。

年次別でみると、利用経験者は「4年次」が31.5%（6.0%+25.5%）と他の年次に比べて高くなっている。さらに、年次が上がるほど利用率は高くなっており、1年次では18.6%（3.0%+15.6%）に対し4年次では約30%以上となっている。<図15>

■問15. 学習支援室の利用状況（過年度調査・年次別）



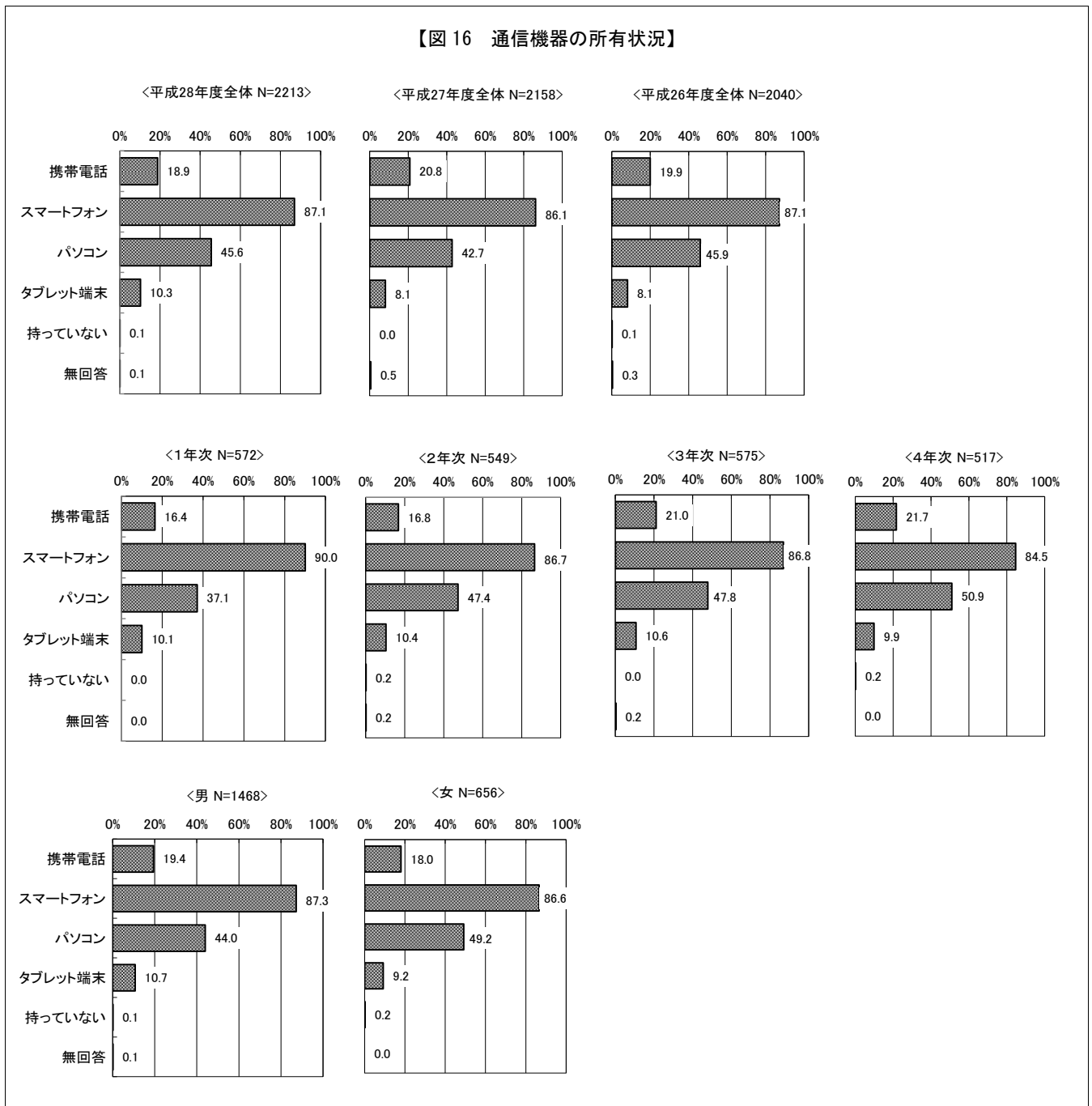
【結果概要（問16）】

問16. 通信機器の所有状況としては、「スマートフォン」が87.1%と最も所有率が高い。次に「パソコン」が45.6%となっている。

どの年次別でも、「スマートフォン」の所有率が最も高い。「パソコン」は年次が上がるほど高くなり、1年次37.1%に対して4年次では50.9%と半数を超えている。

性別で見ると、「スマートフォン」の所有率に関しては大きな差は見られないが、パソコンの所有率は男性44.0%に対して女性は49.2%となっている。<図16>

■問16. 通信機器の所有状況（過年度調査・年次別・性別）

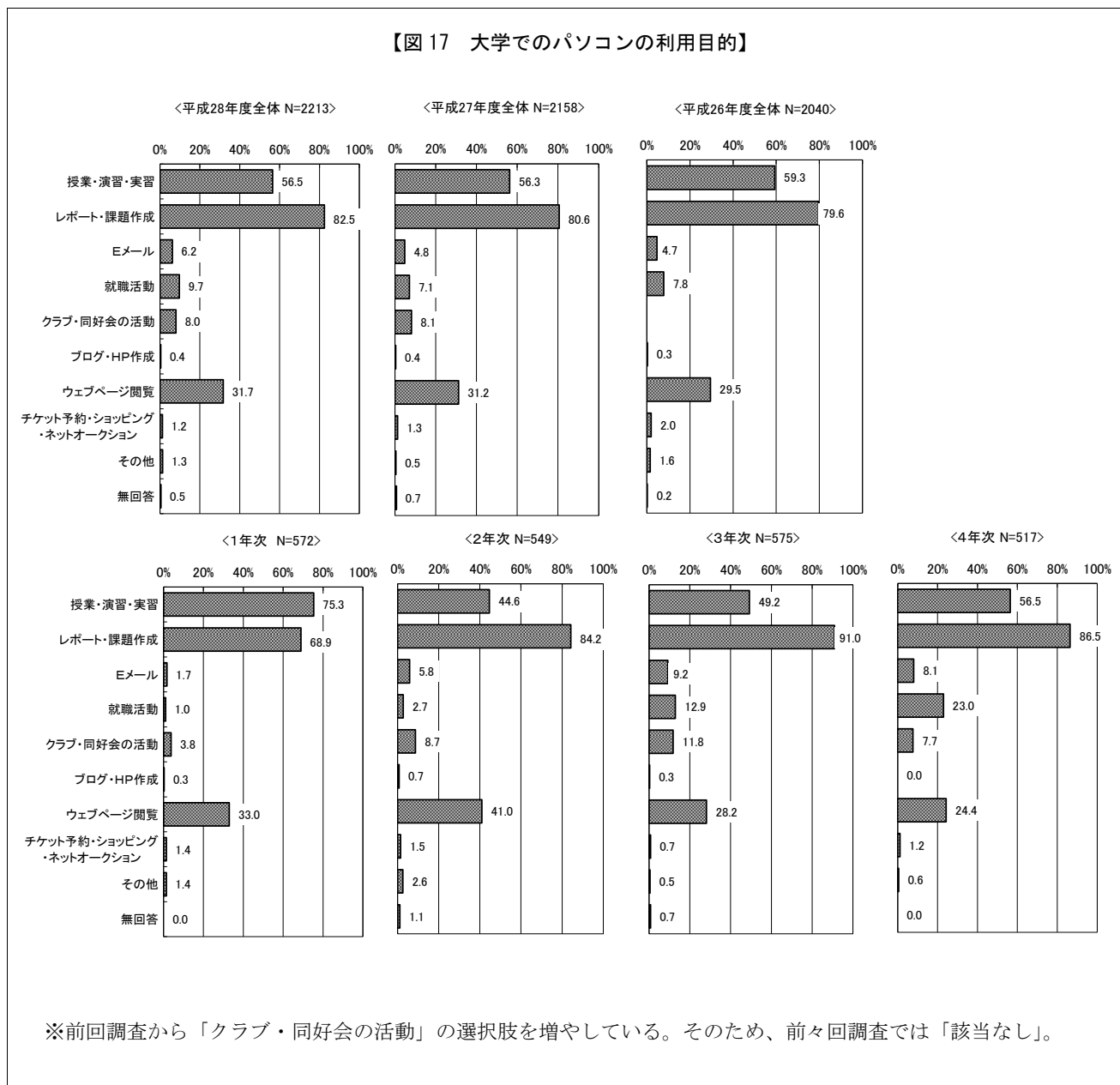


【結果概要（問17）】

問17. 大学でのパソコンの利用目的は「レポート・課題作成」が82.5%と最も多く、次に「授業・演習・実習」が56.5%となっており、毎年大きな変化は見られない。

年次別でみると、「就職活動」では、1年次1.0%に対して4年次では23.0%となっている。<図17>

■問17. 大学でのパソコンの利用目的（過年度調査・年次別）

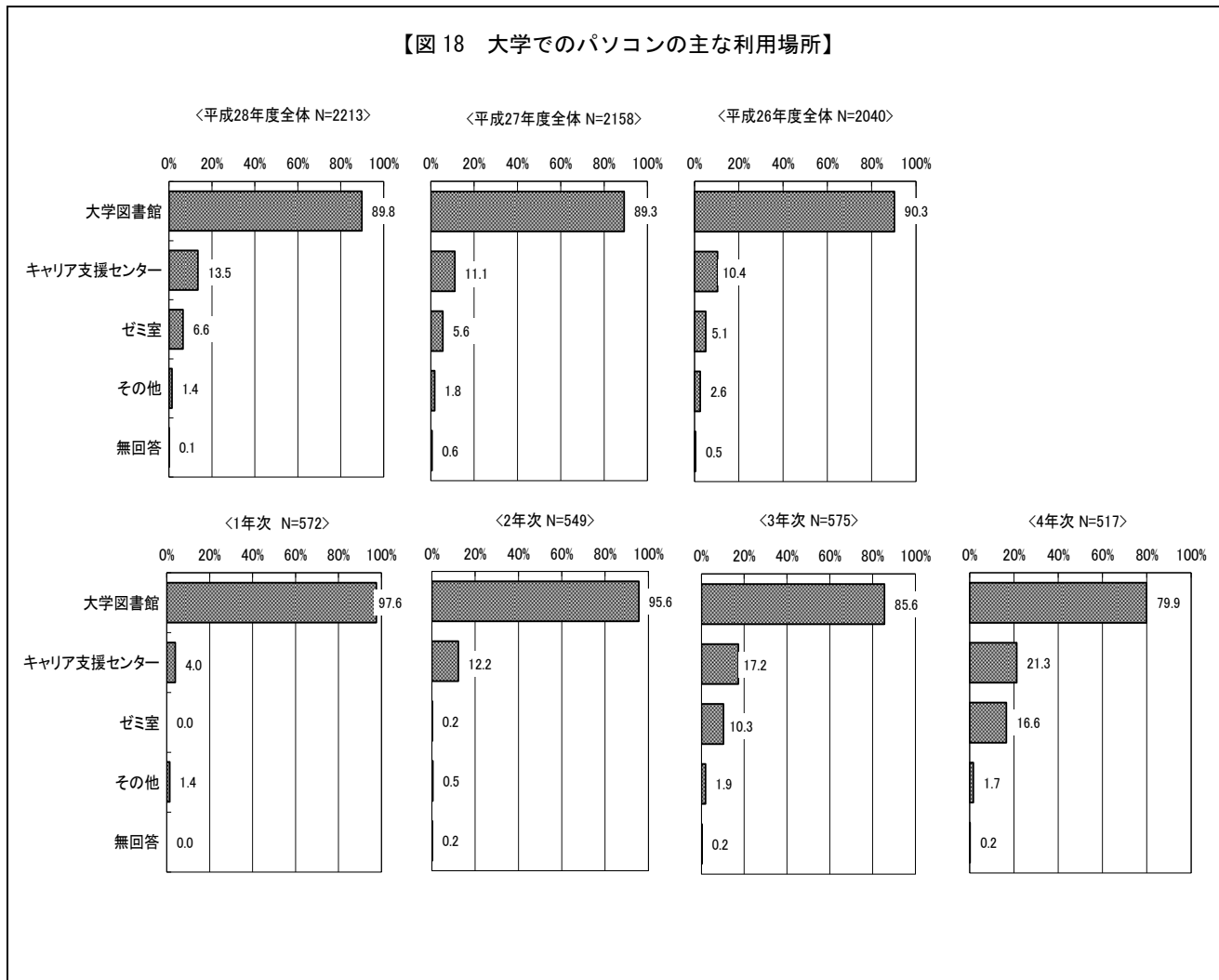


【結果概要（問18）】

問18. 大学でのパソコンの主な利用場所としては「大学図書館」が89.8%と約9割を占めている。

年次別にみると、「大学図書館」での利用は1～2年次で多く、「キャリア支援センター」は2～4年次、「ゼミ室」での利用は3～4年次で多くなっている。＜図18＞

■問18. 大学でのパソコンの主な利用場所（過年度調査・年次別）



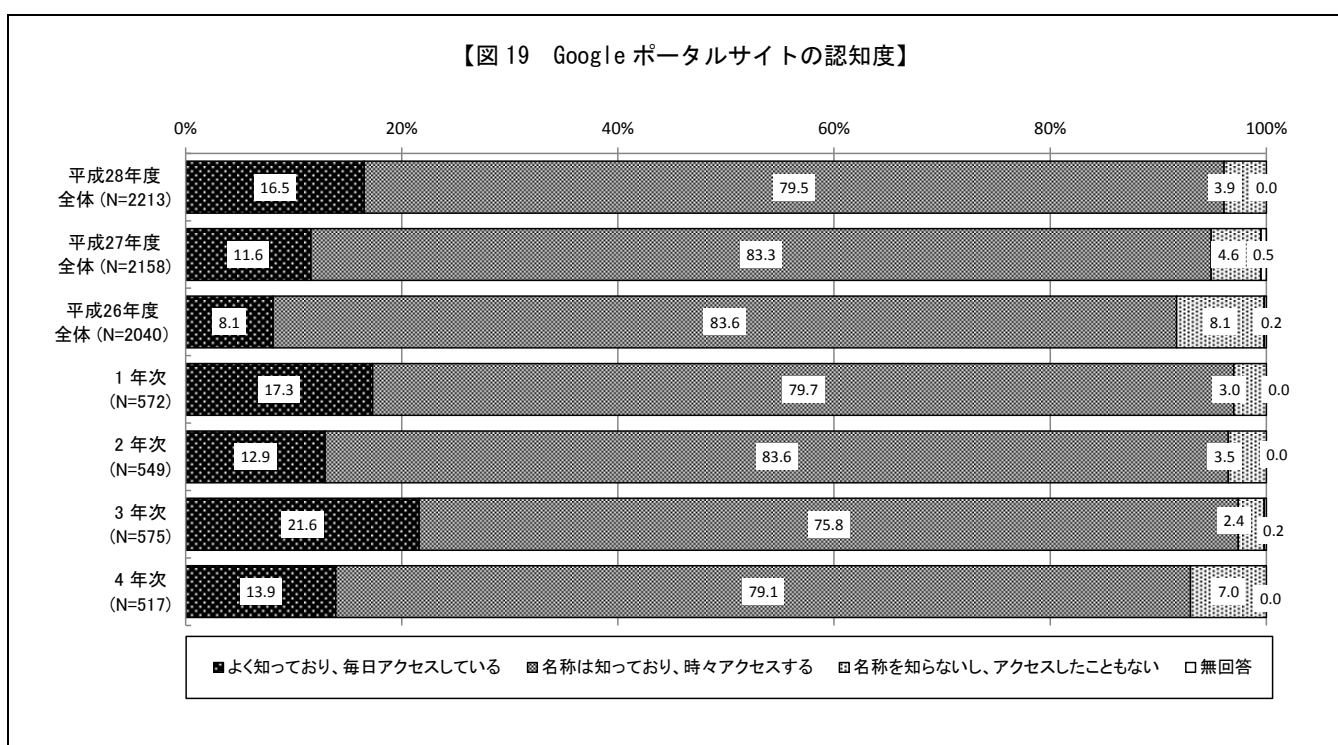
【結果概要（問19）】

問19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトを知っているかという問いでは、「名称は知っており、時々アクセスする」が79.5%と最も高く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が16.5%となっている。

「名称を知らないし、アクセスしたこともない」は、前回調査では4.6%に対し、今回調査では3.9%と0.7ポイント減少しており、年々減少している。

年次別にみると、「名称を知らないし、アクセスしたこともない」は4年次で7.0%と最も高い結果となっている。＜図19＞

■問19. 大阪体育大学のGoogleポータルサイトの認知度（過年度調査・年次別）



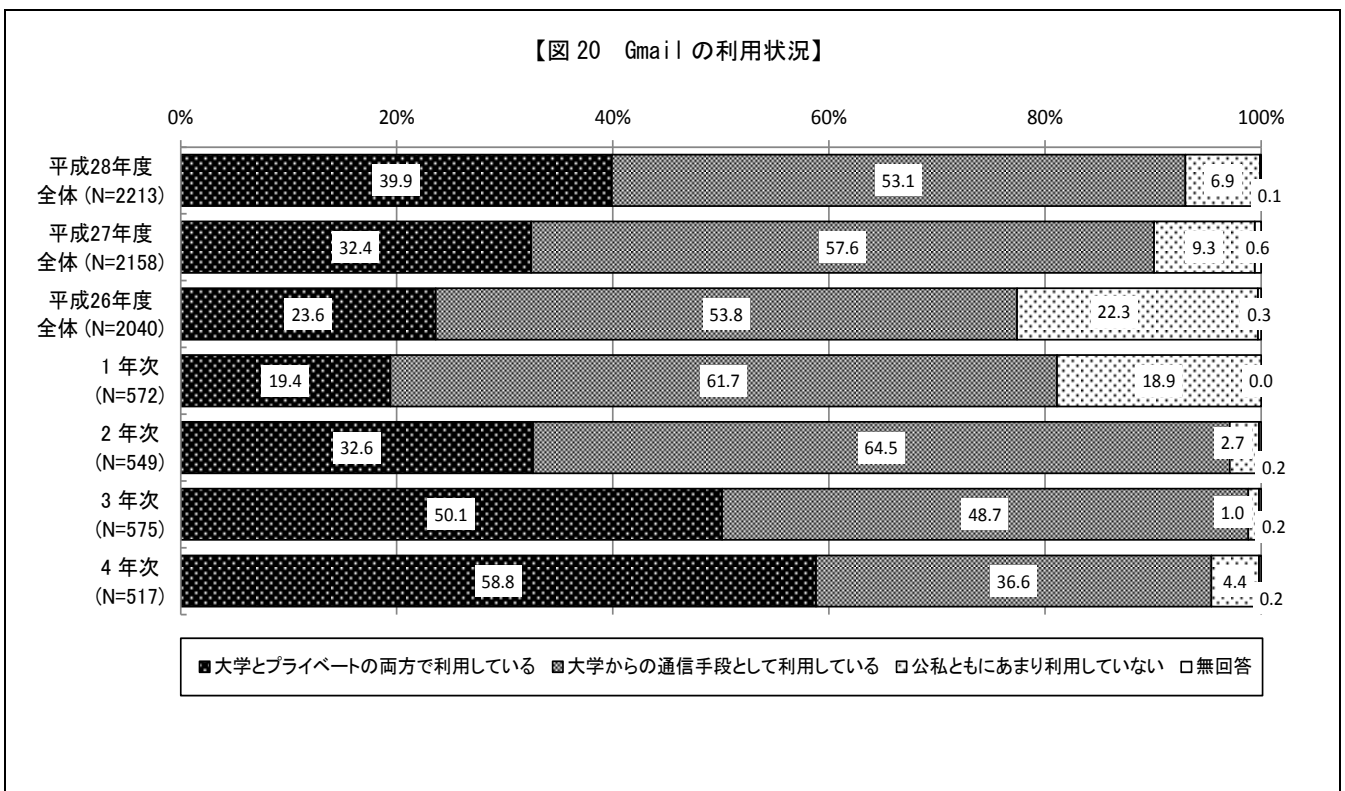
【結果概要（問20）】

問20. Gmailの利用状況については、「大学からの通信手段として利用している」が53.1%と最も多く、次に「大学とプライベートの両方で利用している」が39.9%となっている。

「公私ともにあまり利用していない」は、前回調査では9.3%に対し、今回調査では6.9%と2.4ポイント減少している。

年次別にみると、「大学とプライベートの両方で利用している」と「大学からの通信手段として利用している」を合わせた「Gmailを利用している」は3年次が98.8%（50.1%+48.7%）と最も多く、最も利用していないのは1年次81.1%（19.4%+61.7%）となっている。<図20>

■問20. Gmailの利用状況（年次別）

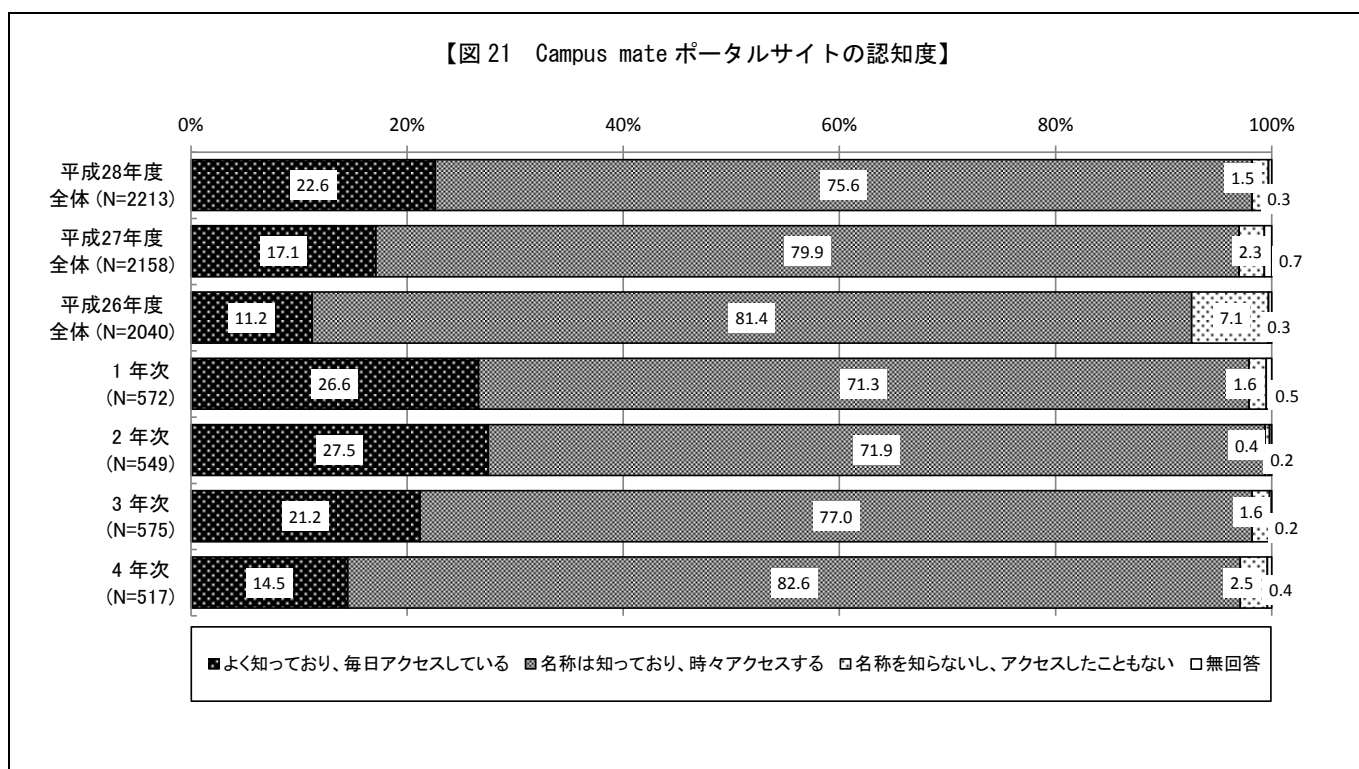


【結果概要（問21）】

問21. Campus mate ポータルサイトを知っているかという問いについては「名称は知っており、時々アクセスする」が75.6%と多く、次に「よく知っており、毎日アクセスしている」が22.6%となっており、認知度は年々上昇している。

年次別にみると、「よく知っており、毎日アクセスしている」は2年次が27.5%と最も多く、最も低い割合は4年次で14.5%となっている。＜図21＞

■問21. Campus mate ポータルサイトの認知度（年次別）

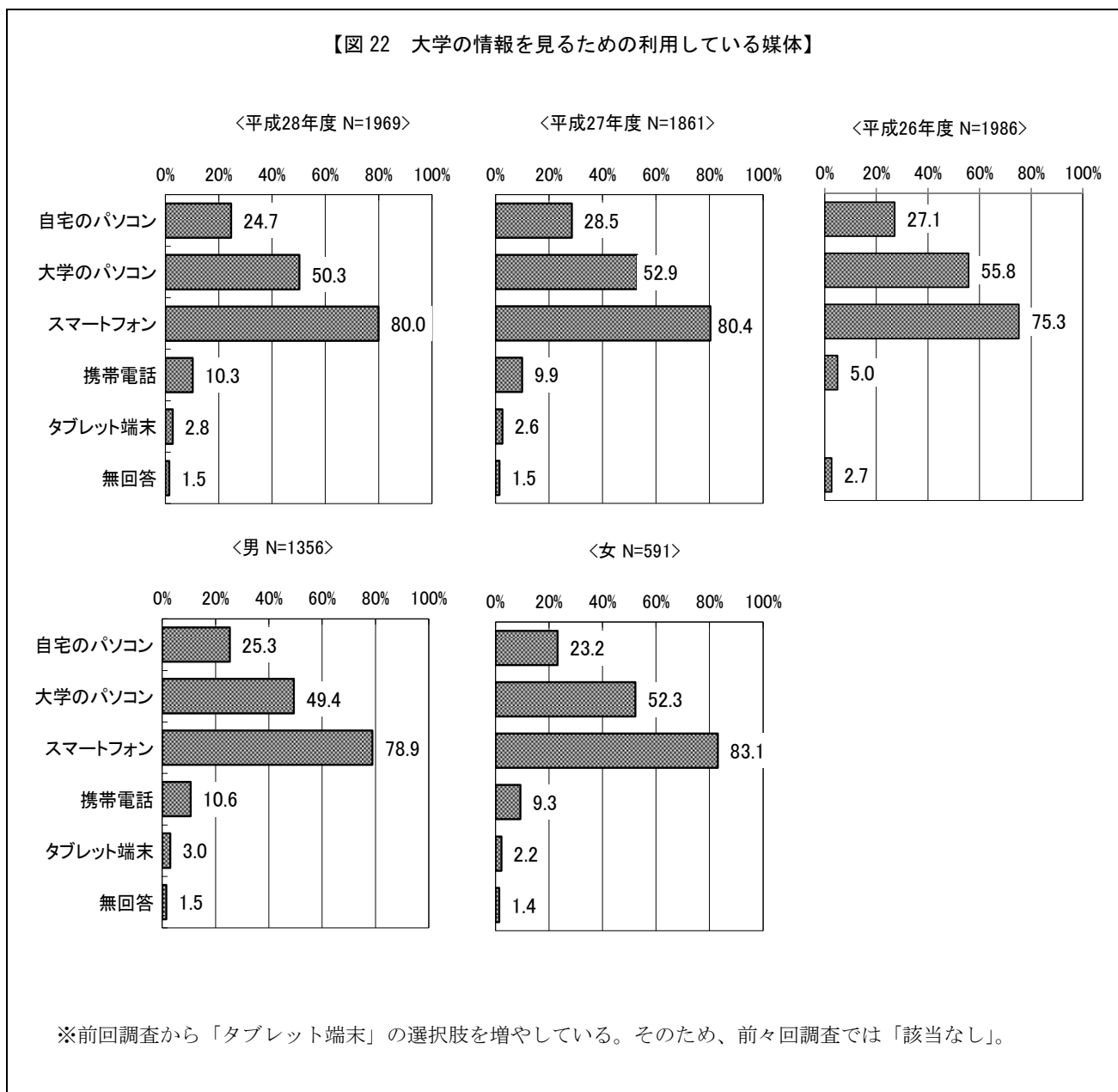


【結果概要（問22）】

問22. 大学からの各種情報提供サイトなどにアクセスする際、どの媒体を利用しているかについては、「スマートフォン」が80.0%と多く、次に「大学のパソコン」の50.3%となっている。

性別でみると、「スマートフォン」は男子学生の78.9%よりも女子学生の83.1%が4.2ポイント多くなっている。しかし「自宅のパソコン」では、男子学生が25.3%、女子学生が23.2%と、男子学生が2.1ポイント多い結果となっている。<図22>

■問22. 大学の情報を見るための利用している媒体（過年度調査・性別）



4. 課外活動等について

【結果概要（問23・問23-1）】

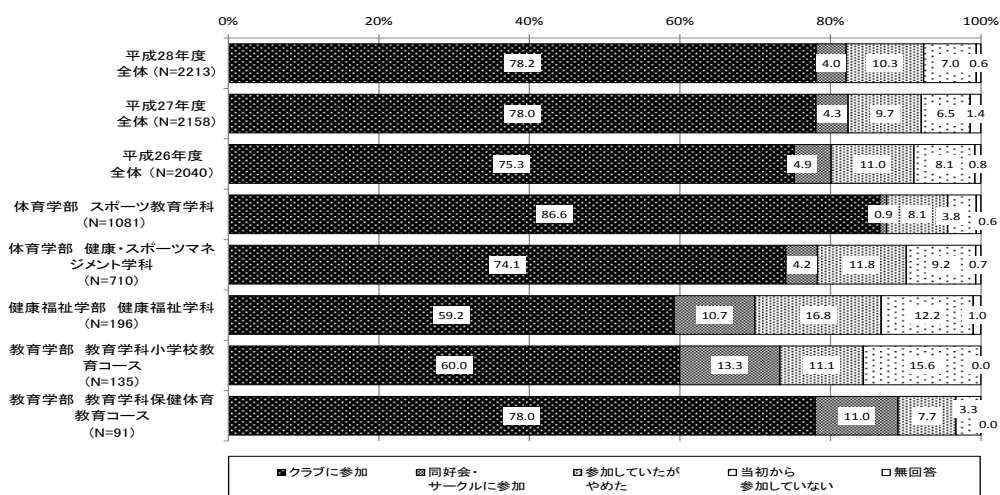
問23. 学内の課外活動への参加状況としては、「クラブに参加」が78.2%で最も多くなっている。

所属学部・学科別でみると、「クラブあるいは同好会・サークル」に参加しているのは「教育学部教育学科保健体育教育コース」の89.0%（78.0%+11.0%）が最も多くなっている。<図23>

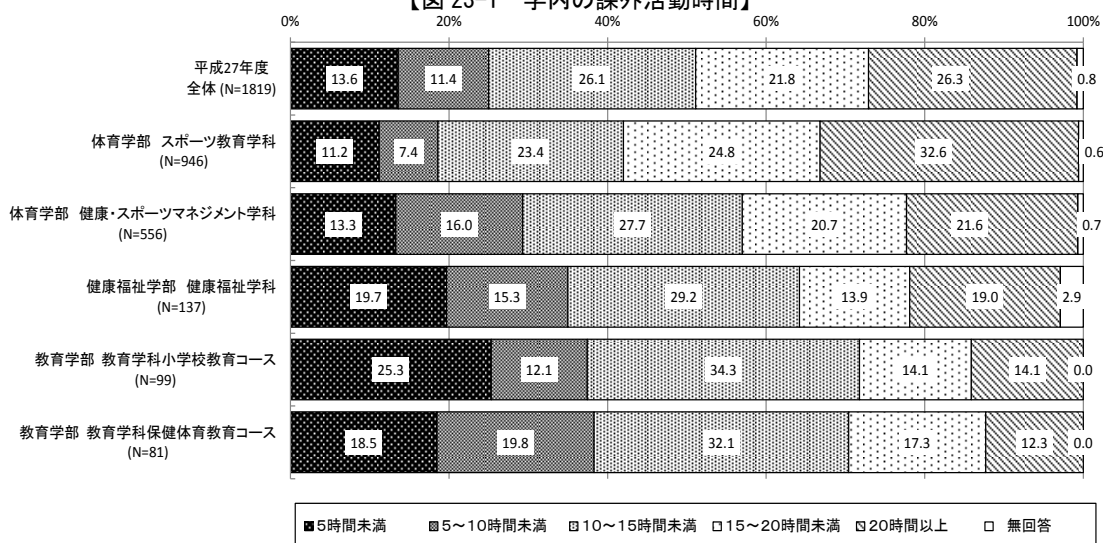
問23-1. 1週間あたりの活動時間は、体育学部スポーツ教育学科以外の学科では「10～15時間未満」が最も多く、体育学部スポーツ教育学科では「20時間以上」の32.6%が最も高くなっている。<図23-1>

■問23・問23-1. 学内の課外活動への参加状況と活動時間（過年度調査・学科別）

【図23 学内の課外活動への参加状況】



【図23-1 学内の課外活動時間】

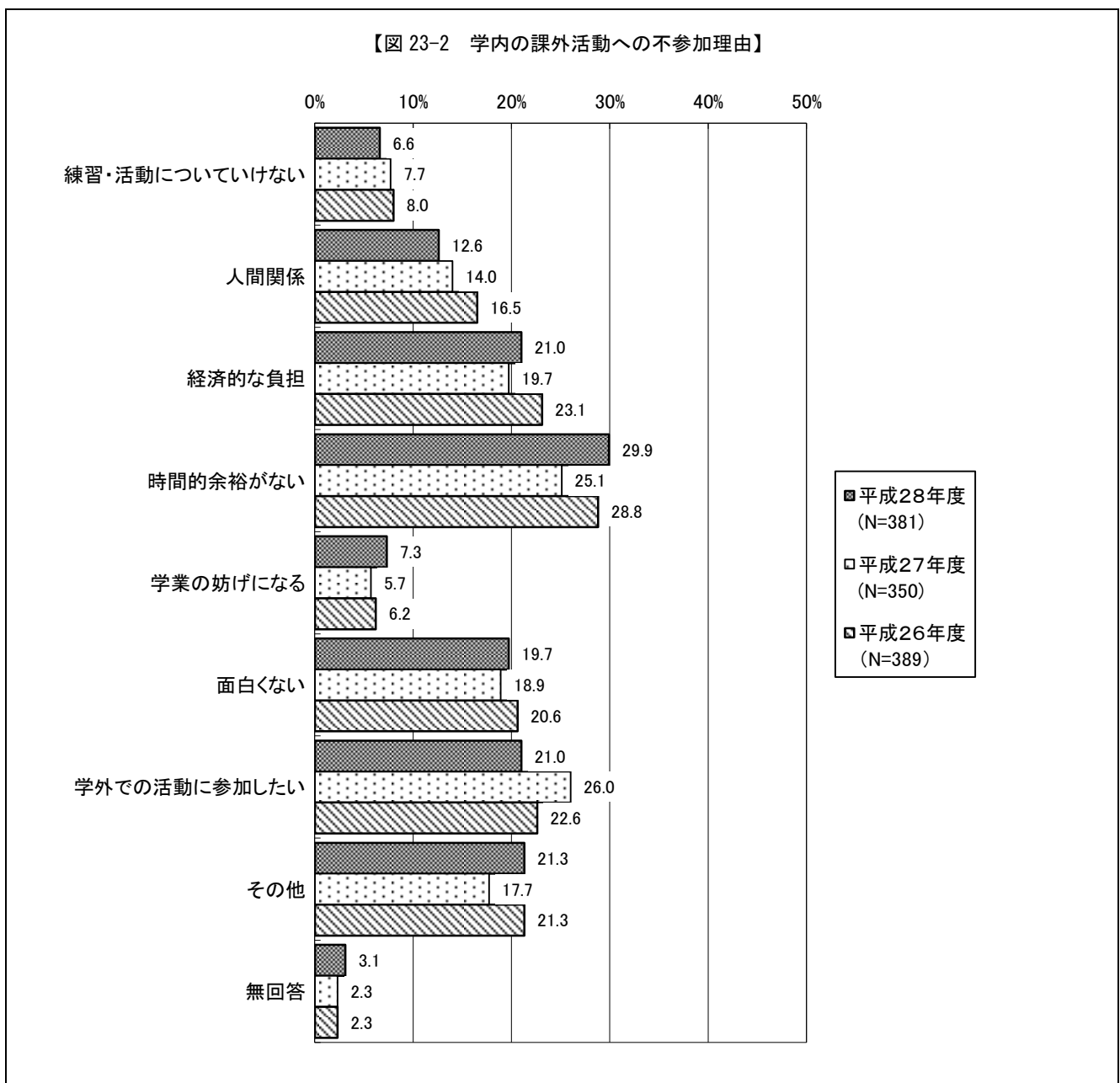


【結果概要（問23-2）】

問23-2. 学内の課外活動への不参加理由としては「時間的余裕がない」が29.9%で最も多く、次に「経済的な負担」・「学外での活動に参加したい」が21.0%、「面白くない」が19.7%となっている。

前回調査と今回調査の上位3項目をみると、「時間的余裕がない」は4.8ポイント増加、「経済的な負担」は1.3ポイント増加、「学外での活動に参加したい」は5.0ポイント減少、「面白くない」は0.8ポイント増加となっている。<図23-2>

■問23-2. 学内の課外活動への不参加理由（過年度調査）



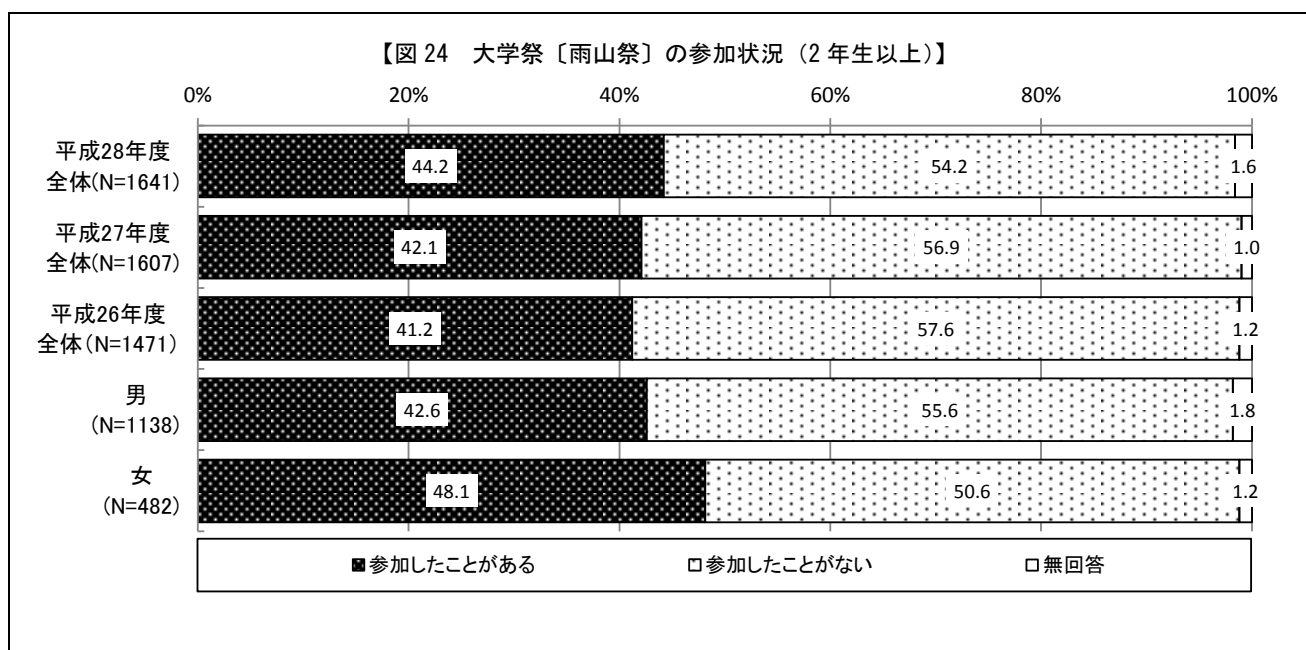
【結果概要（問24）】

問24. 2年生以上の大学祭（雨山祭）の参加状況は、「参加したことがある」は44.2%で「参加したことがない」の54.2%が上回っている。

前回調査と比べると、「参加したことがある」は2.1ポイント増加しており、年々増加している。

性別では、「参加したことがある」は男子学生が42.6%に対して、女子学生は48.1%と女子学生の割合が高くなっている。＜図24＞

■問24. 大学祭〔雨山祭〕の参加状況（過年度調査・性別）



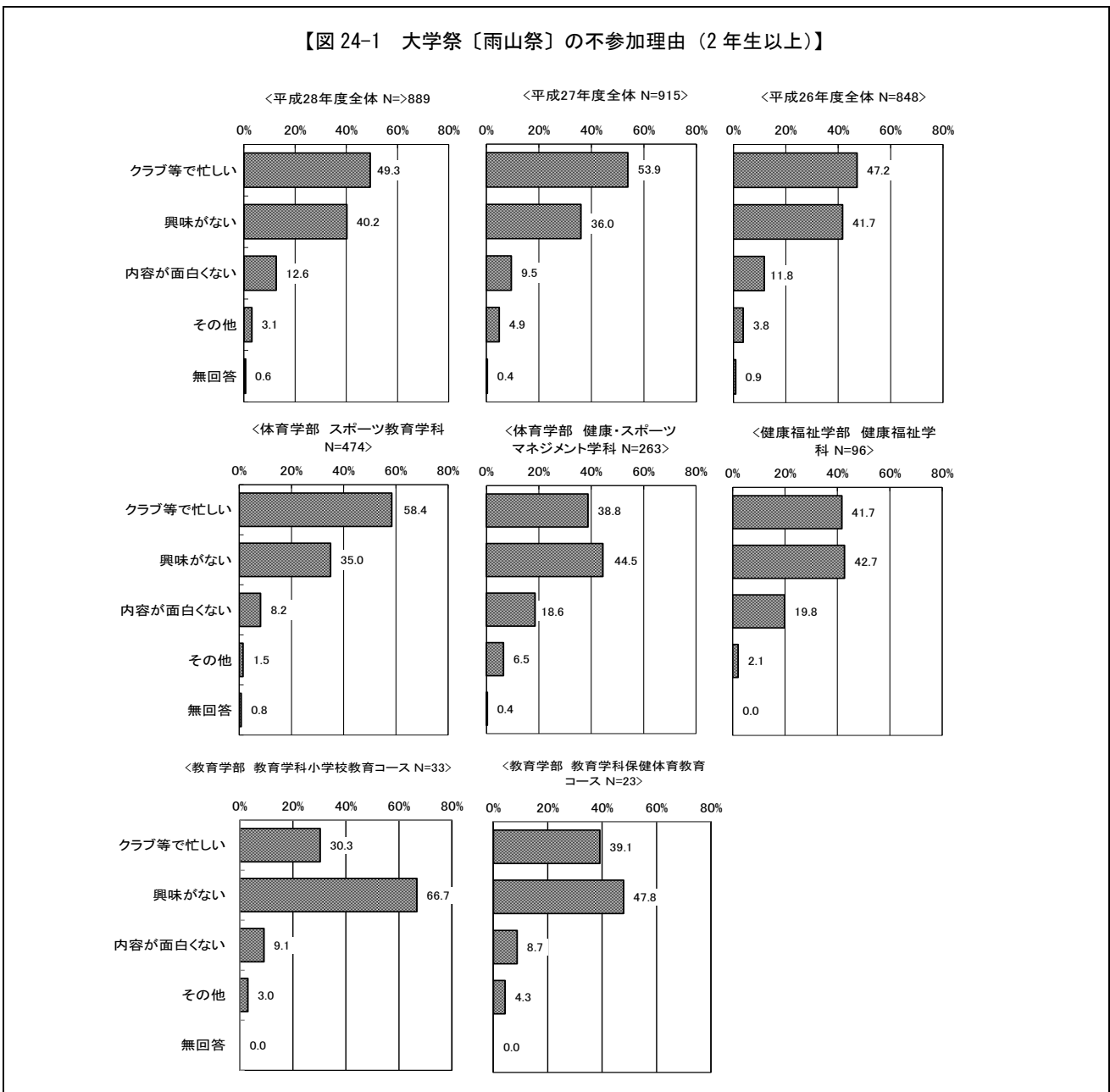
【結果概要（問24-1）】

問24-1. 大学祭への不参加理由としては「クラブ等で忙しい」が49.3%で最も多く、次に「興味がない」が40.2%となっている。

前回調査と比べると、「クラブ等で忙しい」が4.6ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると体育学部スポーツ教育学科以外の学生は「興味がない」が最も多いが、体育学部スポーツ教育学科の学生は「クラブ等で忙しい」の58.4%が最も多くなっている。

■問24-1. 大学祭〔雨山祭〕の不参加理由（過年度調査・学科別）



5. 健康等について

【結果概要（問25）】

問25. 朝食の摂食状況としては、「ほとんど毎日摂る」が65.3%と最も多く、「摂らない」は13.1%となっている。

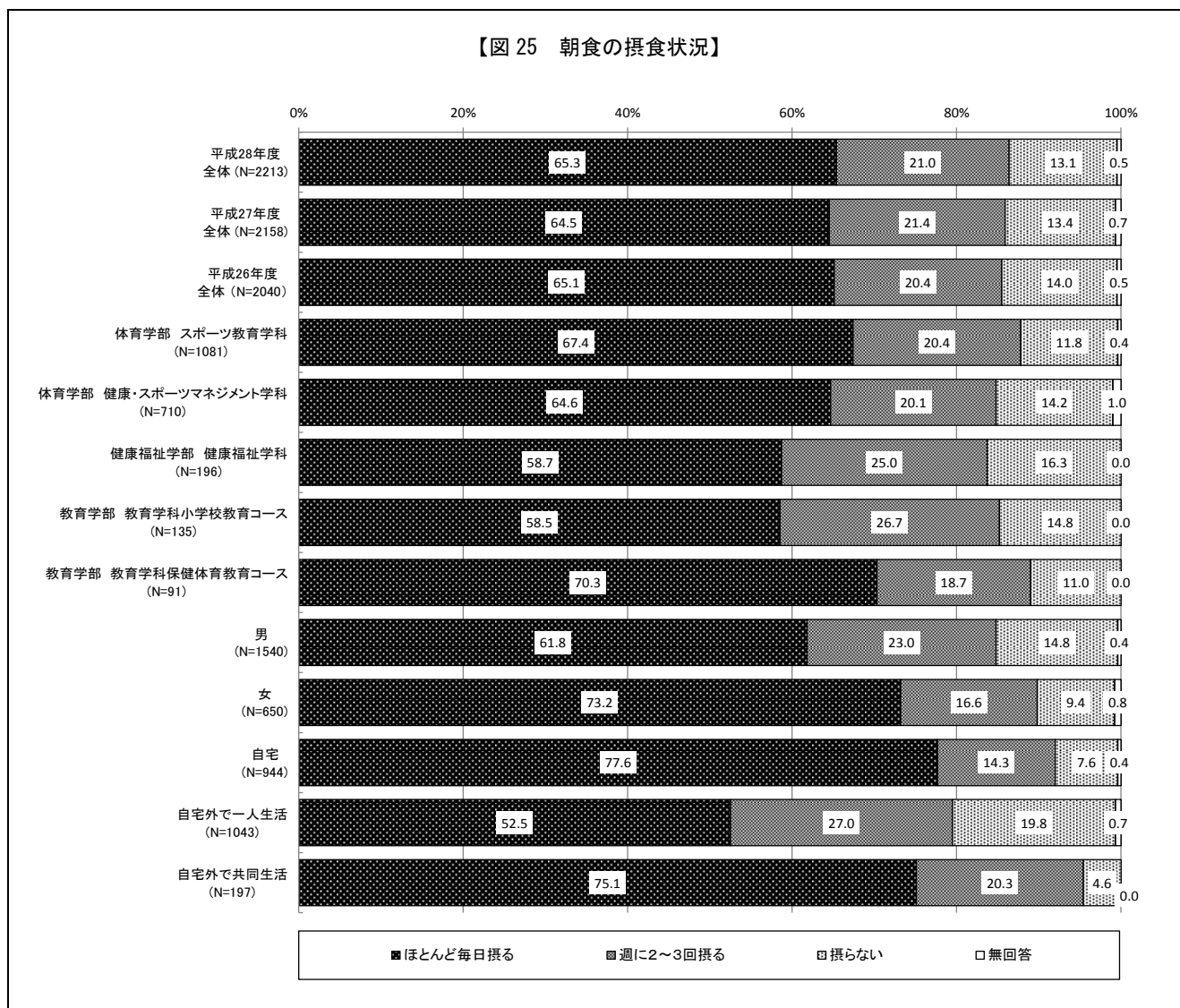
前回調査と比べると、「ほとんど毎日摂る」が64.5%から65.3%と、0.8ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「ほとんど毎日摂る」は教育学部教育学科保健体育教育コースで70.3%、「摂らない」は健康福祉学部健康福祉学科で16.3%と最も高い数字となっている。

性別では、「ほとんど毎日摂る」は女子学生が73.2%と7割以上を占めているが、男子学生は61.8%と6割にとどまっている。

居住形態別でみると、「自宅」の学生は「毎日摂る」が77.6%、「自宅外で共同生活」75.1%と7割以上を超えているが、「自宅外で一人生活」は52.5%と半数になっている。＜図25＞

■問25. 朝食の摂食状況（過年度調査・学科別・性別・居住形態別）

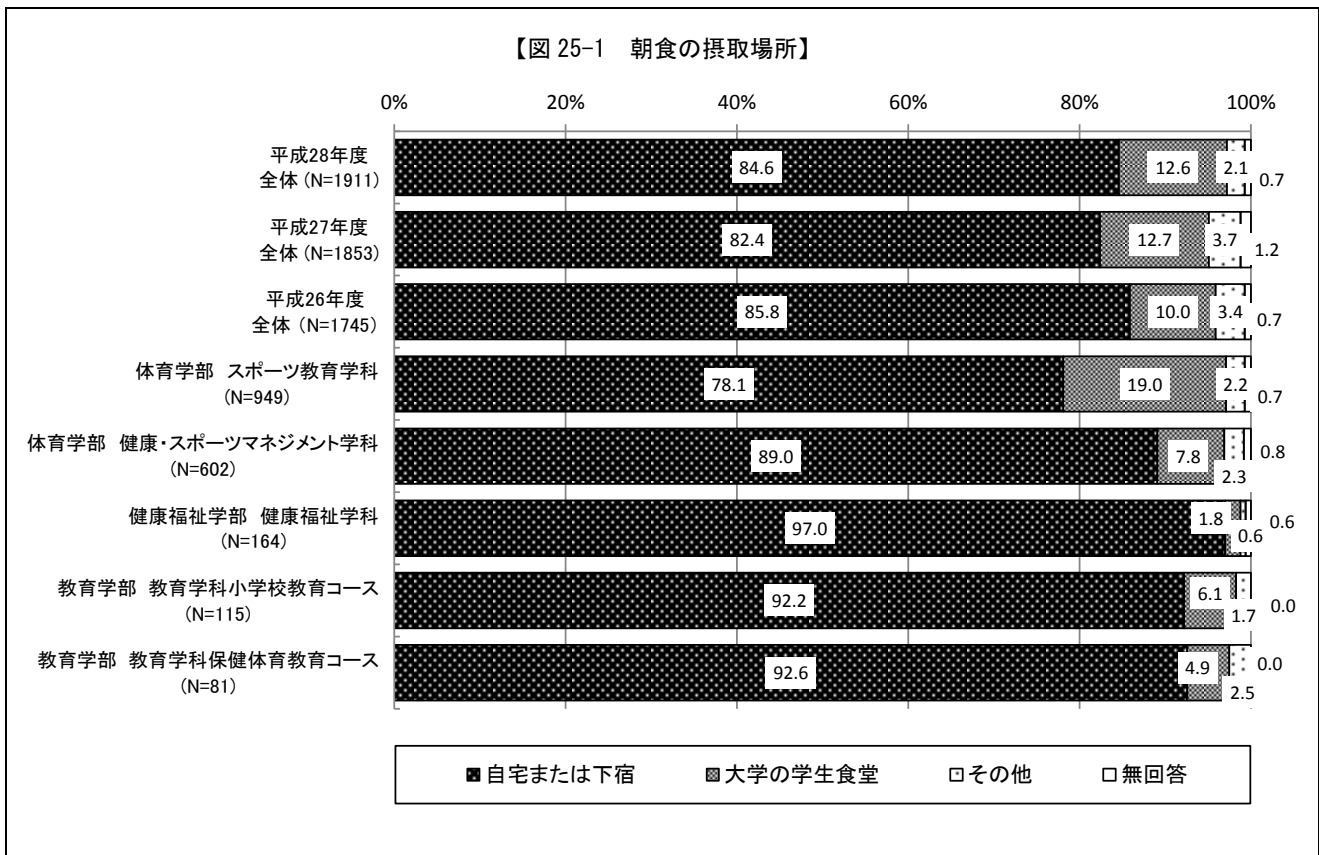


【結果概要（問25-1）】

問25-1. 朝食を摂る場所としては、「自宅または下宿」が最も多く84.6%となっている。前回調査と比べると、「大学の学生食堂」が0.1ポイント減少している。

所属学部・学科別でみると、健康福祉学部健康福祉学科の学生は「自宅または下宿」で朝食を摂る割合が97.0%と最も高く、体育学部の学生は「自宅または下宿」が最も多いものの「大学の学生食堂」で朝食を摂る割合が他の学部・学科の学生に比べて高くなっている。〈図25-1〉

■問25-1. 朝食の摂取場所（過年度調査・学科別）



【結果概要（問26）】

問26. 朝食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が93.1%、「乳製品」が44.3%、「卵」が30.7%となっている。

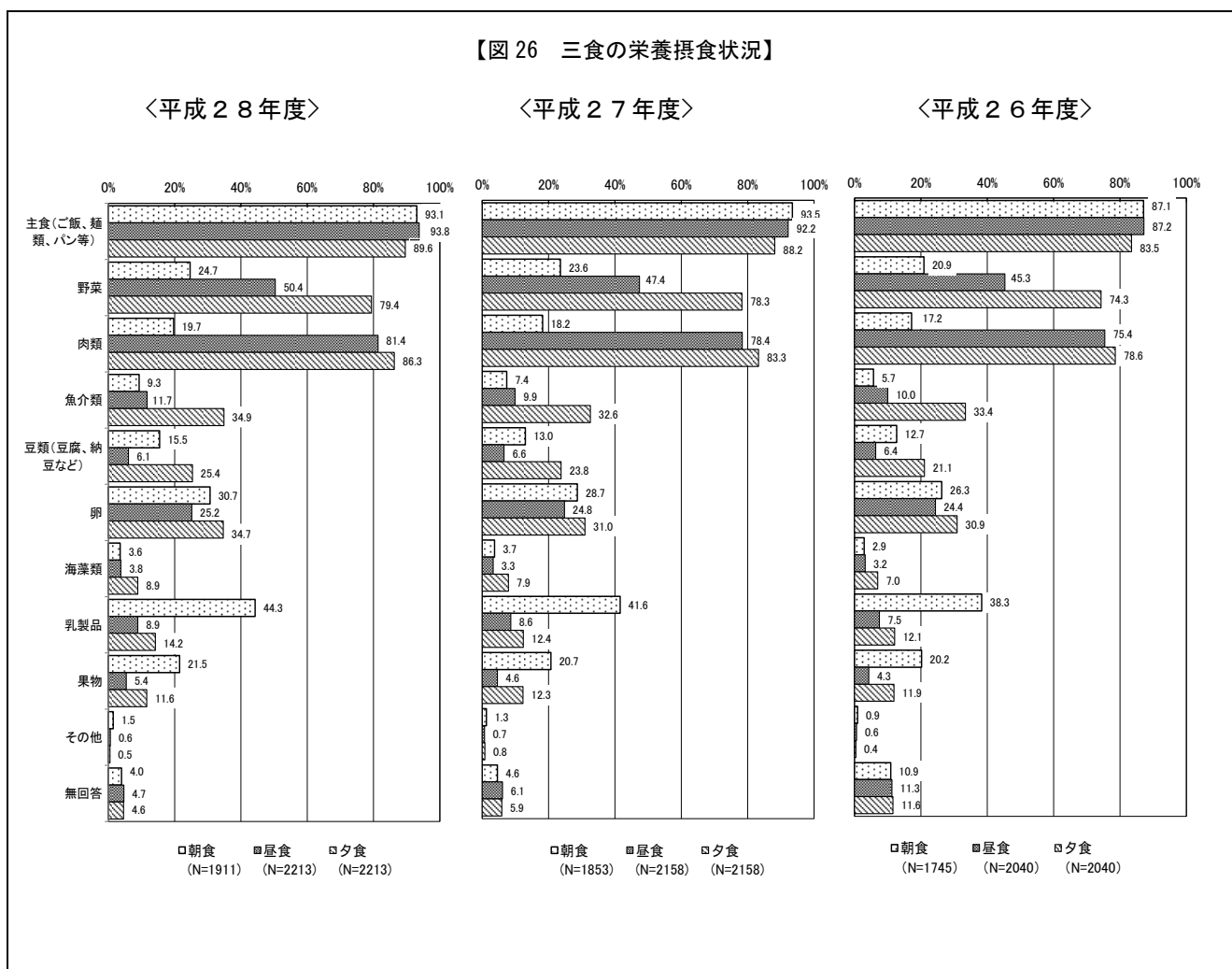
昼食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が93.8%、「肉類」が81.4%、「野菜」が50.4%となっている。

夕食の食事内容（上位3つ）としては「主食（ご飯、麺類、パン等）」が89.6%、「肉類」が86.3%、「野菜」が79.4%となっている。

前回調査と同様の食事内容であった（上位3つ）。<図26>

■問26. 三食の栄養摂食状況（過年度調査）

【図26 三食の栄養摂食状況】



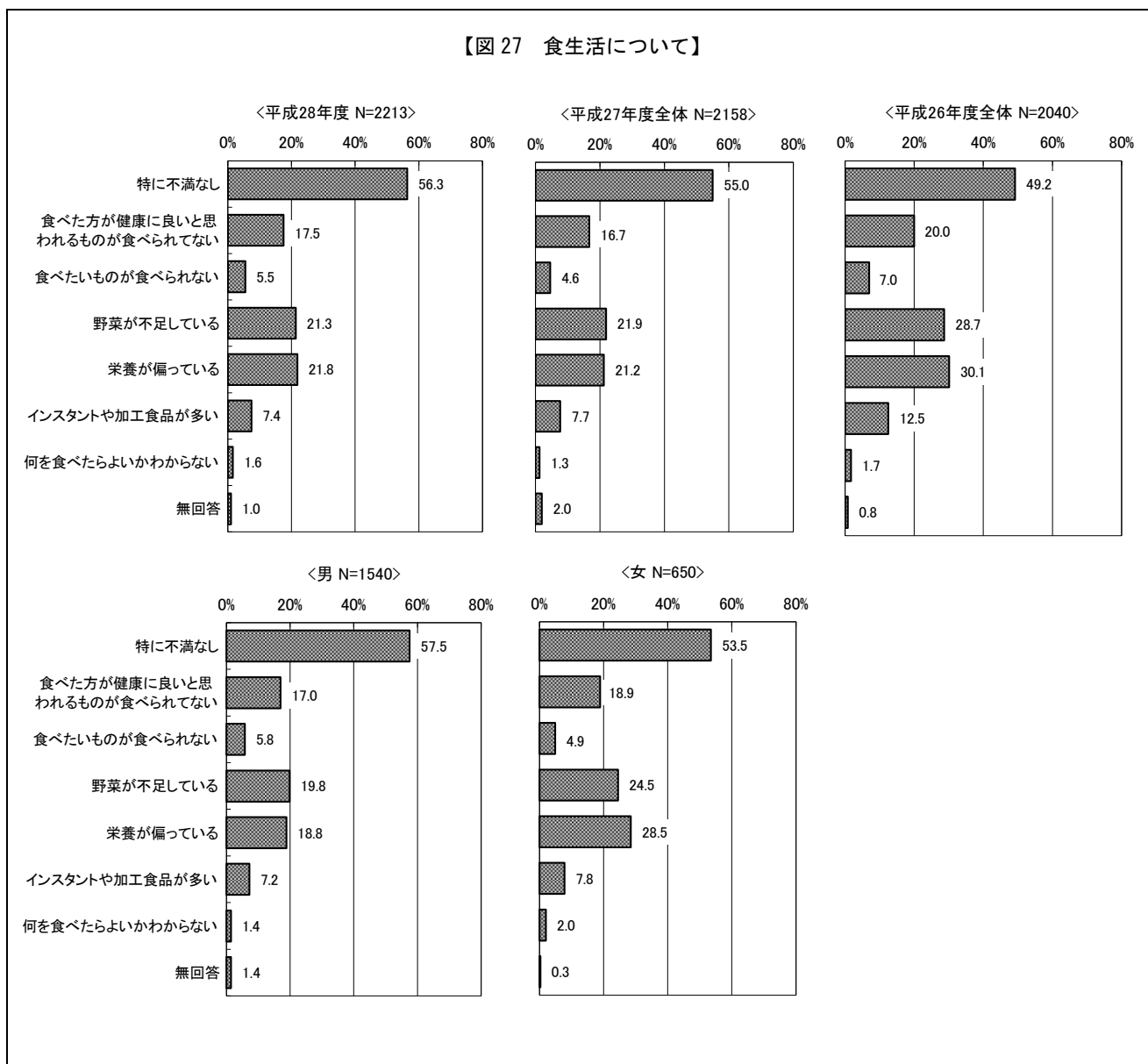
【結果概要（問27）】

問27. 食生活への満足度としては、「特に不満なし」が56.3%で最も多い。不満内容としては、「栄養が偏っている」が21.8%、「野菜が不足している」が21.3%、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」が17.5%となっている。

前回調査と比べると、「特に不満なし」が56.3%は1.3ポイント増加している。

性別でみると、女子学生は男子学生に比べると不満が多くなっており、「栄養が偏っている」、「野菜が不足している」、「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」、「インスタントや加工食品が多い」、「何を食べたらいいかかわからない」が男子学生よりも上回っている。<図27>

■問27. 食生活について（過年度調査・性別）

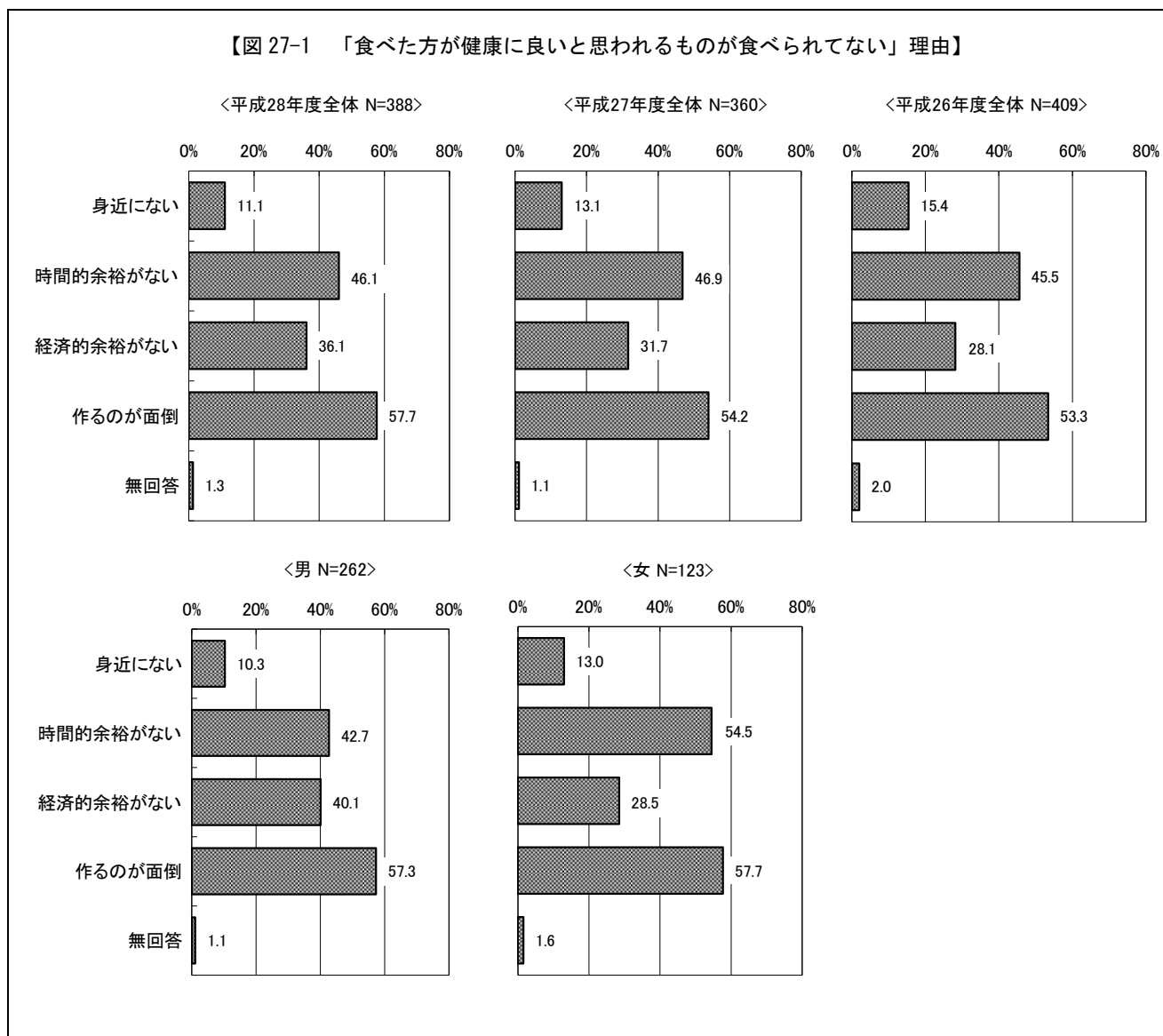


【結果概要（問27-1）】

問27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由としては「作るのが面倒」が57.7%と最も多く、次に「時間的余裕がない」の46.1%となっている。

性別でみると、「作るのが面倒」が最も多く、女子学生の57.7%は男子学生より0.4ポイント上回っている。＜図27-1＞

■問27-1. 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由（過年度調査・性別）



【結果概要（問28・問28-1）】

問28. 100円朝食の利用については、「知っているが、利用したことがない（55.2%）」が最も多く、「知らなかったなので、利用したことがない（4.5%）」を合わせた「利用しなかった」は59.7%となっている。

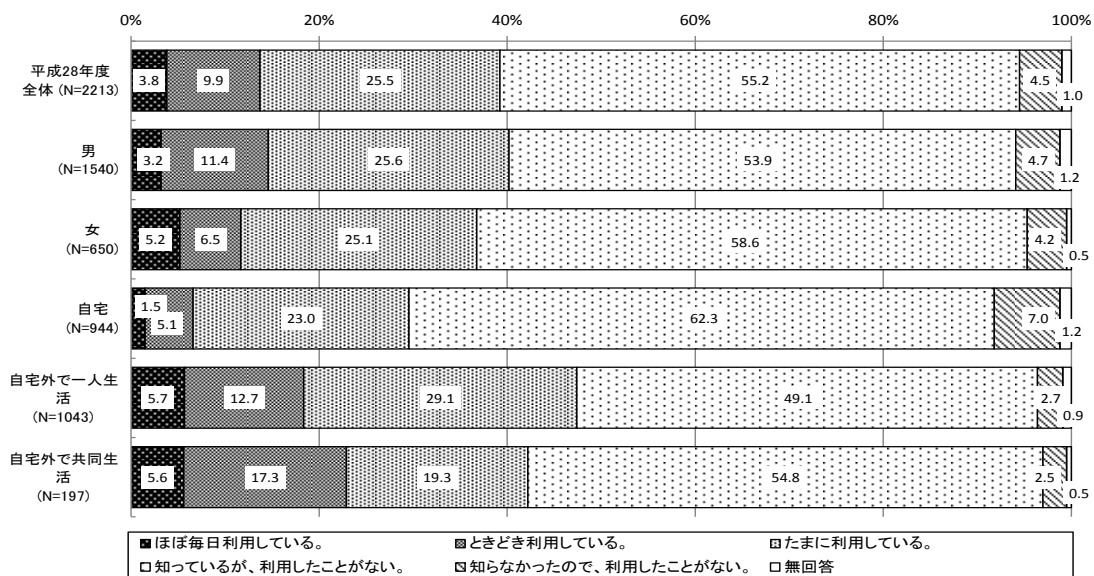
居住形態別で見ると、利用状況の「ほぼ毎日利用している」は「自宅外で一人生活」が5.7%と最も多く、一方で「自宅」の1.5%が最も少なくなっている。＜図28＞

問28-1. 100円朝食について感じたことは、「100円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい」が50.9%と過半数を占めている。＜図28-1＞

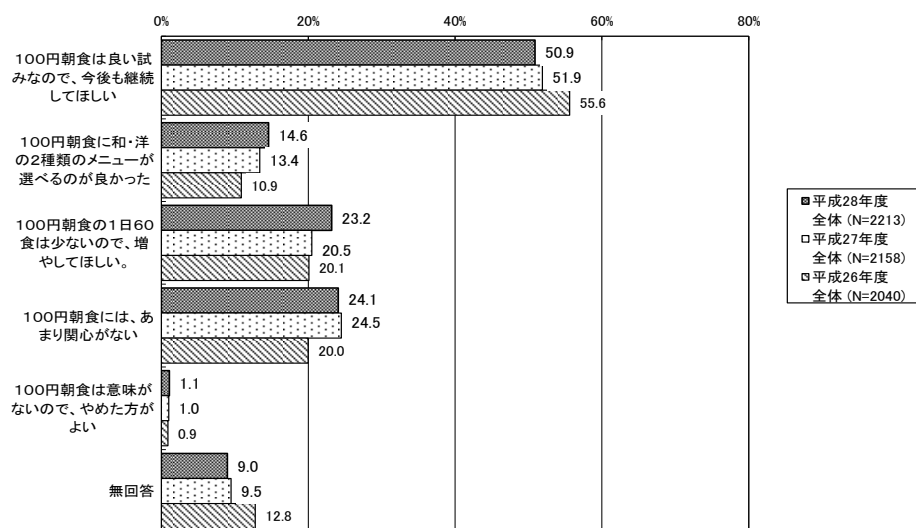
■問28. 「100円朝食」の利用状況（性別・居住形態別）

■問28-1. 「100円朝食」について感じたこと（過年度調査）

【図28 「100円朝食」の利用状況】



【図28-1 「100円朝食」について感じたこと】



【結果概要（問29・問29-1）】

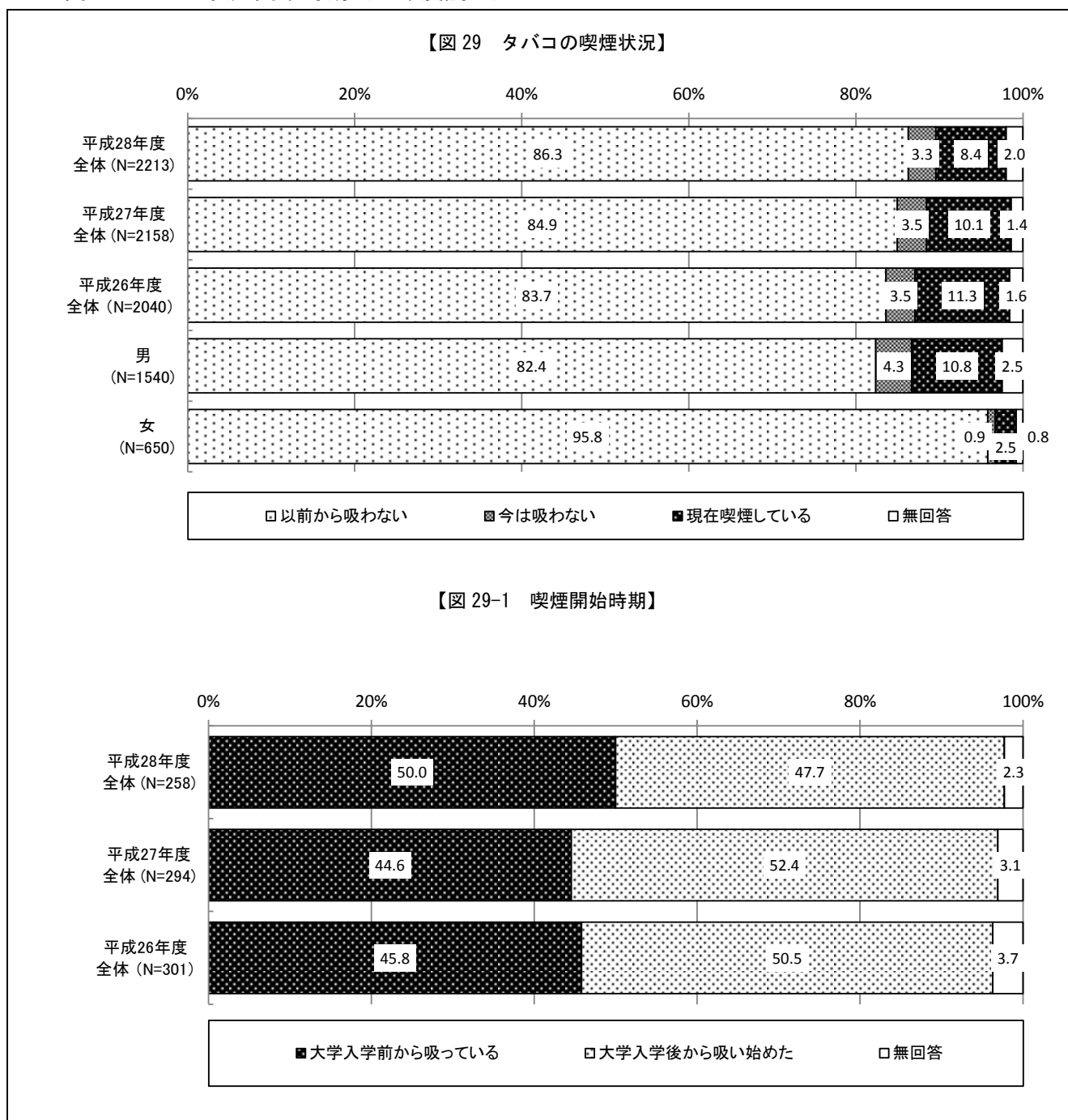
問29. タバコの喫煙状況としては「以前から吸わない」が86.3%で「現在喫煙している」は8.4%であった。前回調査と比べると「現在喫煙している」は1.7ポイント減少している。

「現在喫煙している」は男子学生で10.8%、女子学生で2.5%となっている。＜図29＞

問29-1. 喫煙はいつ頃から始めたかでは、「大学入学前から吸っている」は50.0%と半数を占めており、前回調査より5.4ポイント増加している。＜図29-1＞

■問29. タバコの喫煙状況（過年度調査・性別）

■問29-1. 喫煙開始時期（過年度調査）



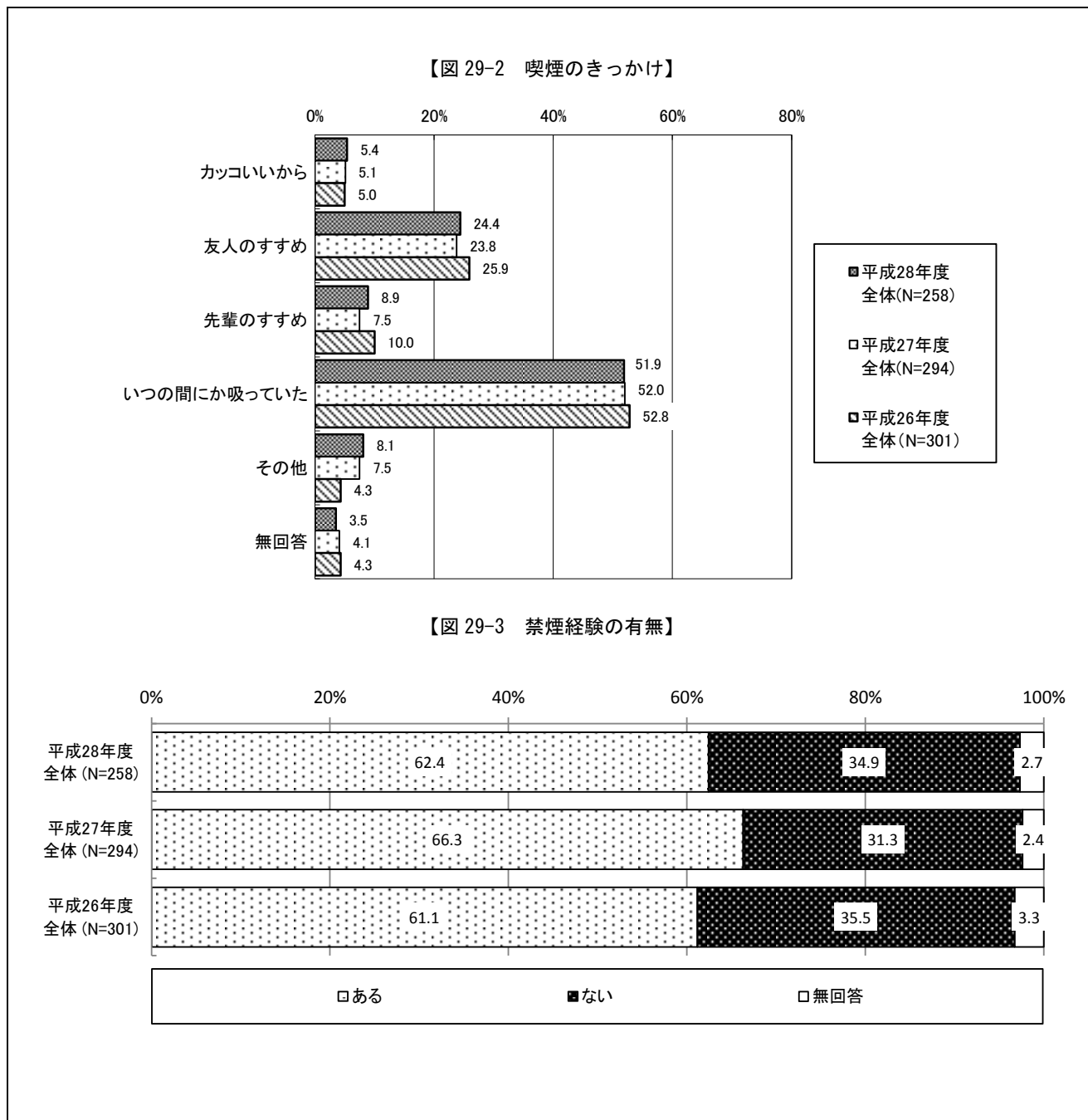
【結果概要（問29-2・問29-3）】

問29-2. 喫煙のきっかけは、「いつの間にか吸っていた」が51.9%と最も多く、次に「友人のすすめ」が24.4%となっている。＜図29-2＞

問29-3. 禁煙をしたことがあるかでは「ある」が62.4%と最も多く、次に「ない」の34.9%となっている。＜図29-3＞

■問29-2. 喫煙のきっかけ（過年度調査）

■問29-3. 禁煙経験の有無（過年度調査）



【結果概要（問29-4・問30）】

問29-4. 学内が全面禁煙になった場合、「積極的に受け入れる」が32.2%、「仕方なく受け入れる」が34.1%と、合わせて66.3%の学生が「全面禁煙を受け入れる」と回答している。

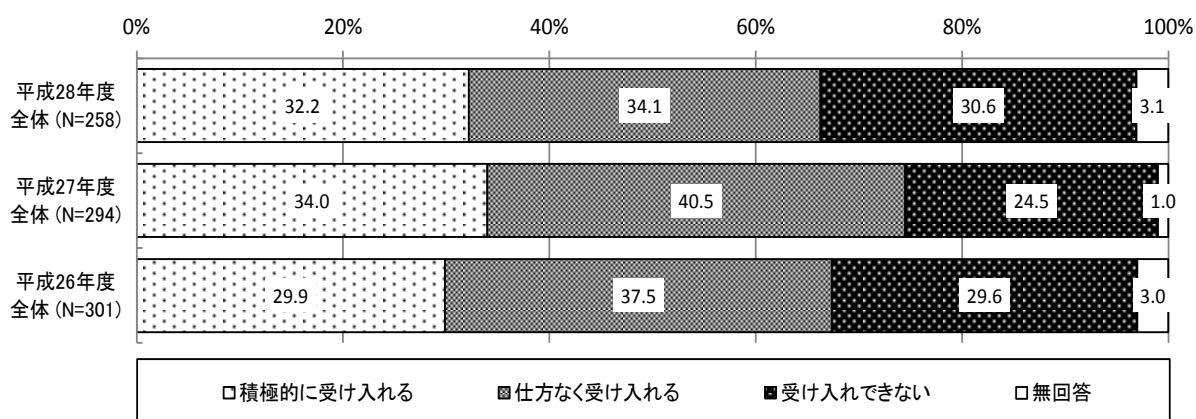
前回調査と比べると、「積極的に受け入れる」が1.8ポイント減少、「仕方なく受け入れる」は6.4ポイント減少している。「受け入れできない」は6.1ポイント増加している。＜図29-4＞

問30. 「喫煙場所での喫煙のみ認める」が62.4%と最も多く、次に「全面禁煙にすべき」が34.1%となっている。＜問30＞

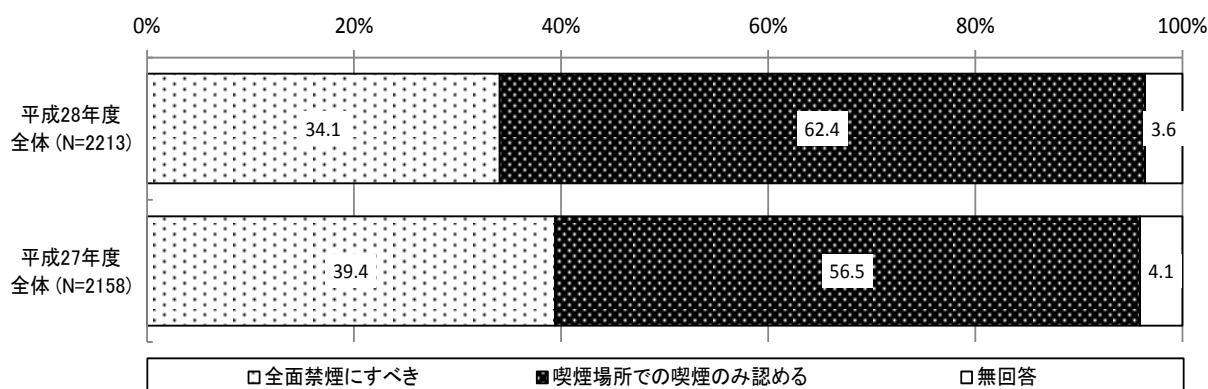
■問29-4. 学内が全面禁煙になった場合の対応（過年度調査）

■問30. 学内での喫煙・禁煙について

【図29-4 学内が全面禁煙になった場合の対応】



【図30 学内での喫煙・禁煙について】



6. 不安や悩みについて

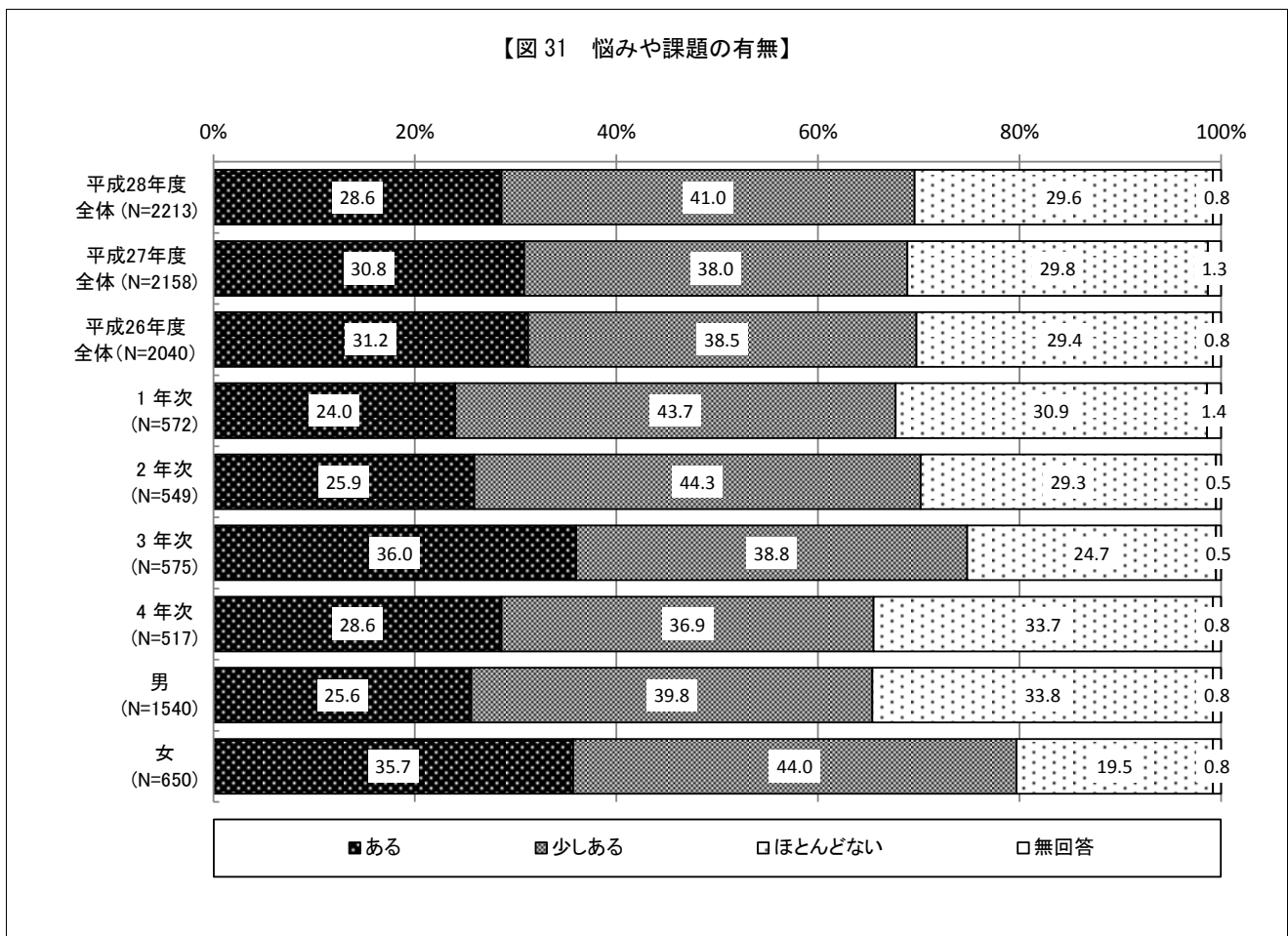
【結果概要（問31）】

問31. 現在、悩みや課題はあるかの質問に「少しある」が41.0%と最も多く、次に「ある」が28.6%となっており、それらを合わせると69.6%となっており、学生全体の約7割が何らかの悩みや課題があると回答している。

年次別で見ると、各年次とも半数以上が何らかの悩みや課題があると回答しており、特に3年次では74.8%（「ある」と「少しある」）と最も多くなっている。

性別で見ると、「ある」と回答した男子学生25.6%に対して女子学生「ある」は35.7%と女子学生の方が高くなっている。<図31>

■問31. 悩みや課題の有無（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要（問32）】

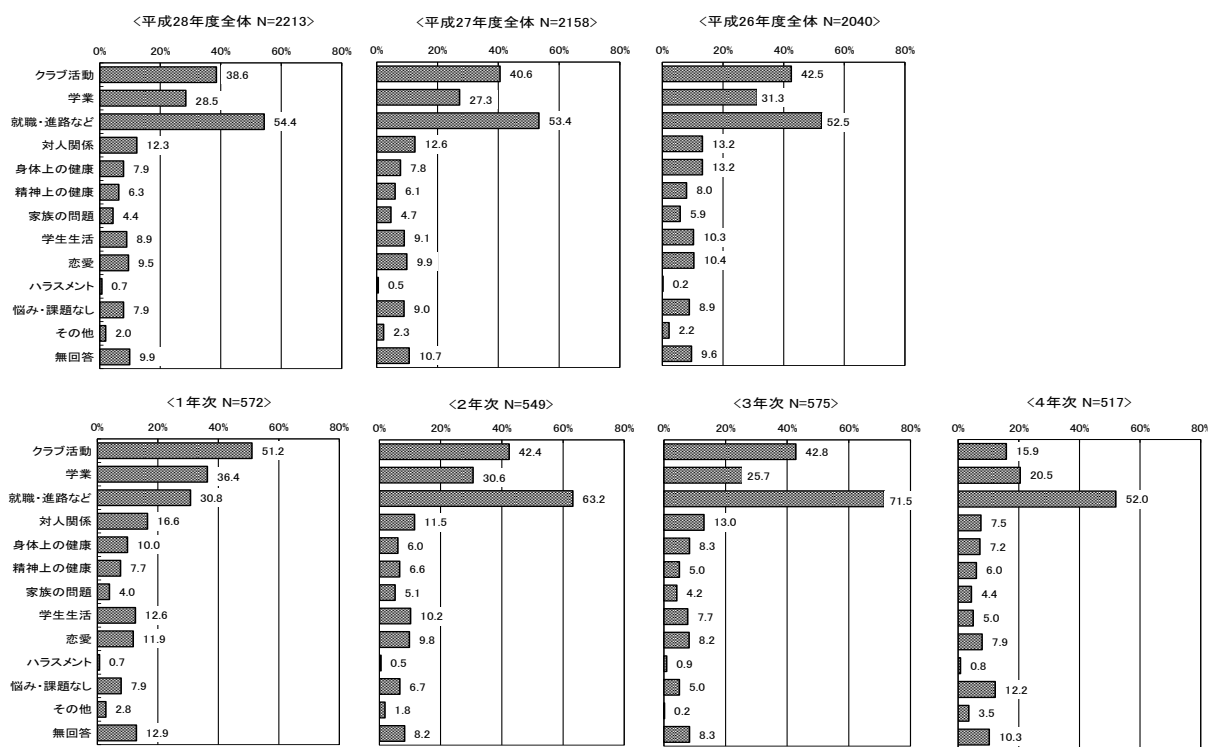
問32. 悩みや課題の具体的な内容としては「就職・進路など」が54.4%と他の項目と比べて最も多く、半数を占めている。次に「クラブ活動」が38.6%、「学業」が28.5%となっている。

年次別でみると、1年次では「クラブ活動」が51.2%と最も多く、2年次以上になると「就職・進路など」が最も多く、3年次では71.5%と約7割まで上がっている。＜図32-A＞

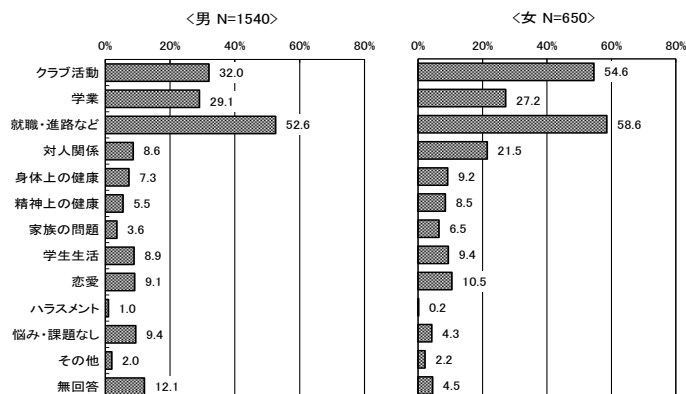
性別でみると、男女ともに「就職・進路など」が5割以上で最も多くなっている。次に、「クラブ活動」となっているが、男子学生32.0%に対して女子学生は54.6%と女子学生の割合が高くなっている。＜図32-B＞

■問32. 悩みや課題の具体的な内容（過年度調査・年次別・性別）

【図32-A 悩みや課題の具体的な内容】



【図32-B 悩みや課題の具体的な内容（性別）】

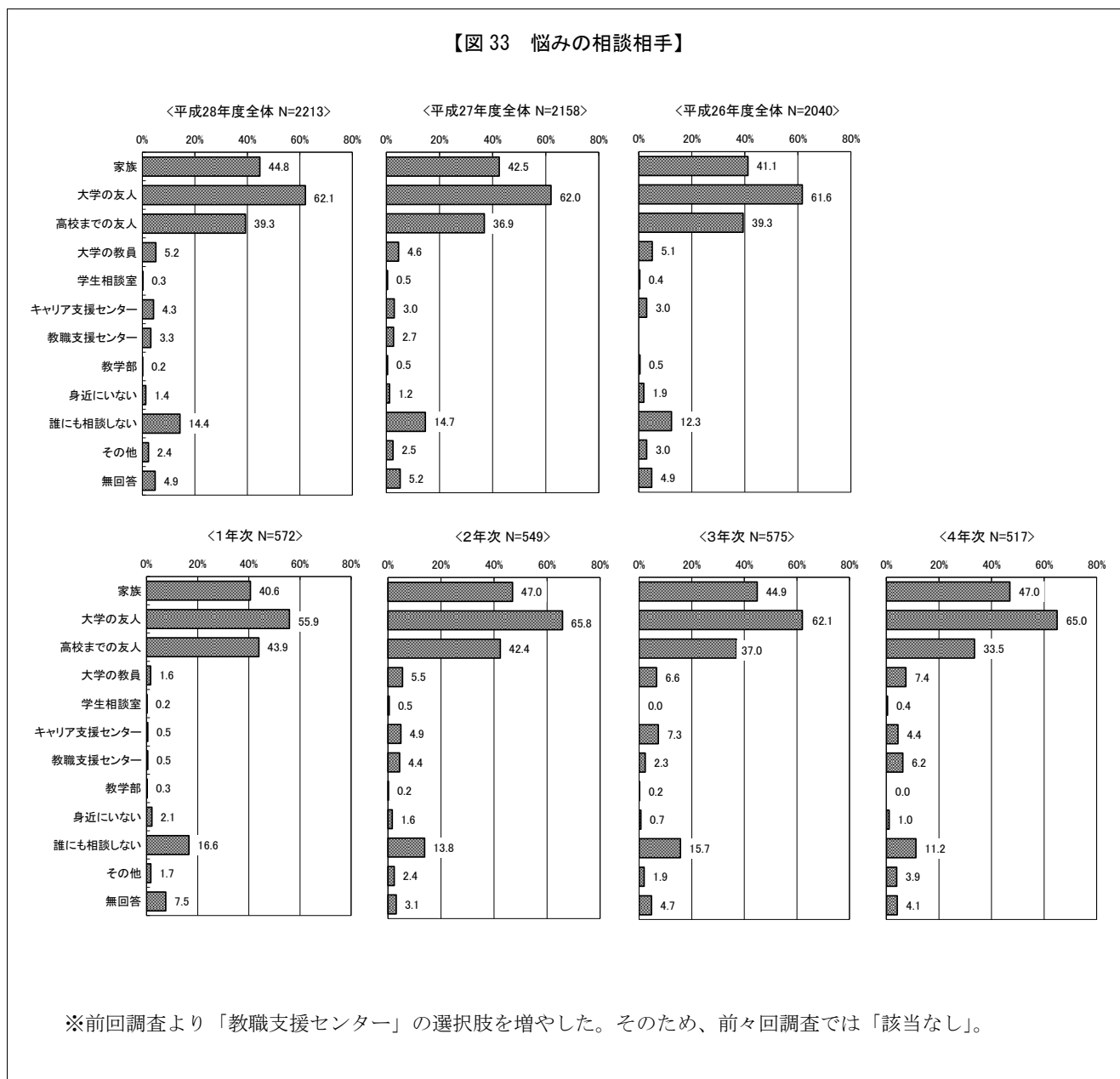


【結果概要（問33）】

問33. 悩みについて誰に相談するかでは「大学の友人」が62.1%で最も多く、次に「家族」が44.8%、「高校までの友人」が39.3%となっている。また、「大学の教員」が5.2%、「キャリア支援センター」が4.3%、「教職支援センター」が3.3%、「学生相談室」が0.3%、「学部」が0.2%の大学関連部署への相談は低くなっている。

年次別でみると、「大学の教員」は年次が上がるほど高くなる傾向となっている。＜図33＞

■問33. 悩みの相談相手（過年度調査・年次別）



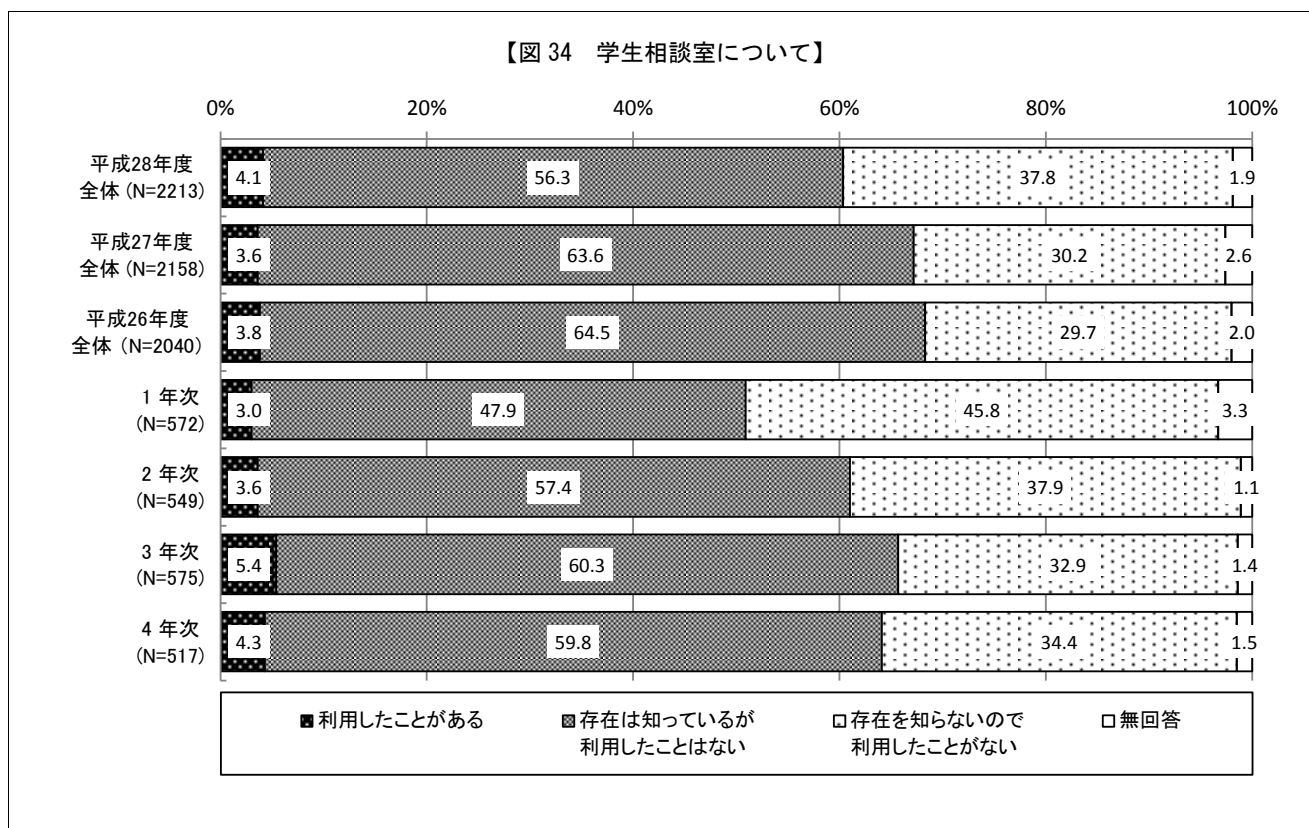
【結果概要（問34）】

問34. 学生相談室の利用状況としては、「存在は知っているが利用したことはない」が56.3%で「利用したことがある」は4.1%にとどまっている。また約4人に1人が「存在を知らないの
で利用したことがない」と回答している。

前回調査から「利用したことがある」は0.5ポイント増加し、今回調査では4.1%しか利用していないという結果となった。

年次別でみると、「存在は知っているが利用したことはない」は3年次の60.3%が最も高くなっている。＜図34＞

■問34. 学生相談室について（過年度調査・年次別）



7. マナー等について

【結果概要（問35・問35-1）】

問35. マナーアップキャンペーンについては、「参加したことがある」が34.6%となっている。「キャンペーンをしていることは知っている」が47.3%、「全然知らない」が17.3%となっている。

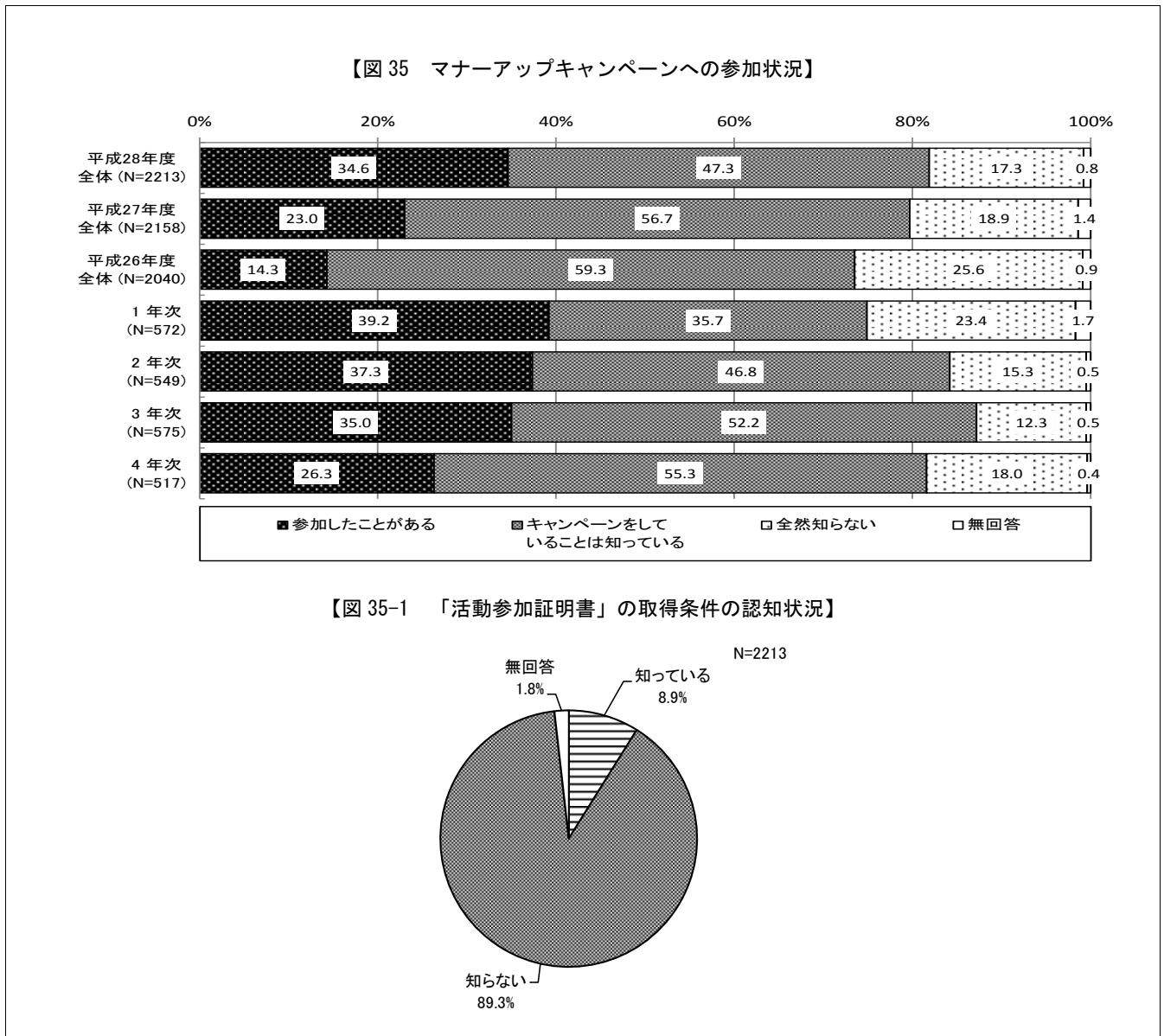
前回調査と比べると、「参加したことがある」は11.6ポイント増加しており認知度は上がってきている。

年次別でみると、「参加したことがある」は1年次の39.2%が最も高くなっている。<図35>

問35-1. マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえることについては、「知っている」が8.9%、「知らない」が89.3%となっており、あまり知られていない。<図35-1>

■問35. マナーアップキャンペーンへの参加状況（過年度調査・年次別）

■問35-1. 「活動参加証明書」の取得条件の認知状況

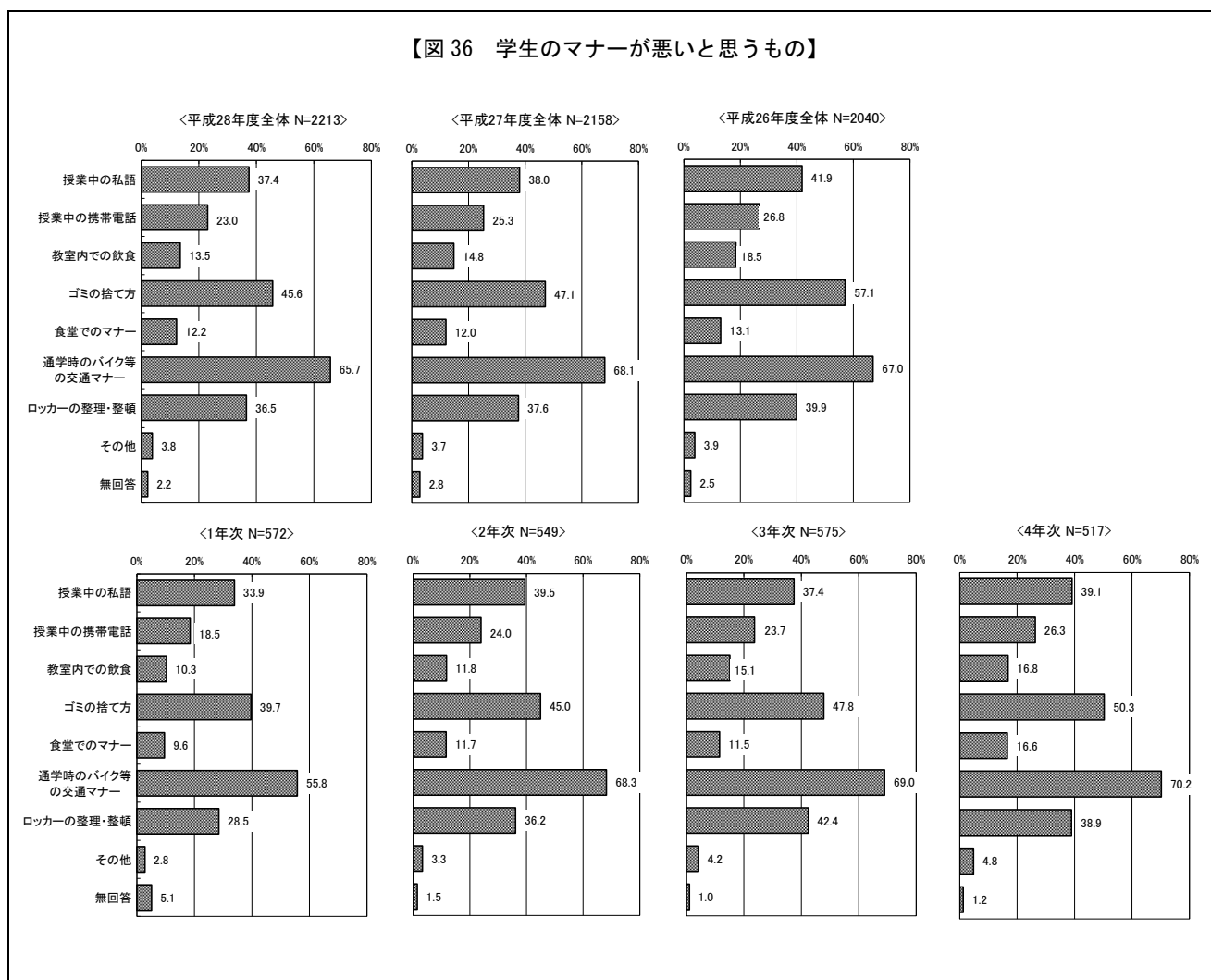


【結果概要（問36）】

問36. 学生のマナーが悪いと思うものとしては「通学時のバイク等の交通マナー」が65.7%と最も多く、次に「ゴミの捨て方」が45.6%、「授業中の私語」が37.4%、「ロッカーの整理・整頓」が36.5%、「授業中の携帯電話」が23.0%と、以上が前回調査同様にワースト5である。

年次別でみると、「通学時のバイク等の交通マナー」は各年次とも第一位に挙げており、年次が上がるほど高くなっている。1年次で55.8%に対して4年次では70.2%まで上がっている。他のマナーについてもほぼ同様で年次が高くなるほど割合が大きくなっている。＜図36＞

■問36. 学生のマナーが悪いと思うもの（過年度調査・年次別）



【結果概要（問37）】

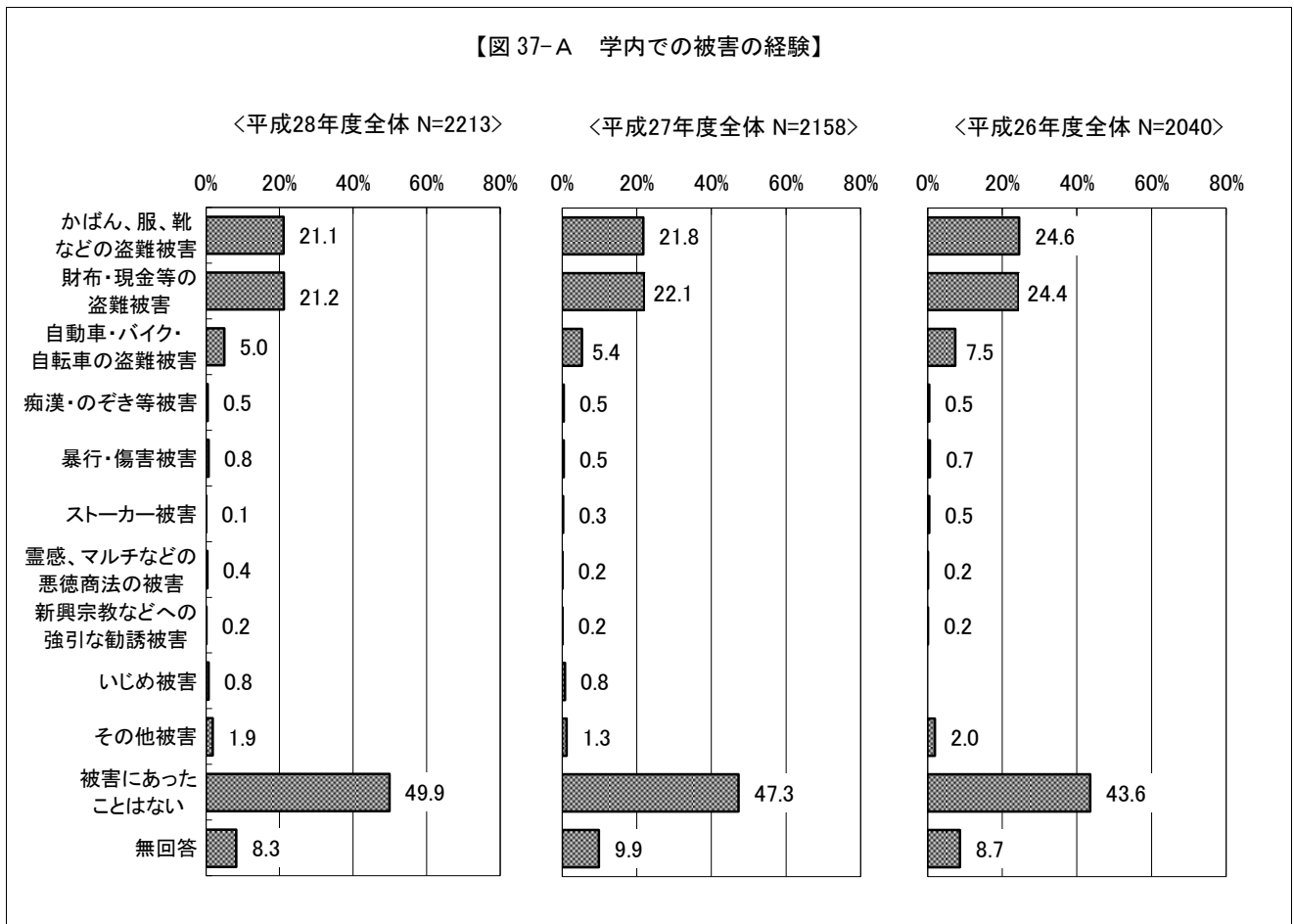
問37. 学内での被害経験としては何らかの被害を受けたことがある学生は全体の41.8%で、その内訳としては「財布・現金等の盗難被害」が21.2%で最も多く、「かばん、服、靴などの盗難被害」が21.1%「自動車・バイク・自転車の盗難被害」が5.0%、となっており、盗難被害が前回調査と同じく上位にきている。＜図37-A＞

所属学部・学科別でみると、何らかの被害を受けたことがある学科は体育学部スポーツ教育学科が43.7%で最も多くなっている。＜図37-B＞

年次別でみると、「かばん、服、靴などの盗難被害」、「財布・現金等の盗難等」は年次が上がるごとに増加している。＜図37-C＞

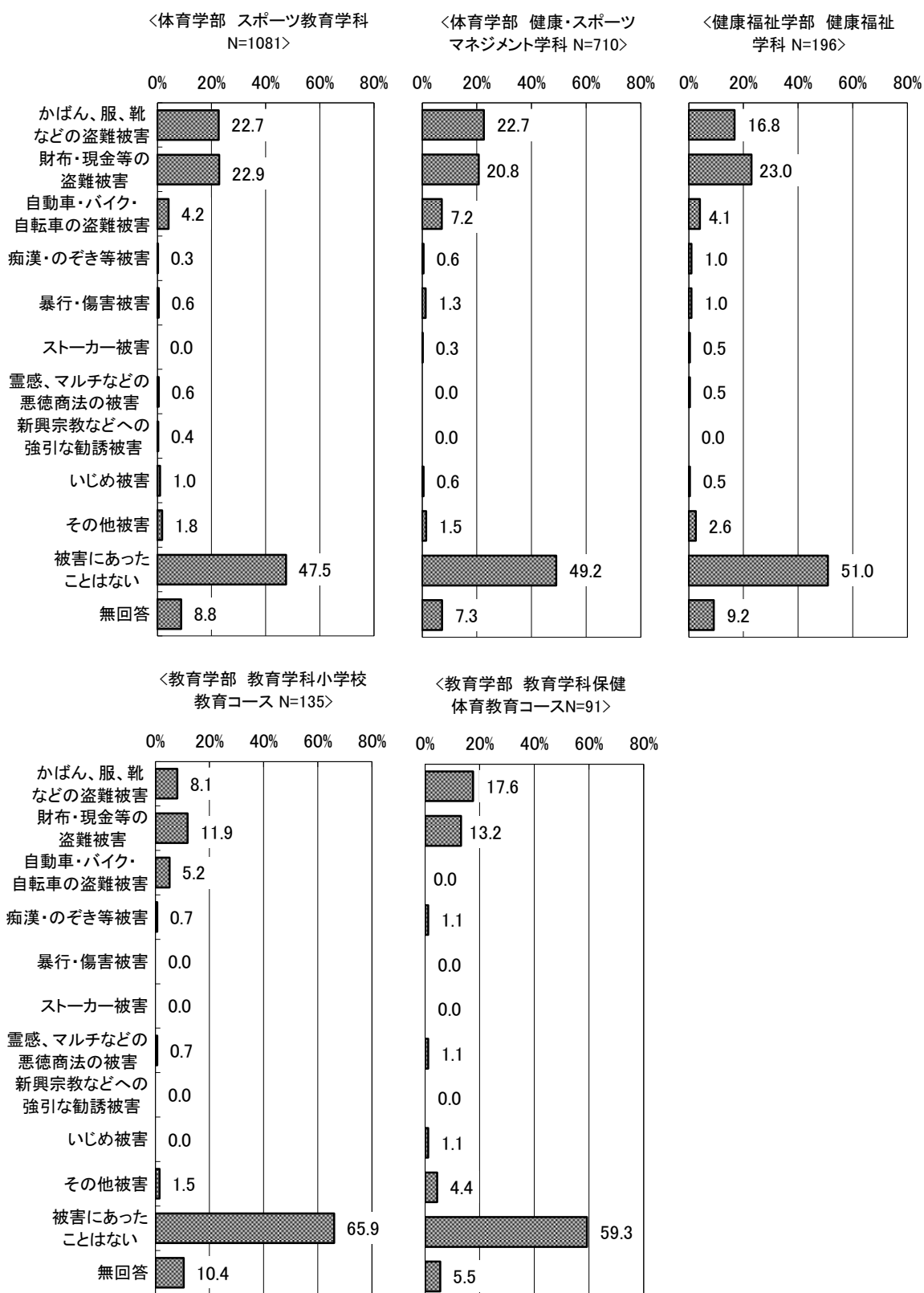
性別では、何らかの被害を受けたことがある学生は男子学生が45.9%、女子学生が31.0%と男子学生の方が高くなっている。＜図37-D＞

■問37. 学内での被害の経験（過年度調査）



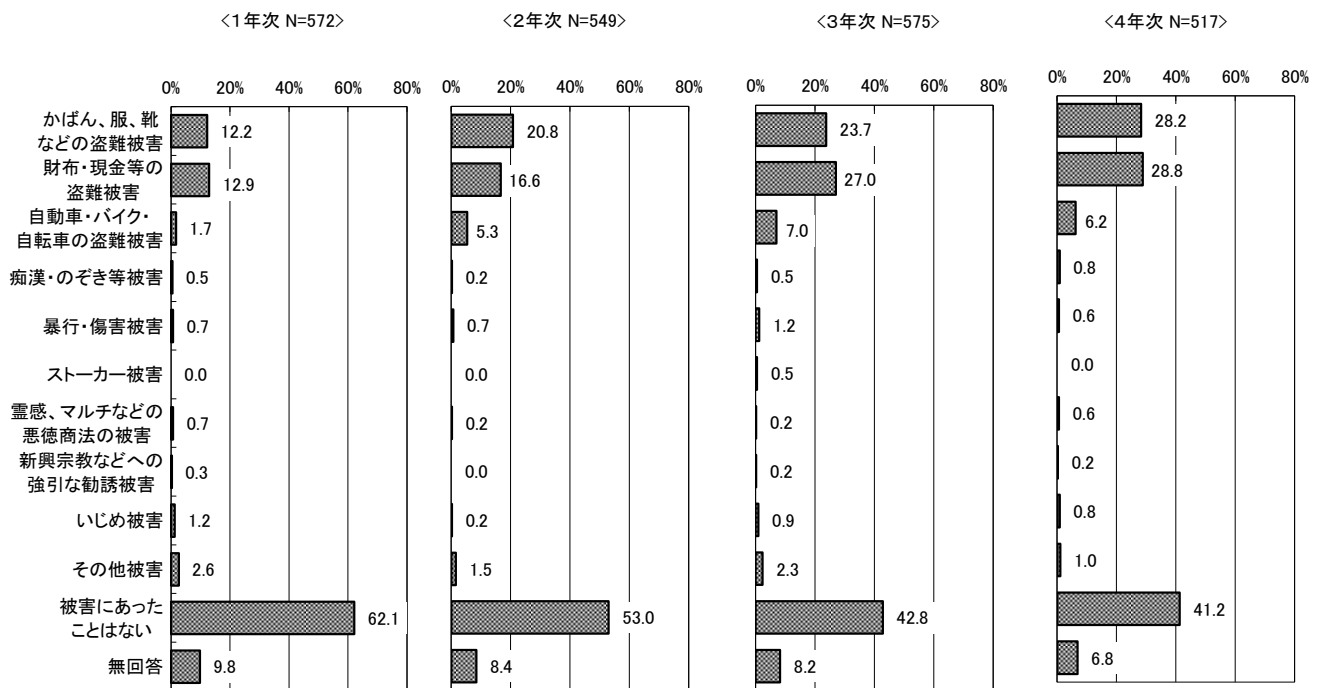
■問37. 学内での被害の経験（学科別調査）

【図37-B 学内での被害経験（学科別）】

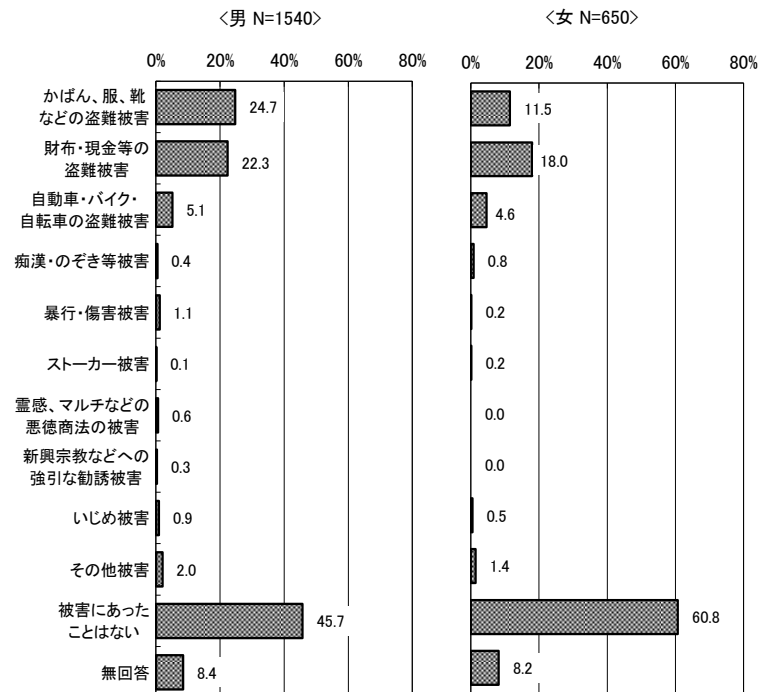


■問37. 学内での被害の経験（年次別・性別調査）

【図 37-C 学内での被害経験（年次別）】



【図 37-D 学内での被害経験（性別）】



8. 進路と就職について

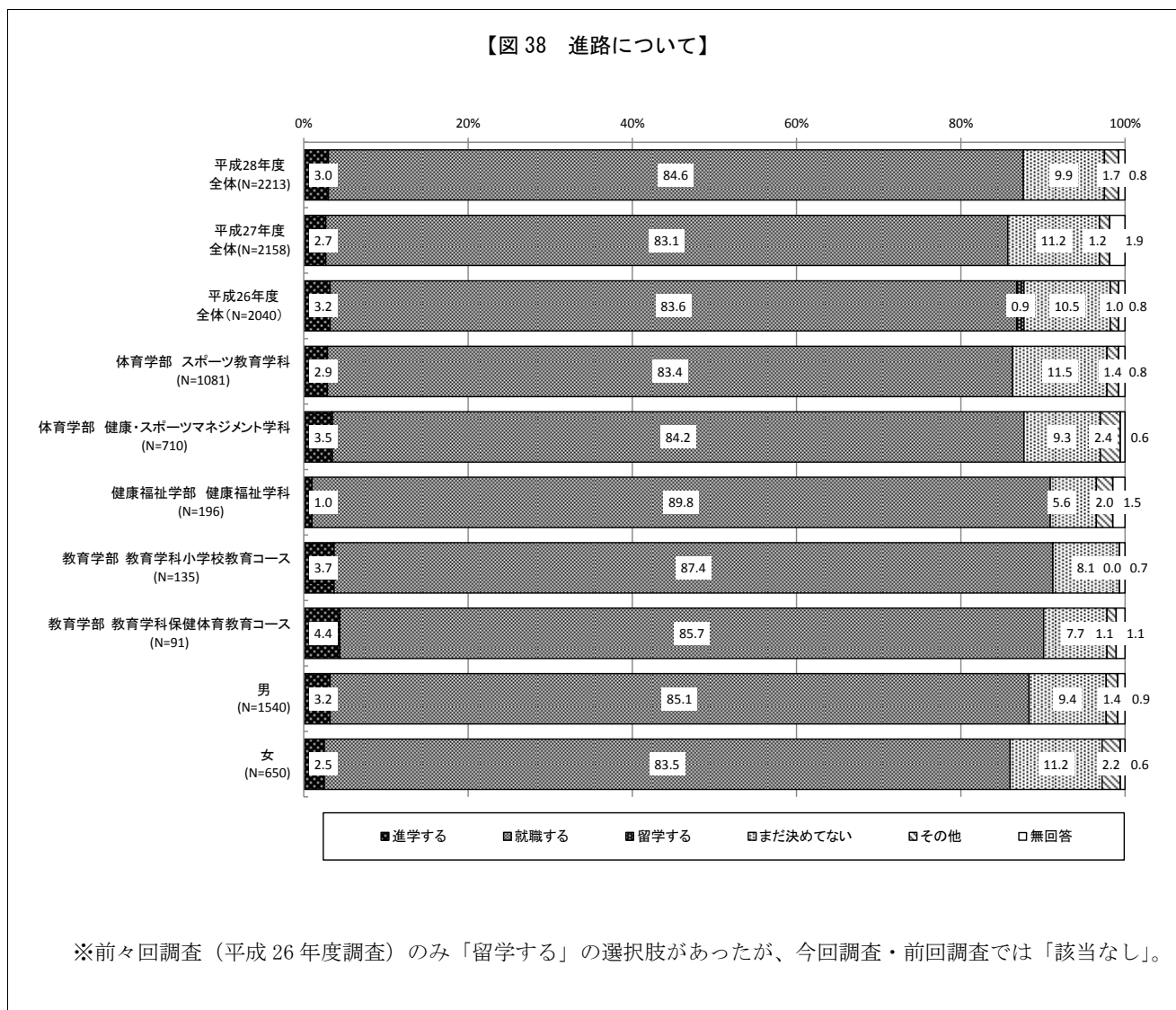
【結果概要（問38）】

問38. 将来の進路については、「就職する」が84.6%と8割以上を占めている。

所属学部・学科別では、「就職する」が健康福祉学部健康福祉学科で89.8%と最も高くなっている。

性別では、「就職する」は男女ともに8割以上を超えている。＜図38＞

■問38. 進路について（過年度調査・学科別・性別）



【結果概要（問39）】

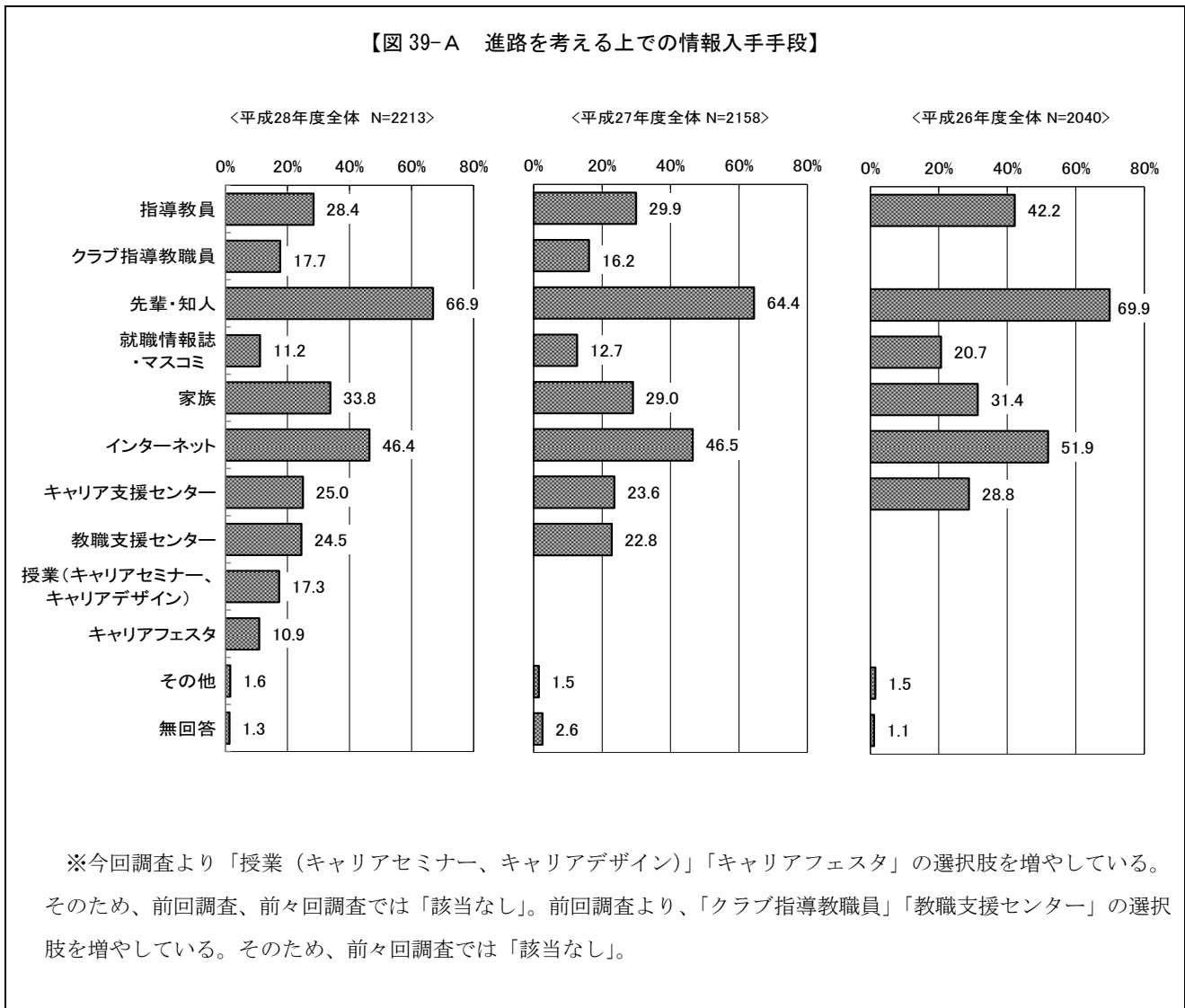
問39. 進路を考える上での情報入手手段としては、「先輩・知人」が66.9%と最も多く、次に「インターネット」が46.4%、「家族」が33.8%、「指導教員」が28.4%となっている。＜図39-A＞

所属学部・学科別では、「先輩・知人」が各学科ともに割合が高くなっている。クラブ指導教職員については体育学部スポーツ教育学科で24.0%と他の学部・学科と比べて大きく差が出ている。＜図39-B＞

年次別でみると、各年次とも「先輩・知人」が最も多くなっている。＜図39-C＞

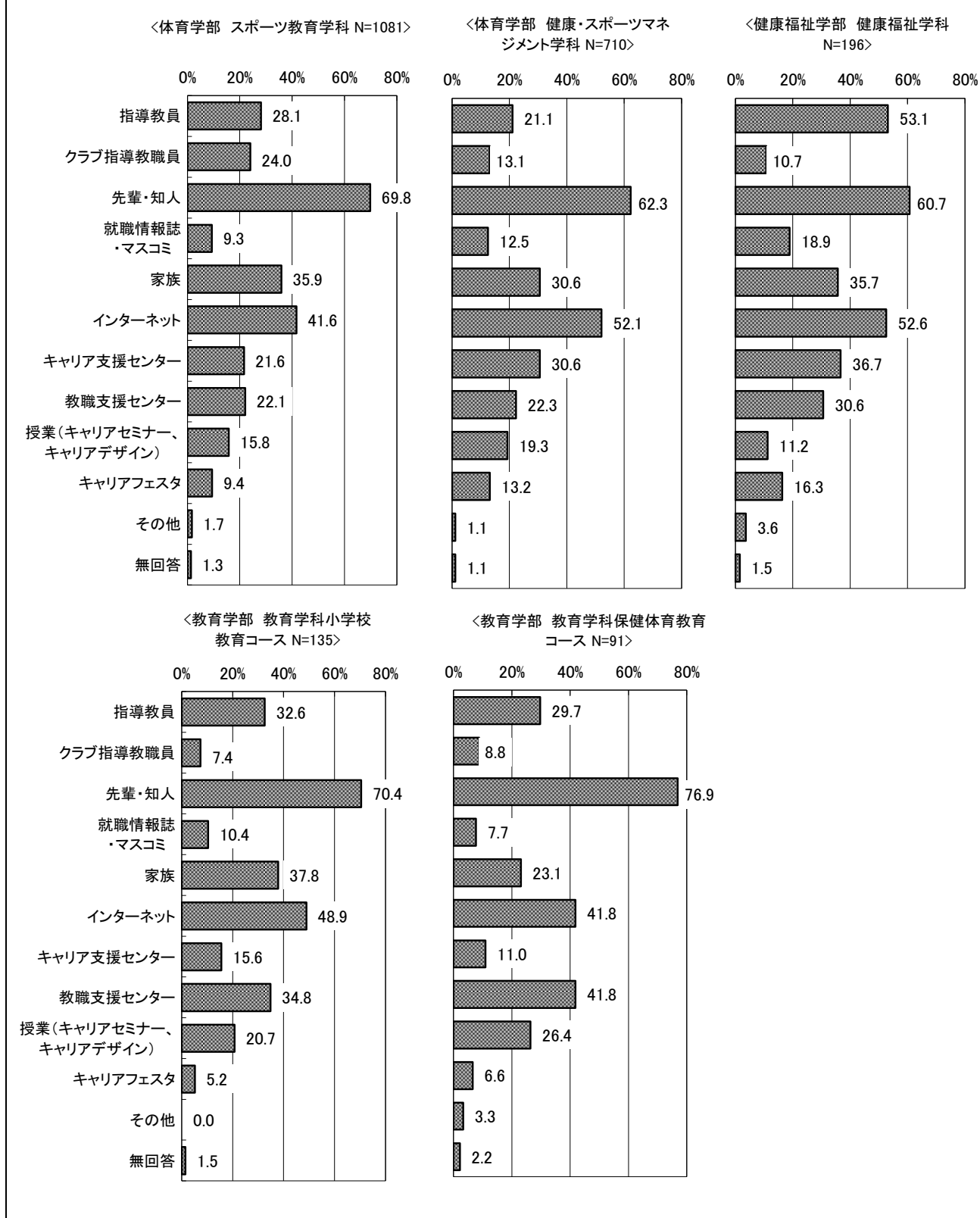
性別では、ほとんどの情報入手手段で大きな差は見られない。＜図39-D＞

■問39. 進路を考える上での情報入手手段（過年度調査）



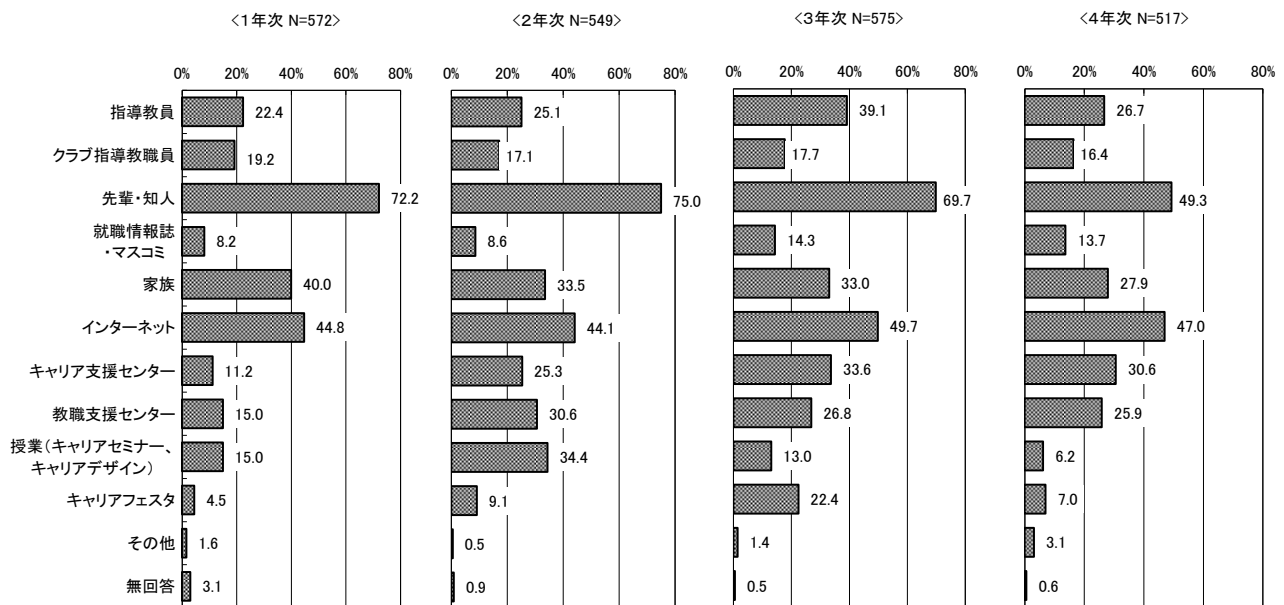
■問39. 進路を考える上での情報入手手段（学科別）

【図 39-B 進路を考える上での情報入手手段（学科別）】

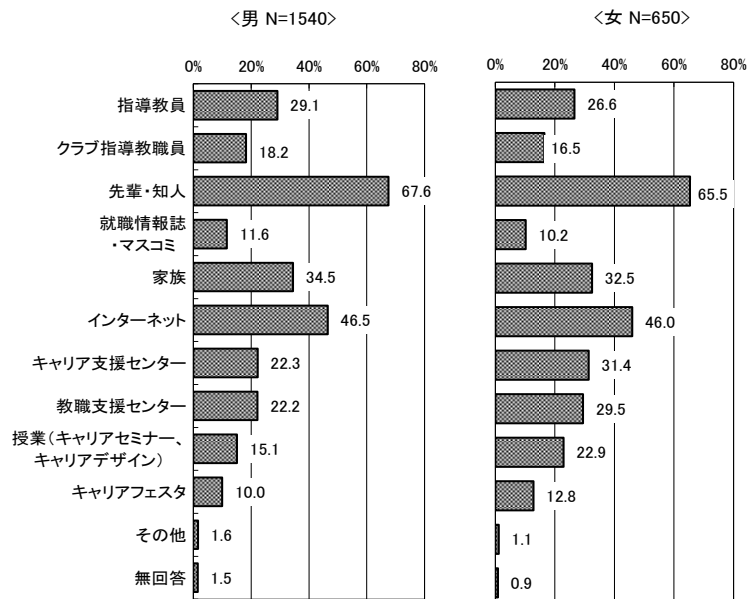


■問39. 進路を考える上での情報入手手段（年次別・性別）

【図 39-C 進路を考える上での情報入手手段（年次別）】



【図 39-D 進路を考える上での情報入手手段（性別）】



【結果概要（問40）】

問40. 将来の希望職種については、「教員」が54.0%で最も多く、次に「企業」が39.7%となっている。＜図40-A＞

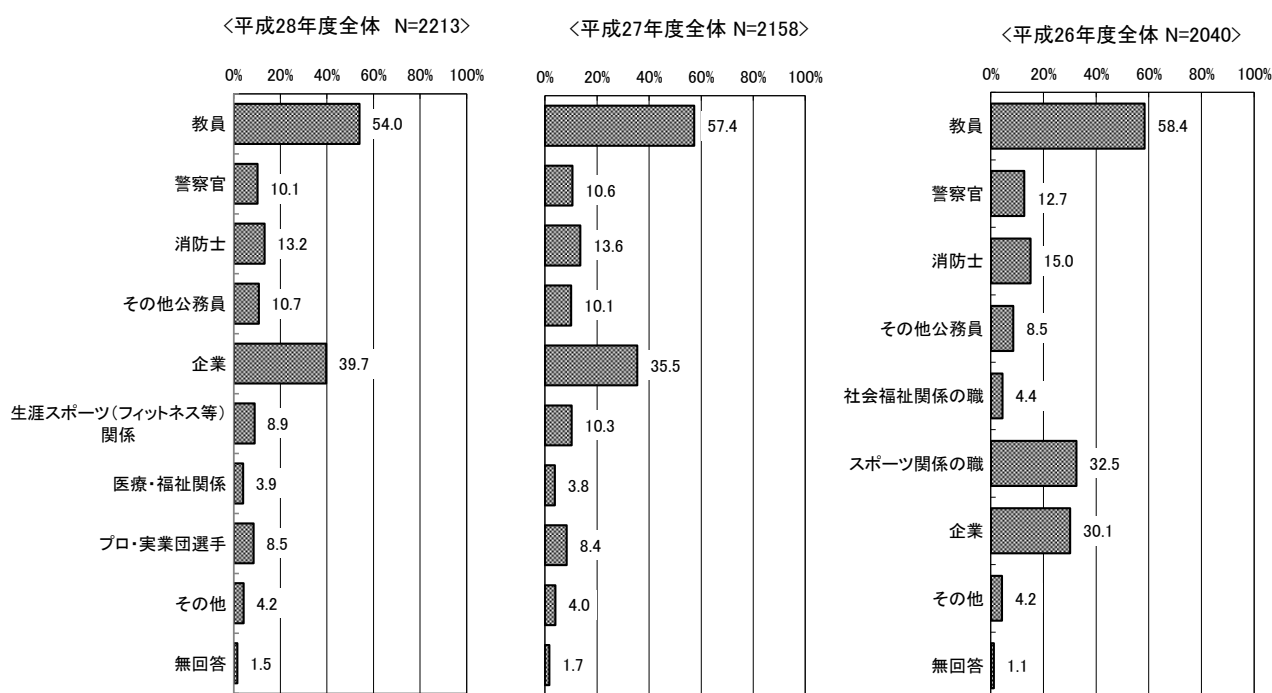
所属学部・学科別では、体育学部健康・スポーツマネジメント学科以外では「教員」が多くなっているが、特に「教育学部」では9割以上を占めている。「体育学部スポーツ教育学科」の「プロ・実業団選手」が13.9%と、他の学部・学科と比べて大きく差が出ている。＜図40-B＞

年次別でみると、「教員」の希望が1年次では74.0%と7割以上が希望しているが、年次が上がるにつれ割合は低くなり、4年次では36.4%まで下がっている。＜図40-C＞

性別でみると、男女とも「教員」が最も多く、男子学生は53.1%、女子学生56.5%となっている。男子学生は「消防士」が17.9%、「その他公務員」が11.9%の希望が多く、女子学生は「生涯スポーツ関係」が12.0%、「その他公務員」が8.0%の希望が多くなっている。＜図40-D＞

■問40. 将来の希望職種（過年度調査）

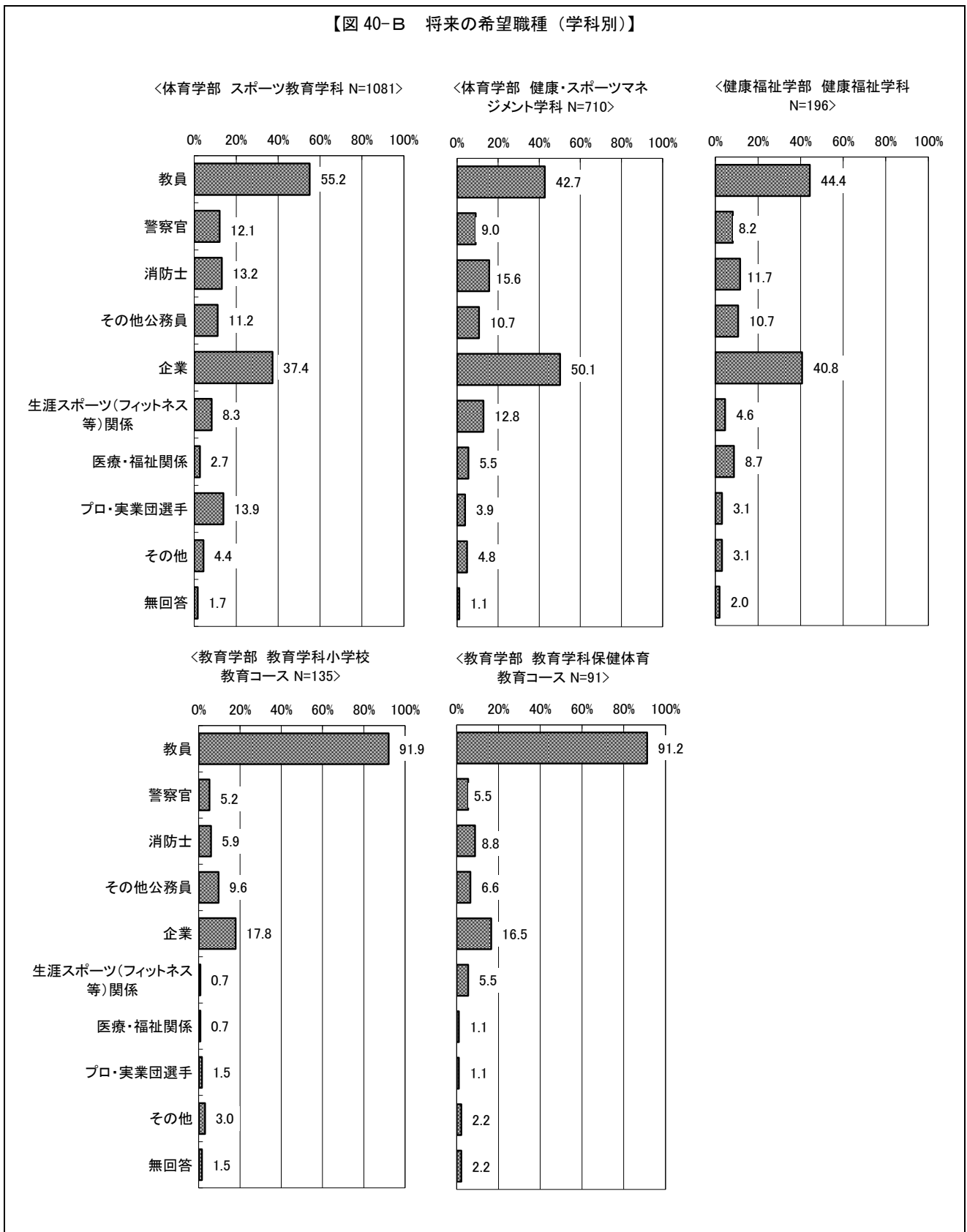
【図40-A 将来の希望職種】



※前々回調査では「医療・福祉関係」「プロ・実業団選手」の選択肢はない。

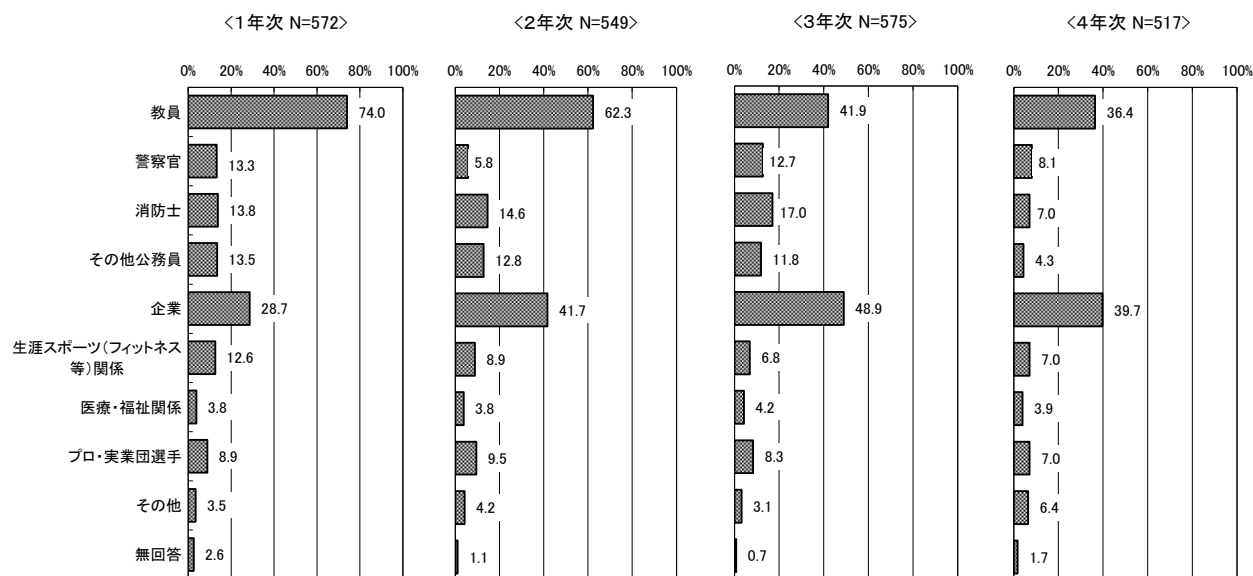
■問40. 将来の希望職種（学科別）

【図40-B 将来の希望職種（学科別）】

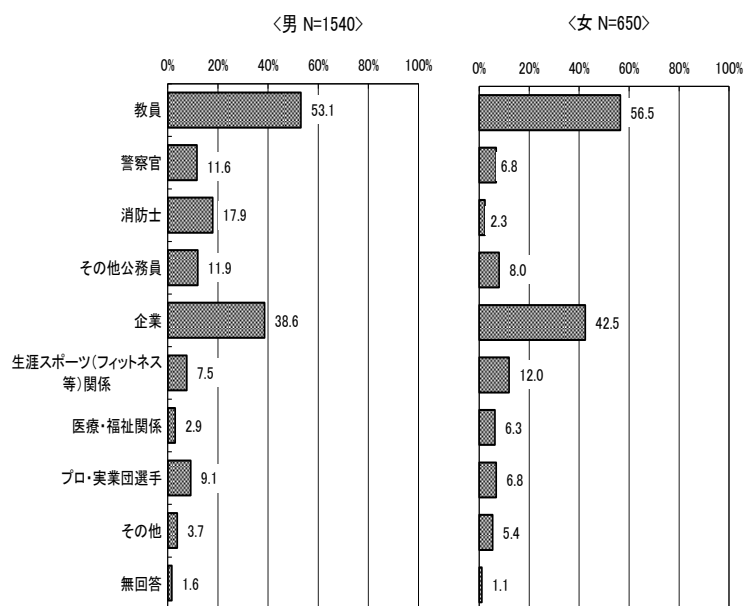


■問40. 将来の希望職種（年次別・性別）

【図40-C 将来の希望職種（年次別）】



【図40-D 将来の希望職種（性別）】



【結果概要（問41）】

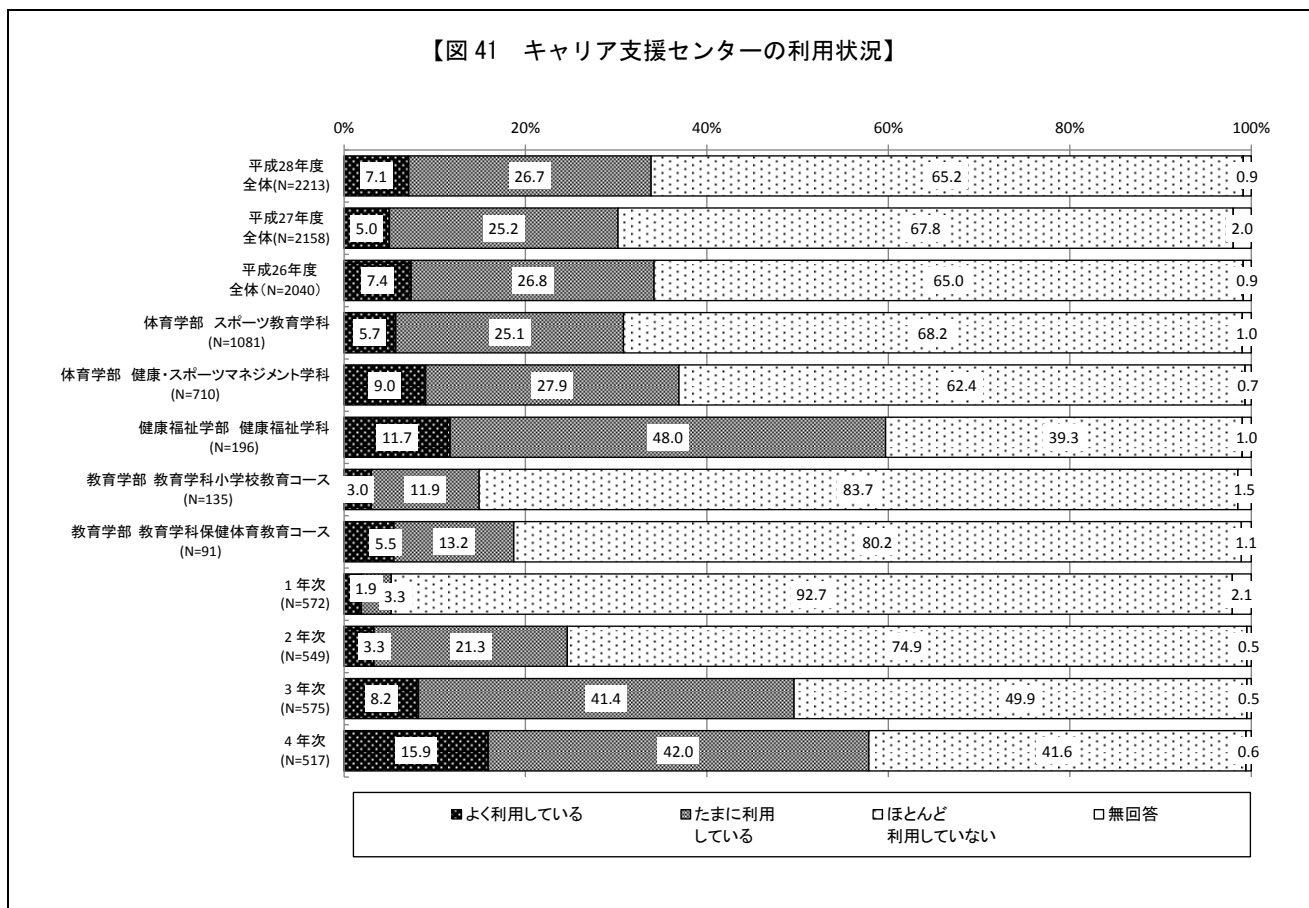
問41. キャリア支援センターの利用状況としては、「よく利用している」が7.1%、「たまに利用している」が26.7%に対して、「ほとんど利用していない」が65.2%となっている。

前回調査では、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は30.2%であったが、今回調査では33.8%と3.6ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は、利用率が高い順に健康福祉学部健康福祉学科（59.7%）、体育学部健康・スポーツマネジメント学科（36.9%）、体育学部スポーツ教育学科（30.8%）、教育学部教育学科保健体育教育コース（18.7%）、教育学部教育学科小学校教育コース（14.9%）となっている。

年次別でみると、「よく利用している」は4年次で15.9%と、他の年次と比べて最も利用率が高くなっている。＜図41＞

■問41. キャリア支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要（問41-1）】

問41-1. キャリア支援センター利用の方法としては、「進路相談する」が70.4%と最も多く、次に「PCを利用する」が24.8%となっている。

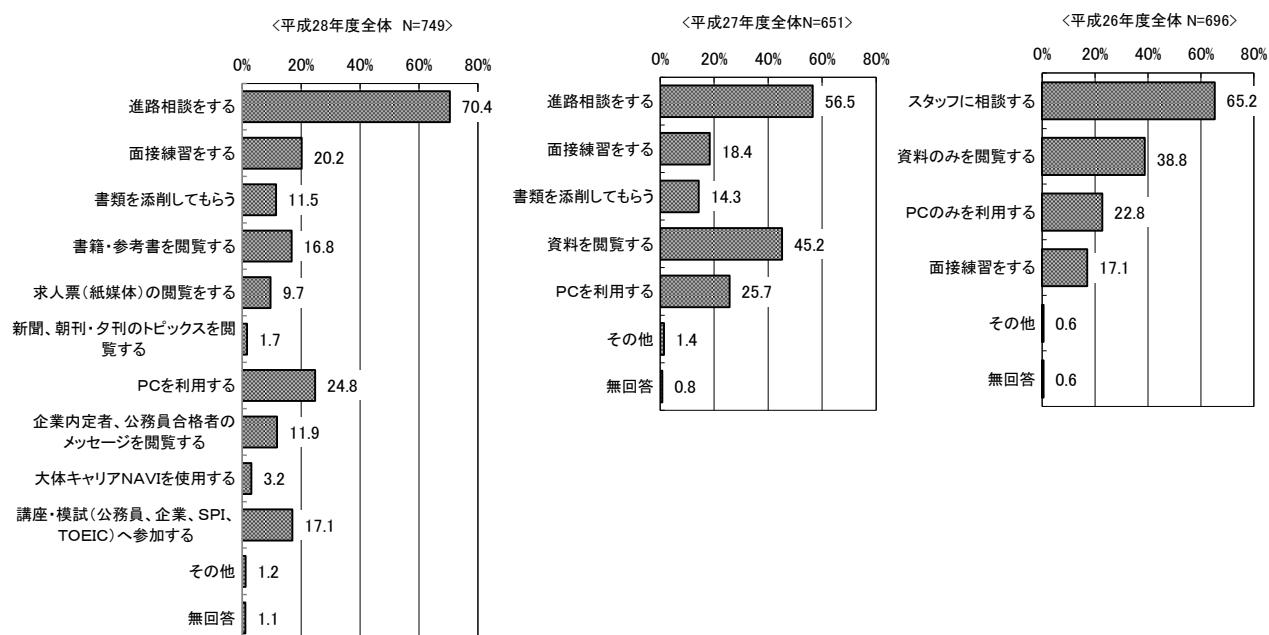
年次別でみると、「進路相談をする」が最も高く、年次が上がるにつれて割合が高くなっている。

男女別でみると、「PCを利用する」は男子学生20.7%に対して女子学生は32.7%と女子学生の割合が高くなっている。＜図41-1＞

（※今回調査より、前回・前々回調査の選択肢と変更している。）

■問41-1. キャリア支援センターの利用方法（過年度調査）

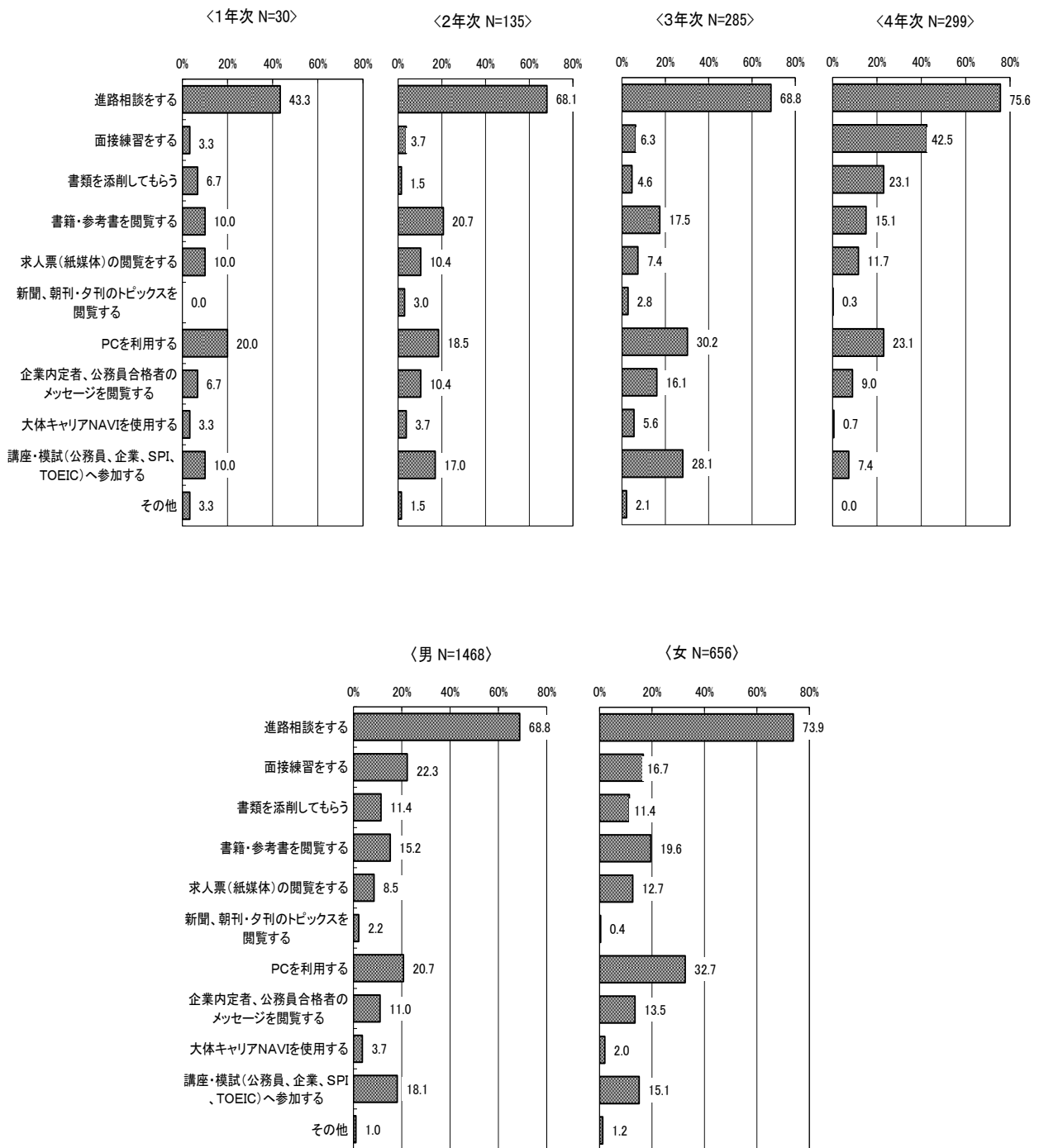
【図41-1 キャリア支援センターの利用方法】



※今回調査より「5. 求人票（紙媒体）の閲覧をする」「6. 新聞、朝刊・夕刊のトピックスを閲覧する」「8. 企業内定者、公務員合格者のメッセージを閲覧する」「9. 大体大キャリアNAVIを使用する」「10. 講座・模試（公務員、企業、SPI、TOEIC）へ参加する」を新設した。

■問41-1. キャリア支援センターの利用方法（年次別・男女別）

【図41-1 キャリア支援センターの利用方法】



【結果概要（問41-2）】

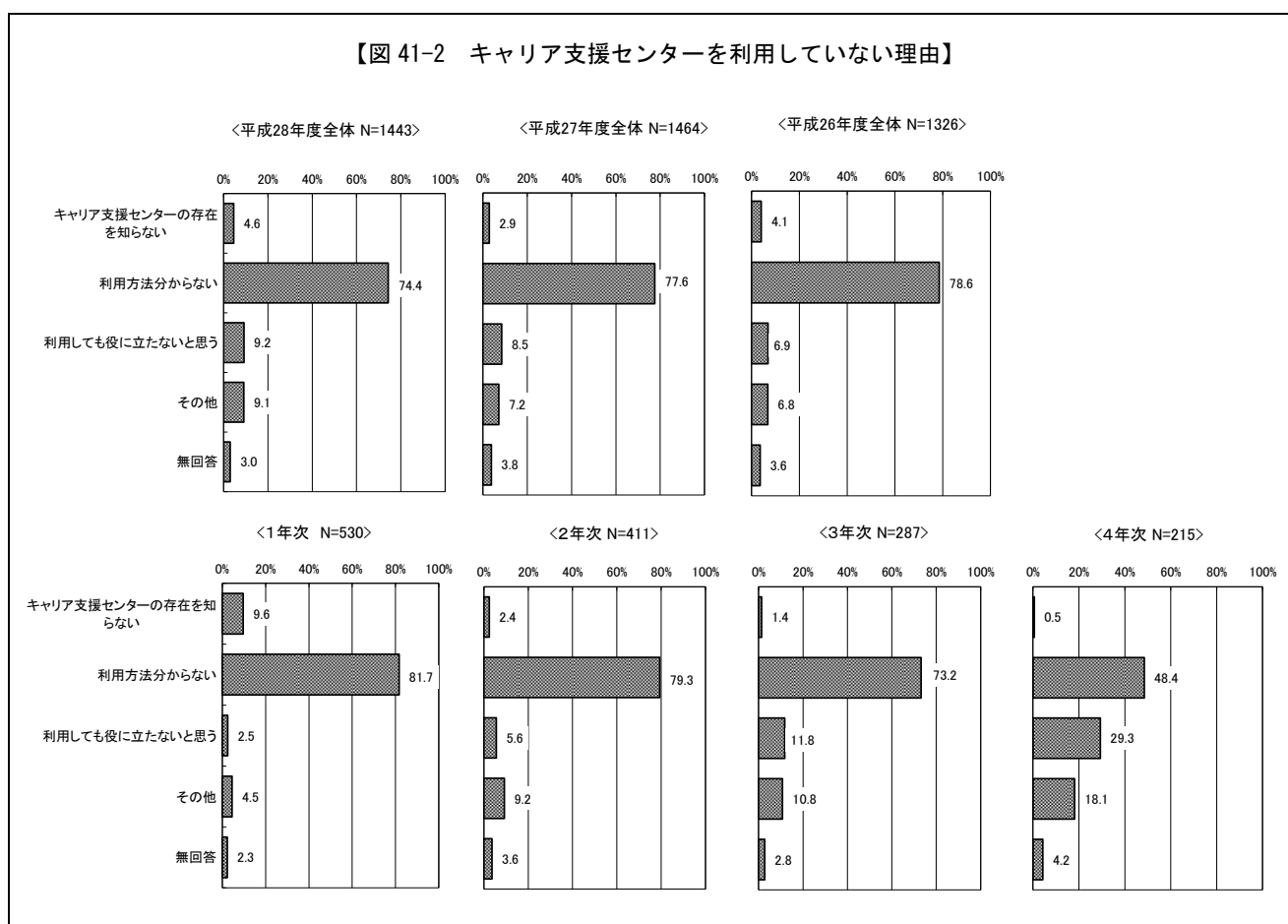
問41-2. キャリア支援センターを利用していない理由としては、「利用方法がわからない」が74.4%と利用していない理由の約7割以上を占めている。

前回調査と比べると、「キャリア支援センターの存在を知らない」が1.7ポイント増加、「利用方法がわからない」が3.2ポイント減少、「利用しても役に立たないと思う」が0.7ポイント増加となっている。

年次別でみると、4年次の「利用方法がわからない」は48.4%と他の年次に比べて割合は低くなっているが、「利用しても役に立たないと思う」が29.3%は他の年次と比べて高くなっている。

<図41-2>

■問41-2. キャリア支援センターを利用していない理由（過年度調査・年次別）



【結果概要（問42）】

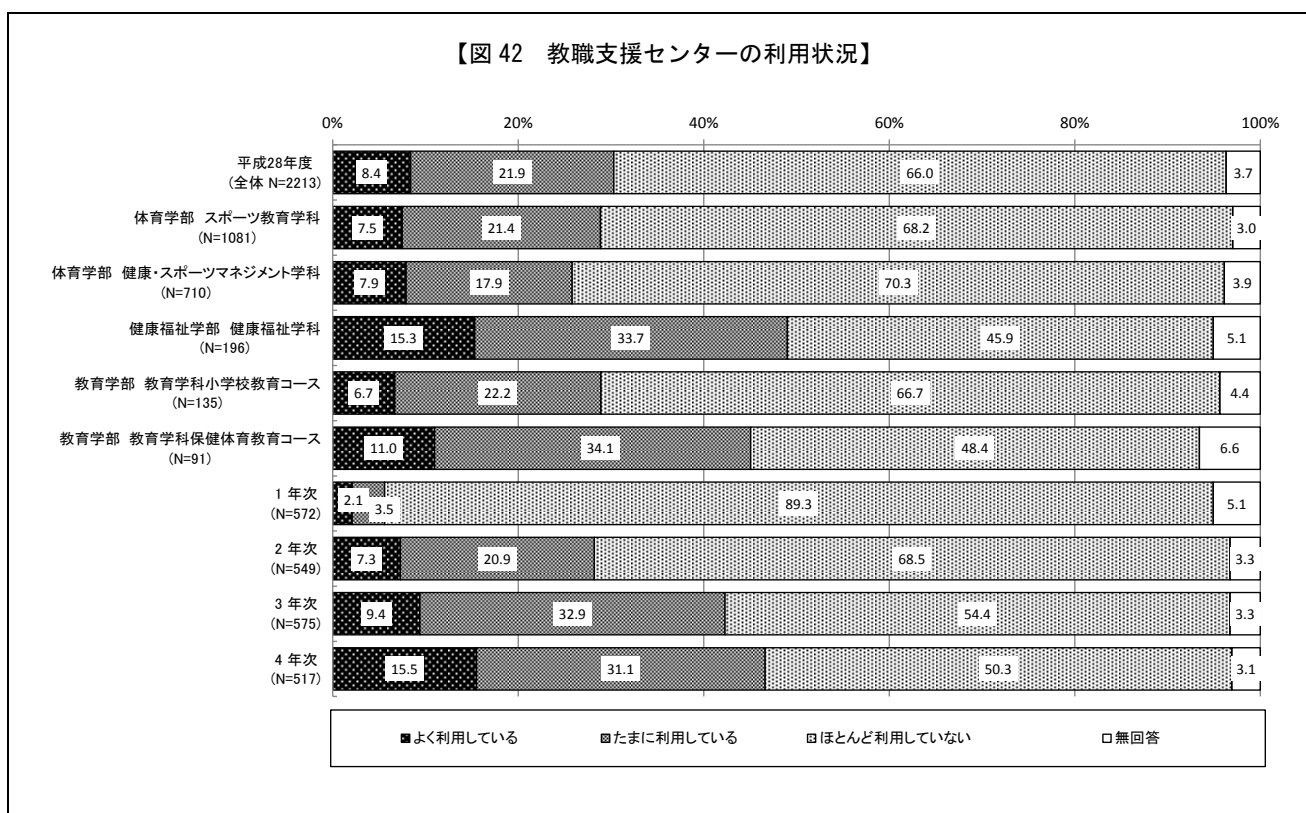
問42. 教職支援センターの利用について、「ほとんど利用していない」が66.0%で最も多く、次に「たまに利用している」が21.9%となっている。

所属学部・学科別でみると、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた「利用している」は、「健康福祉学部健康福祉学科」が49.0%で最も高く、次に「教育学部教育学科保健体育教育コース」の45.1%となっている。

年次別では、4年次の「よく利用している」が15.5%は他の年次と比べて最も多くなっている。

<図42>

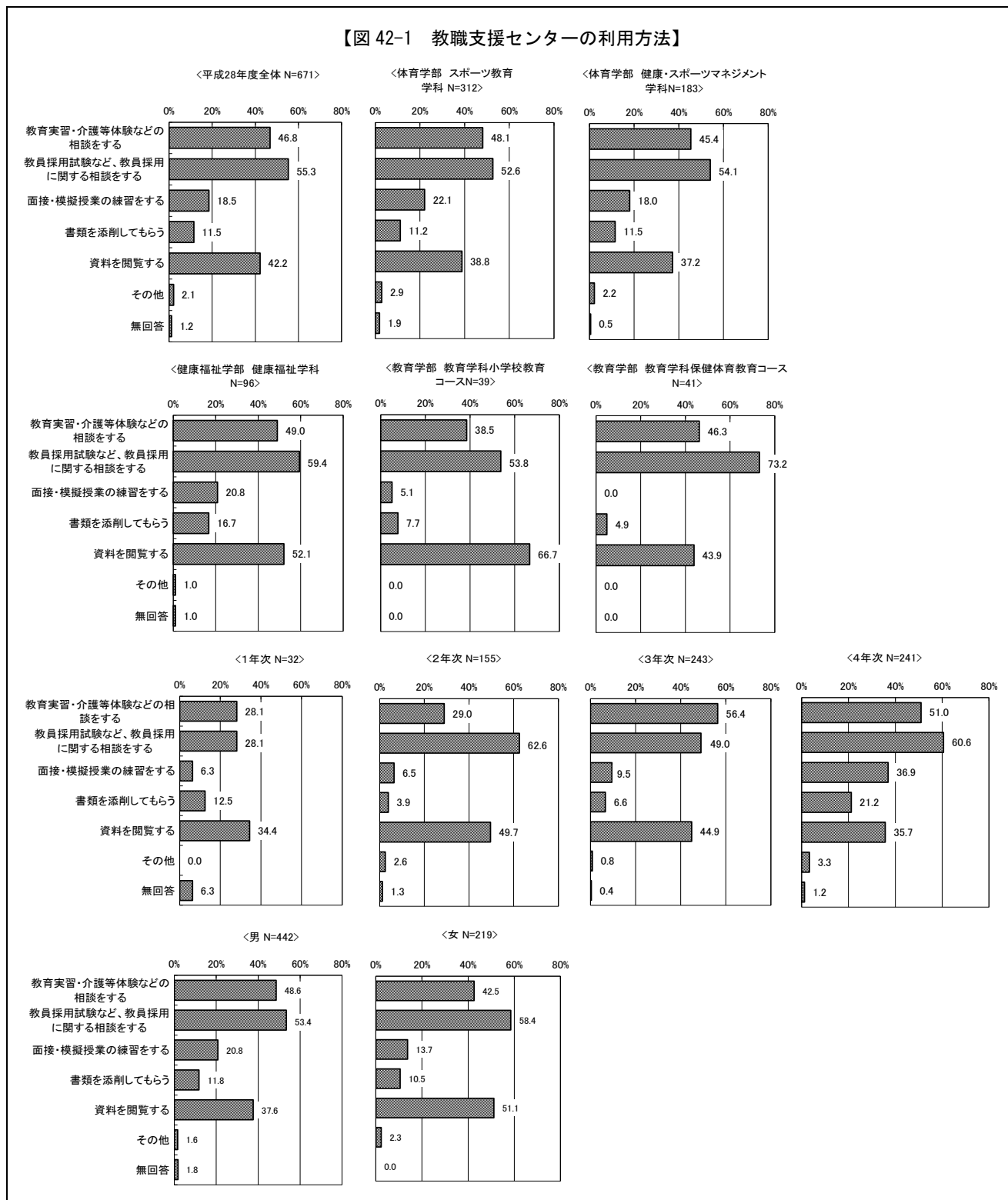
■問42. 教職支援センターの利用状況（過年度調査・学科別・年次別）



【結果概要（問42-1）】

問42-1. 教職支援センターの利用方法については、「教員採用試験など、教員採用に関する相談をする」が55.3%と最も多く、次に「教育実習・介護等体験などの相談をする」が46.8%となっている。＜図42-1＞

■問42-1. 教職支援センターの利用方法について（過年度調査・学科別・年次・性別）

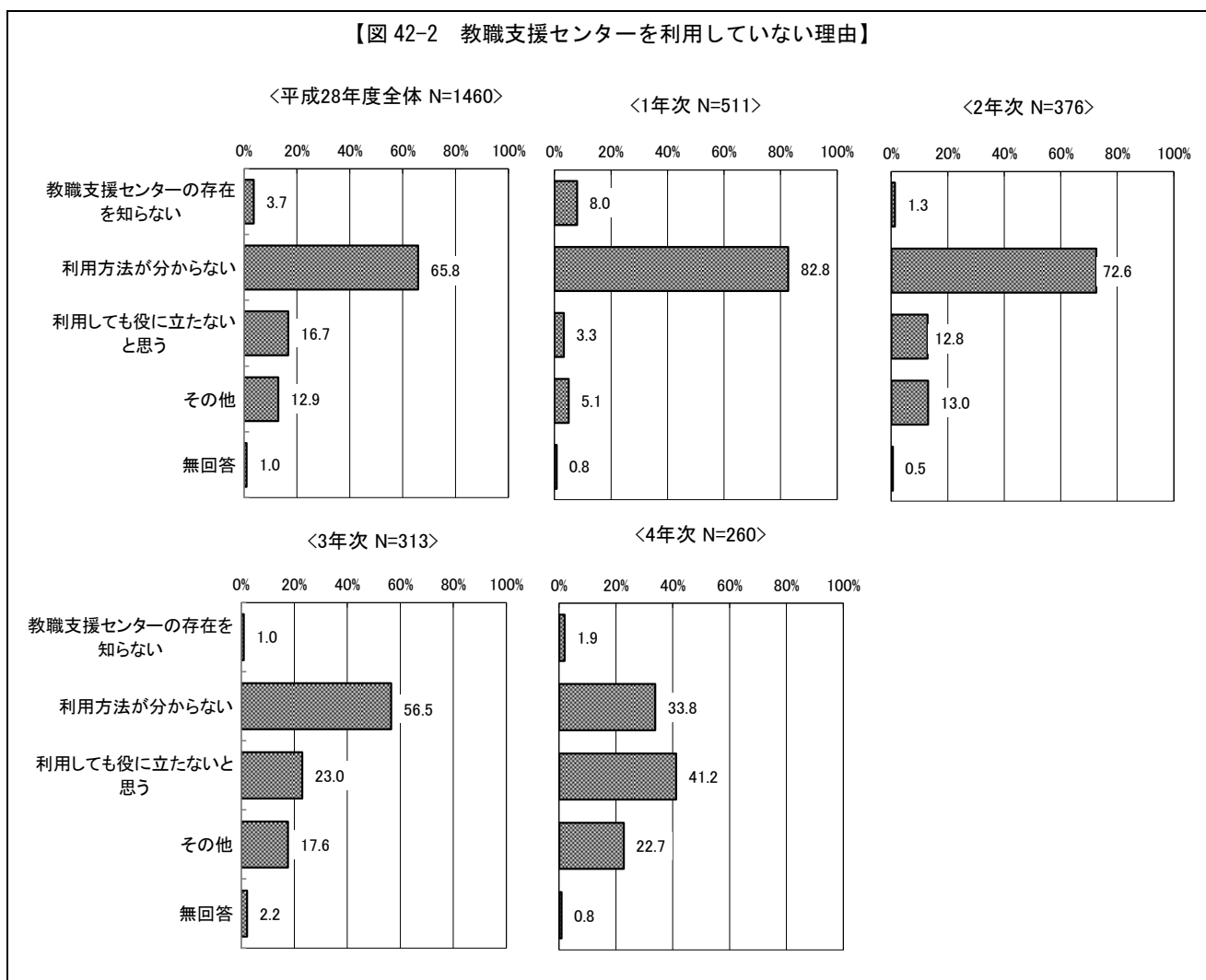


【結果概要（問42-2）】

問42-2. 教職支援センターの利用しない理由については、「利用方法が分からない」が65.8%と最も多く、次に「利用しても役に立たないと思う」が16.7%となっている。

年次別でみると、「利用方法が分からない」は1年次で82.8%、2年次で72.6%となっている。しかし、3年次では、「利用方法が分からない」は56.5%、4年次は33.8%と1~2年次に比べると減少している。また、「利用しても役に立たないと思う」は年次が上がるごとに増加しており、1年次3.3%に対し4年次では22.7%まで上がっている。＜図42-2＞

■問42-2. 教職支援センターを利用していない理由（年次別）



9. ボランティア活動について

【結果概要（問43）】

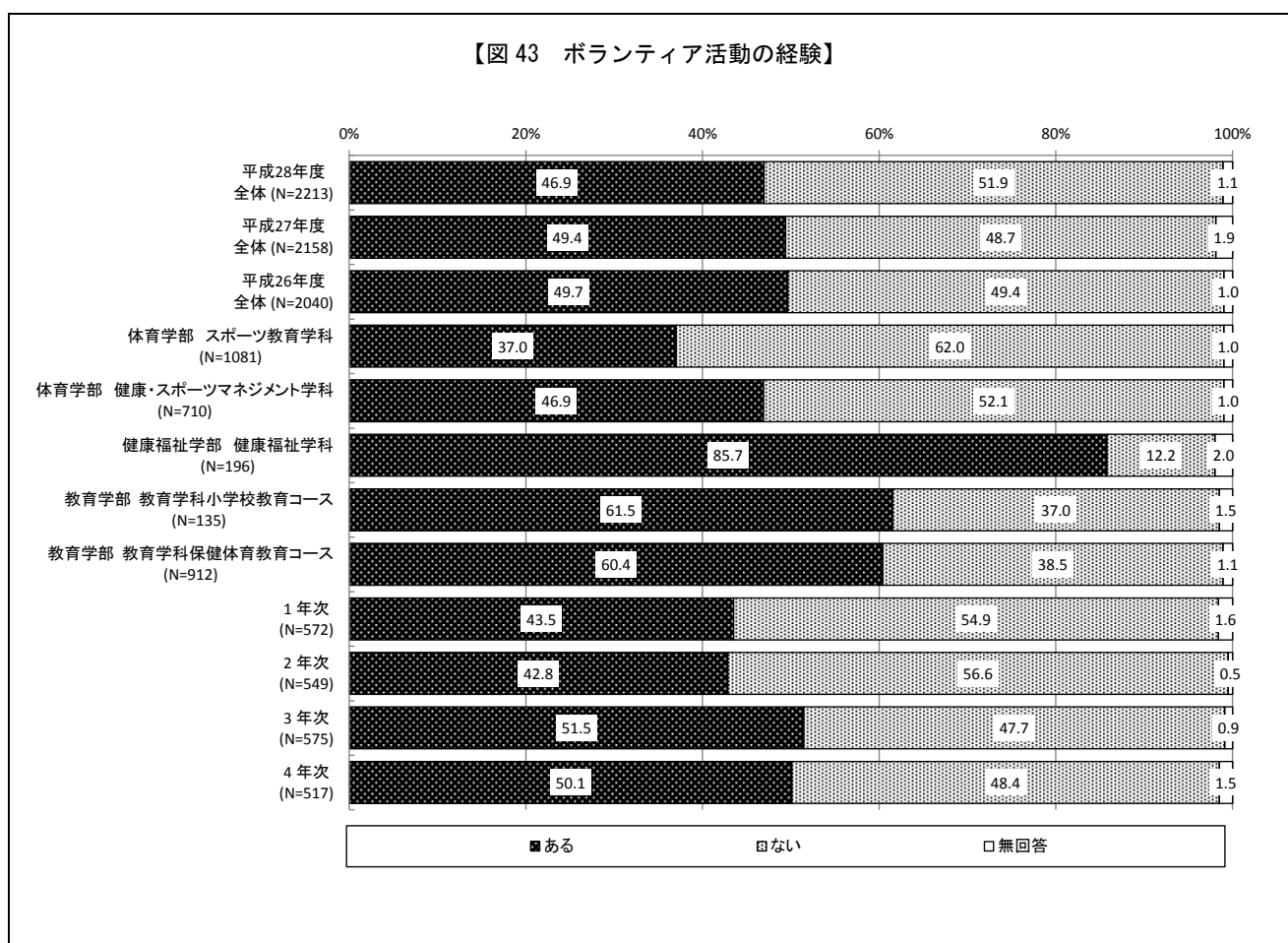
問43. ボランティア活動の経験としては、「ない」が51.9%、「ある」が46.9%となっている。

前回調査と比べると、「ある」49.4%に対し今回調査では46.9%と2.5ポイント減少している。

所属学部・学科別では、健康福祉学部健康福祉学科の「ある」が85.7%と最も多く、次に教育学部教育学科小学校教育コースが61.5%となっている。

年次別では、3年次以上では半数を占めている。〈図43〉

■問43. ボランティア活動の経験（過年度調査・学科別・年次別）



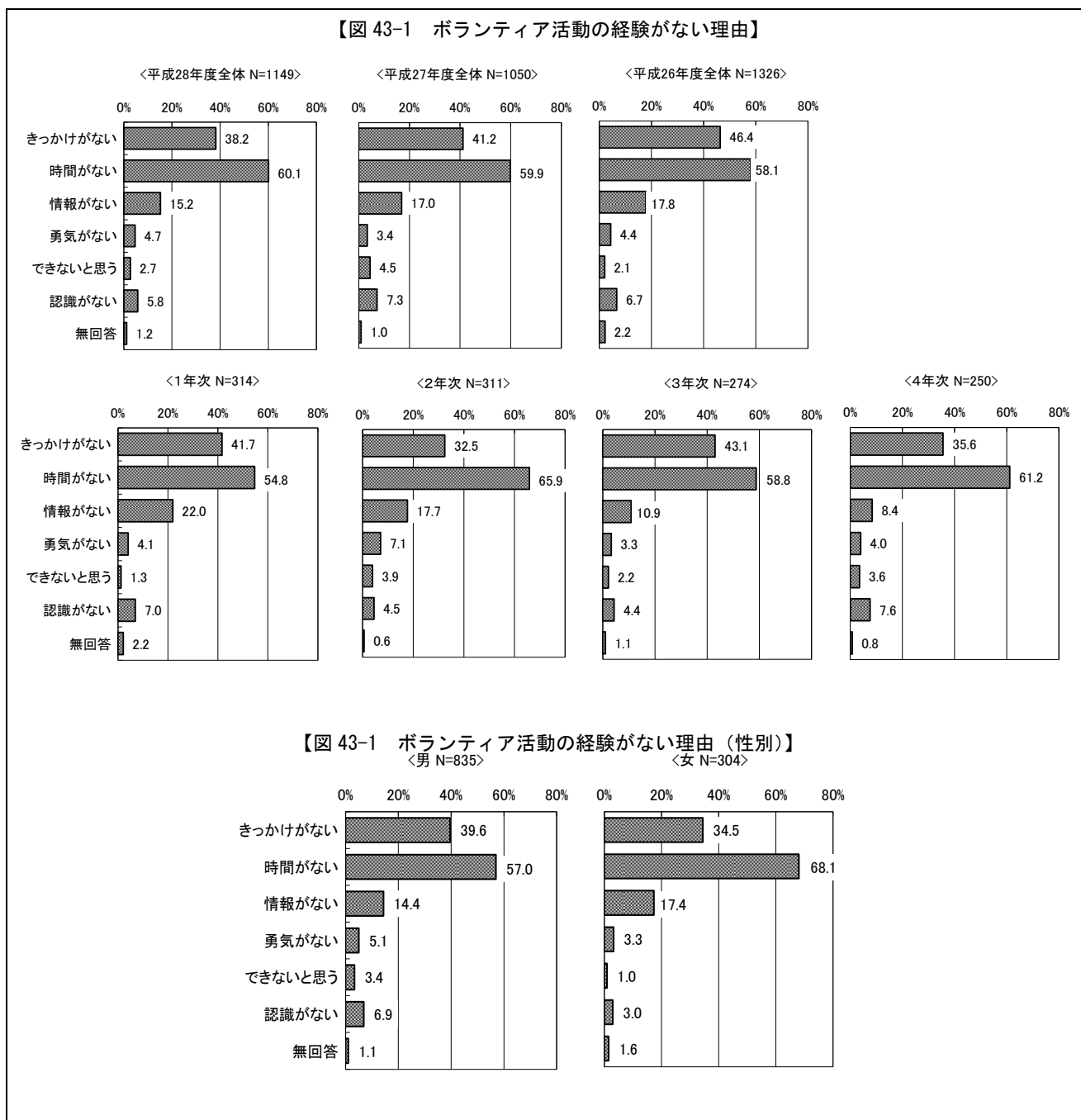
【結果概要（問43-1）】

問43-1. ボランティア活動の経験がない理由としては、「時間がない」が60.1%で最も多く、次に「きっかけがない」が38.2%となっている。

年次別でみると、「情報がない」の理由は年次が上がるほど減少している。

性別でみると、男女ともに「時間がない」の理由が高くなっており、男子学生の57.0%に対して女子学生は68.1%と約7割を占めている。＜図43-1＞

■問43-1. ボランティア活動の経験がない理由（過年度調査・年次別・性別）



【結果概要（問44）】

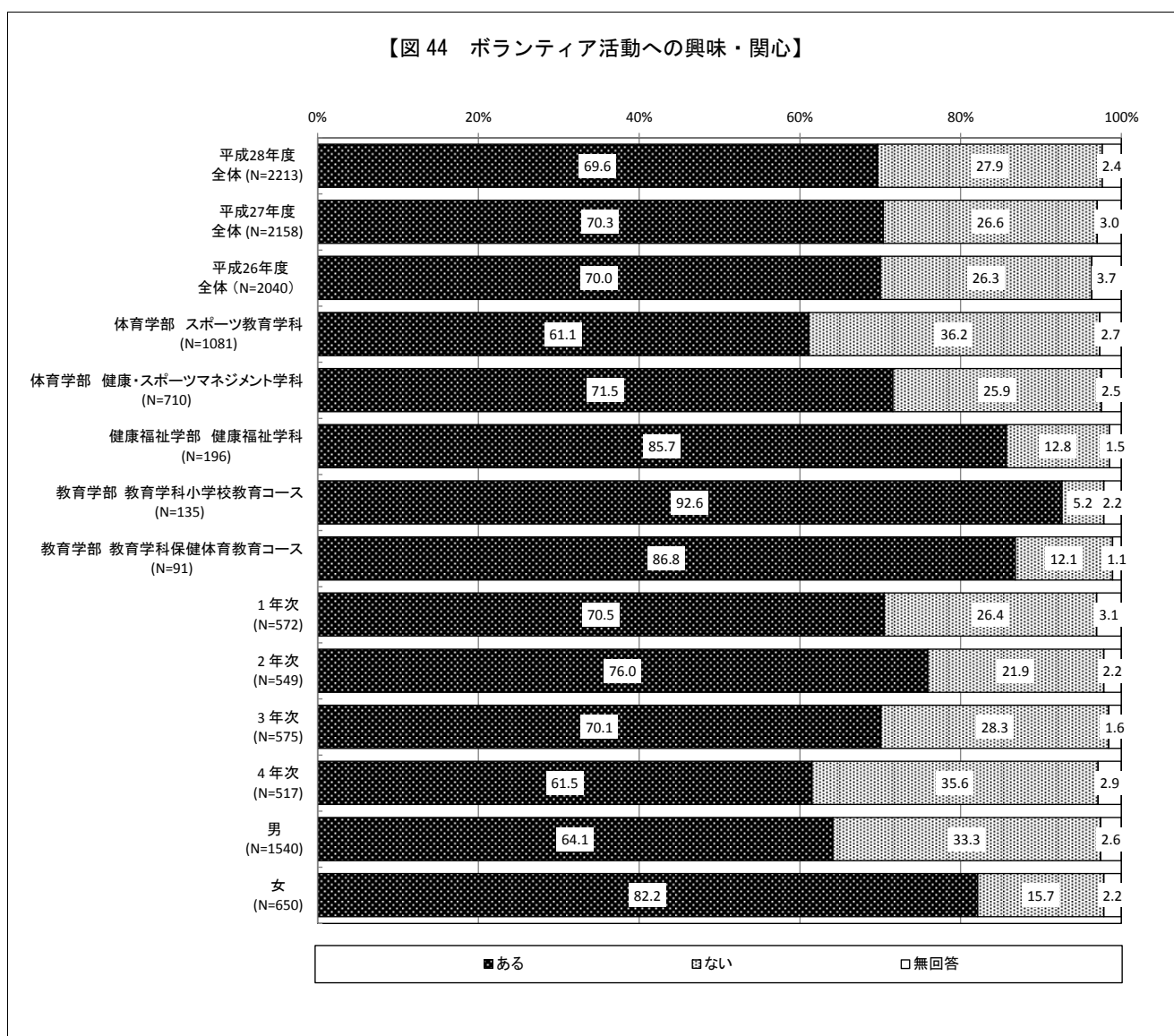
問44. ボランティア活動への興味・関心が「ある」と回答した学生は69.6%となっている。

所属学部・学科別でみると、興味・関心が「ある」と回答した教育学部教育学科小学校教育コースは92.6%と最も高く、一方で体育学部スポーツ教育学科では61.1%と最も低く、学部・学科で興味・関心度に差が見られた。

年次別でみると、興味・関心が「ある」と回答した2年次は76.0%と最も高く、4年次は61.5%と他の年次と比べて最も低くなっている。

性別でみると、興味・関心が「ある」は男子学生が64.1%に対し、女子学生は82.2%と女子学生の方が多くなっている<図44>

■問44. ボランティア活動への興味・関心（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要（問44-1）】

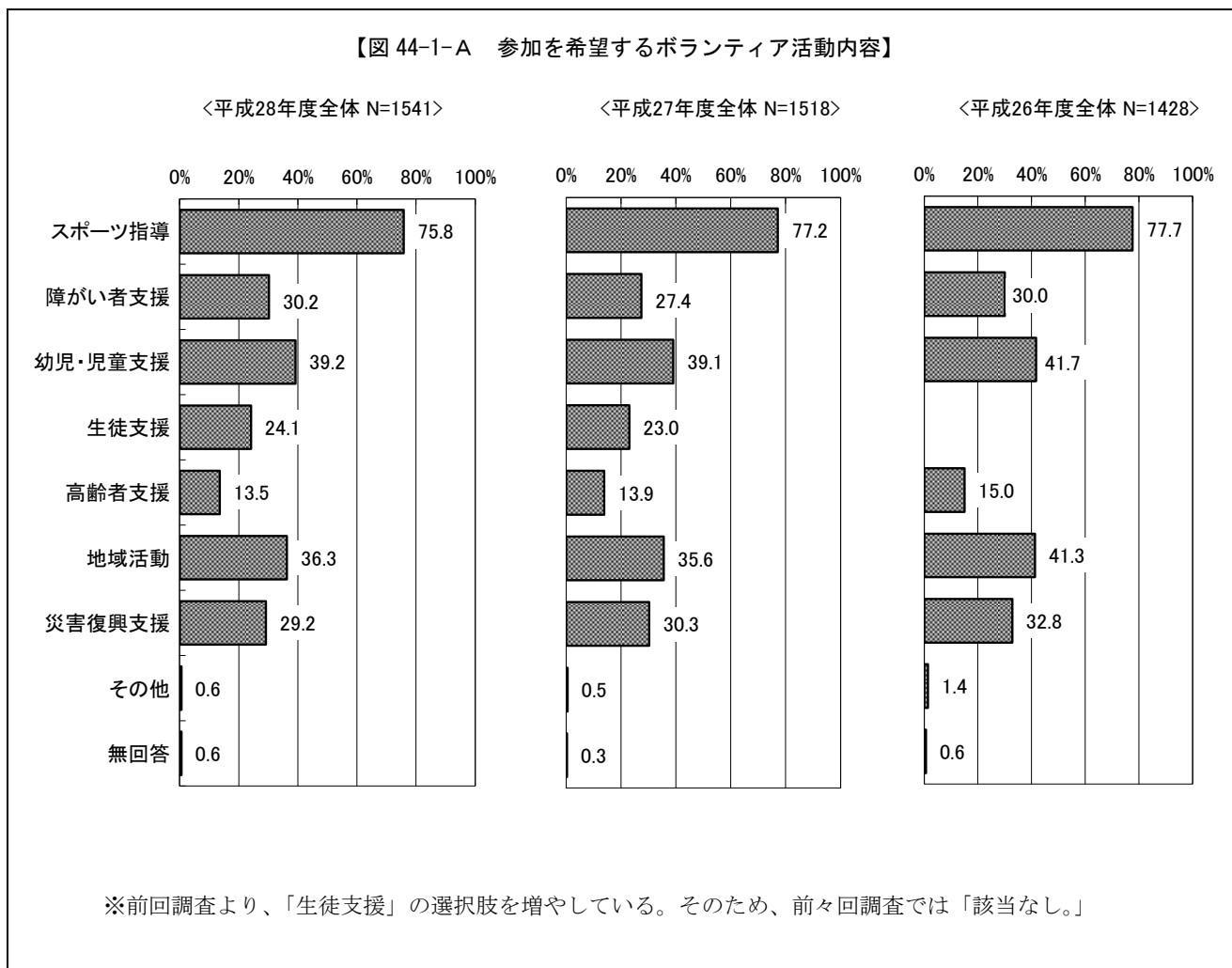
問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容としては、前回調査同様「スポーツ指導」が75.8%、「幼児・児童支援」が39.2%、「地域活動」が36.3%が上位にきている。＜図44-1-A＞

所属学部・学科別でみると、全ての学部・学科ともに「スポーツ指導」が最も参加希望が高くなっているが、各学生が専攻する学部・学科に準じたボランティア活動内容に希望が高くなっており、体育学部は「スポーツ指導」の希望が高く、健康福祉学部健康福祉学科では「幼児・児童支援」や「障がい者支援」の希望が高く、教育学部では「幼児・児童支援」や「生徒支援」となっている。＜図44-1-B＞

年次別では、「スポーツ指導」が全ての年次で最も高くなっている。＜図44-1-C＞

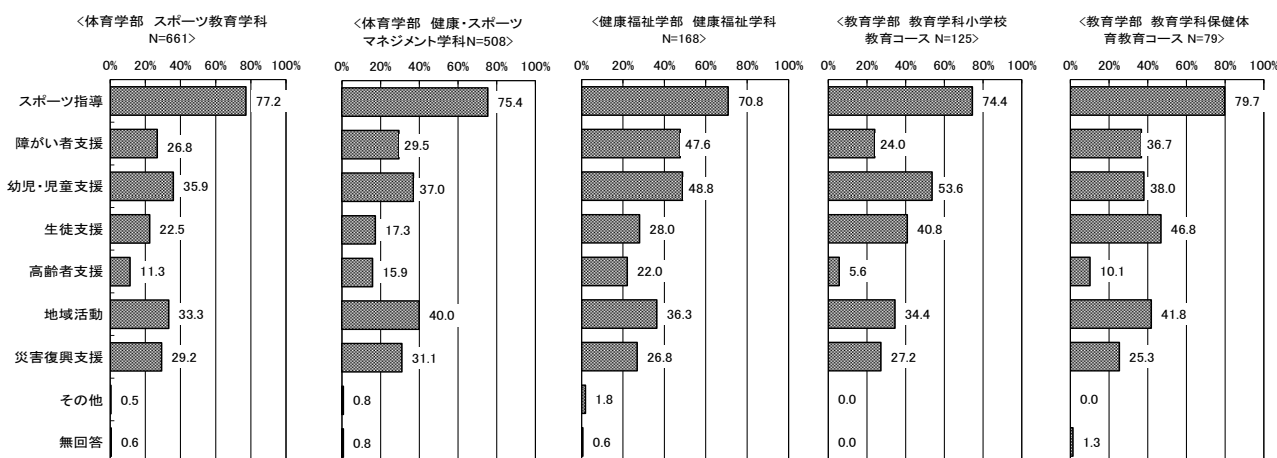
性別では、男子学生、女子学生ともに「スポーツ指導」の参加希望が最も多く、男子学生は次いで、「地域活動」が37.6%、女子学生は「幼児・児童支援」が54.7%となっている。＜図44-1-D＞

■問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容（過年度調査）

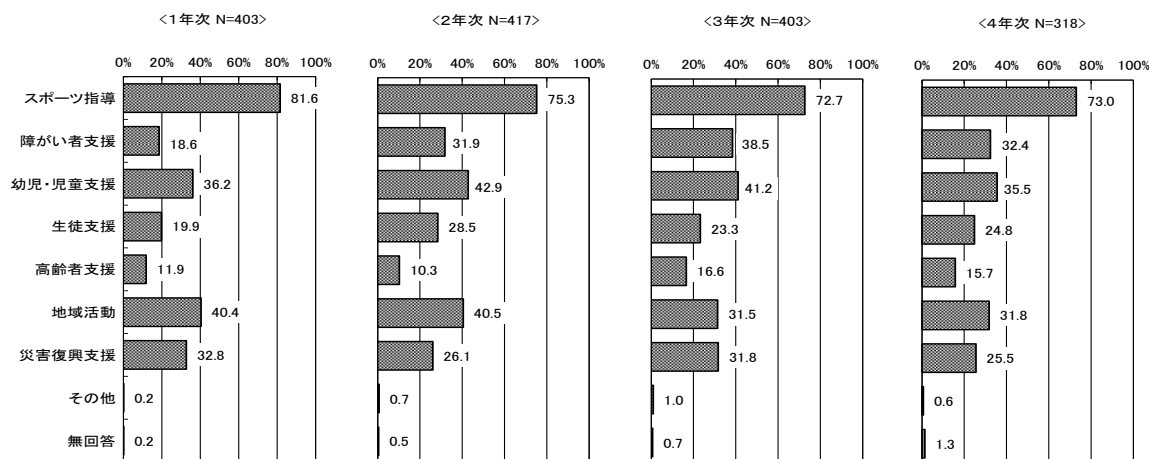


■問44-1. 参加を希望するボランティア活動内容（学科別・年次別・性別）

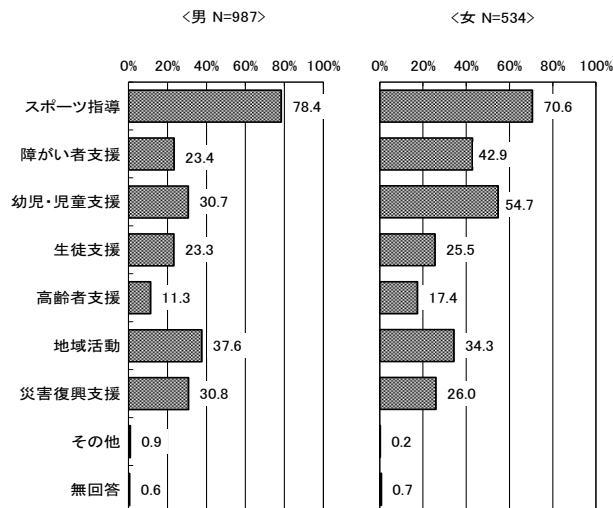
【図44-1-B 参加を希望するボランティア活動内容（学科別）】



【図44-1-C 参加を希望するボランティア活動内容（年次別）】



【図44-1-D 参加を希望するボランティア活動内容（性別）】



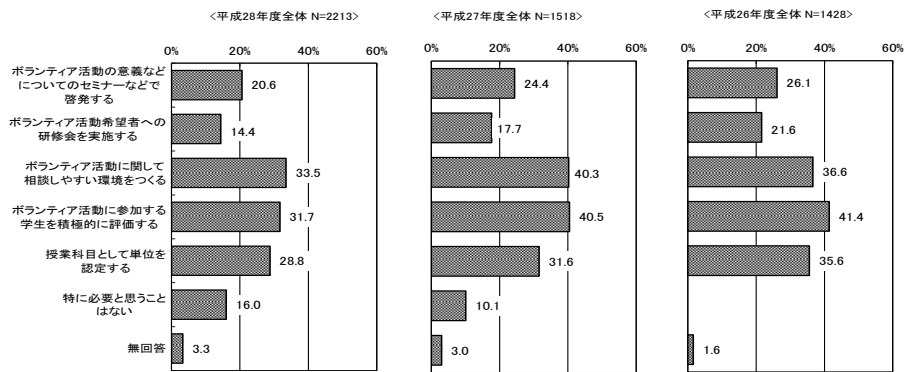
【結果概要（問45）】

問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて必要なことは「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が33.5%で最も多く、次に「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が31.7%となっている。〈図45-A〉

所属学部・学科別でみると、教育学部教育学科保健体育教育コースの「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が49.5%と最も多くなっている。〈図45-B〉

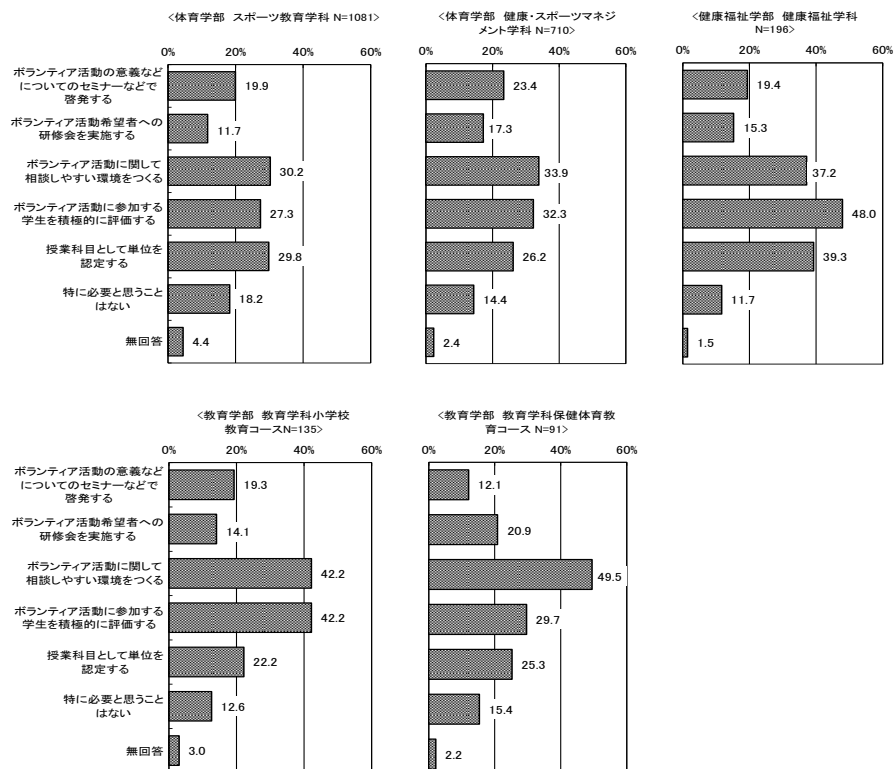
■問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（過年度調査・学科別）

【図45-A ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて】



※前回調査より、「特に必要と思うことはない」を増やした。そのため、前々回調査では「該当なし」。

【図45-B ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（学科別）】

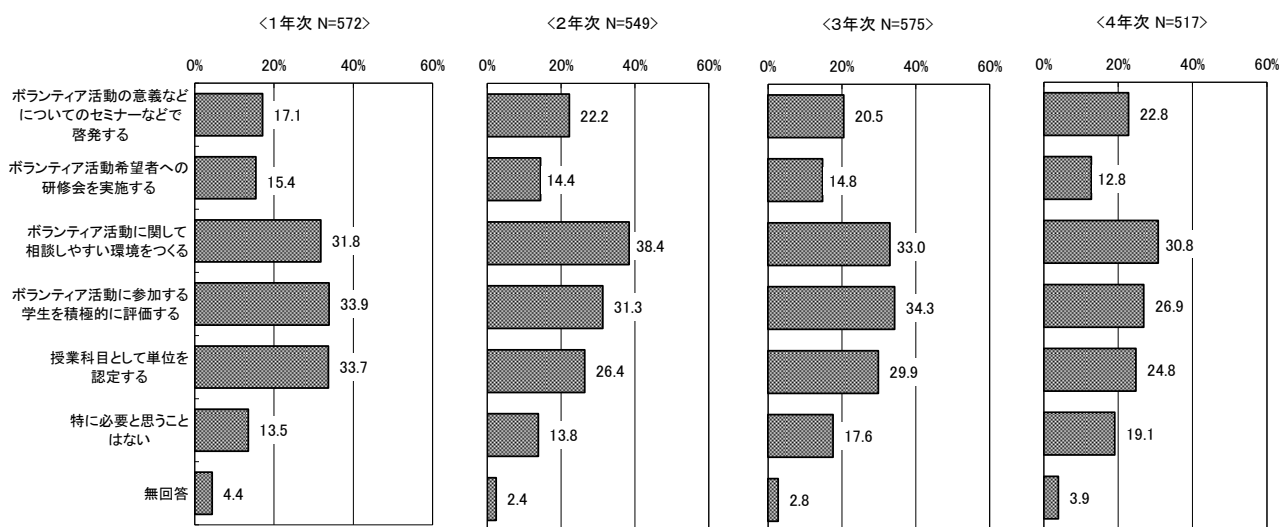


問45. 年次別では、1・3年次は「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が最も多くなっており、2・4年次は「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が最も多くなっている。＜図45-C＞

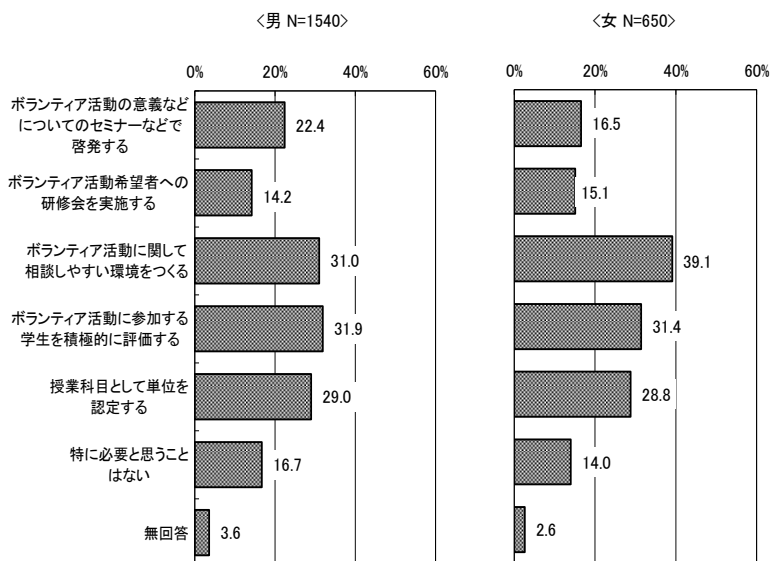
性別でみると、男子学生では「ボランティア活動に参加する学生を積極的に評価する」が31.9%、女子学生では「ボランティア活動に関して相談しやすい環境をつくる」が39.1%と最も多くなっている。＜図45-D＞

■問45. ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別・性別）

【図45-C ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（年次別）】



【図45-D ボランティア活動に関する大学での取り扱いについて（性別）】

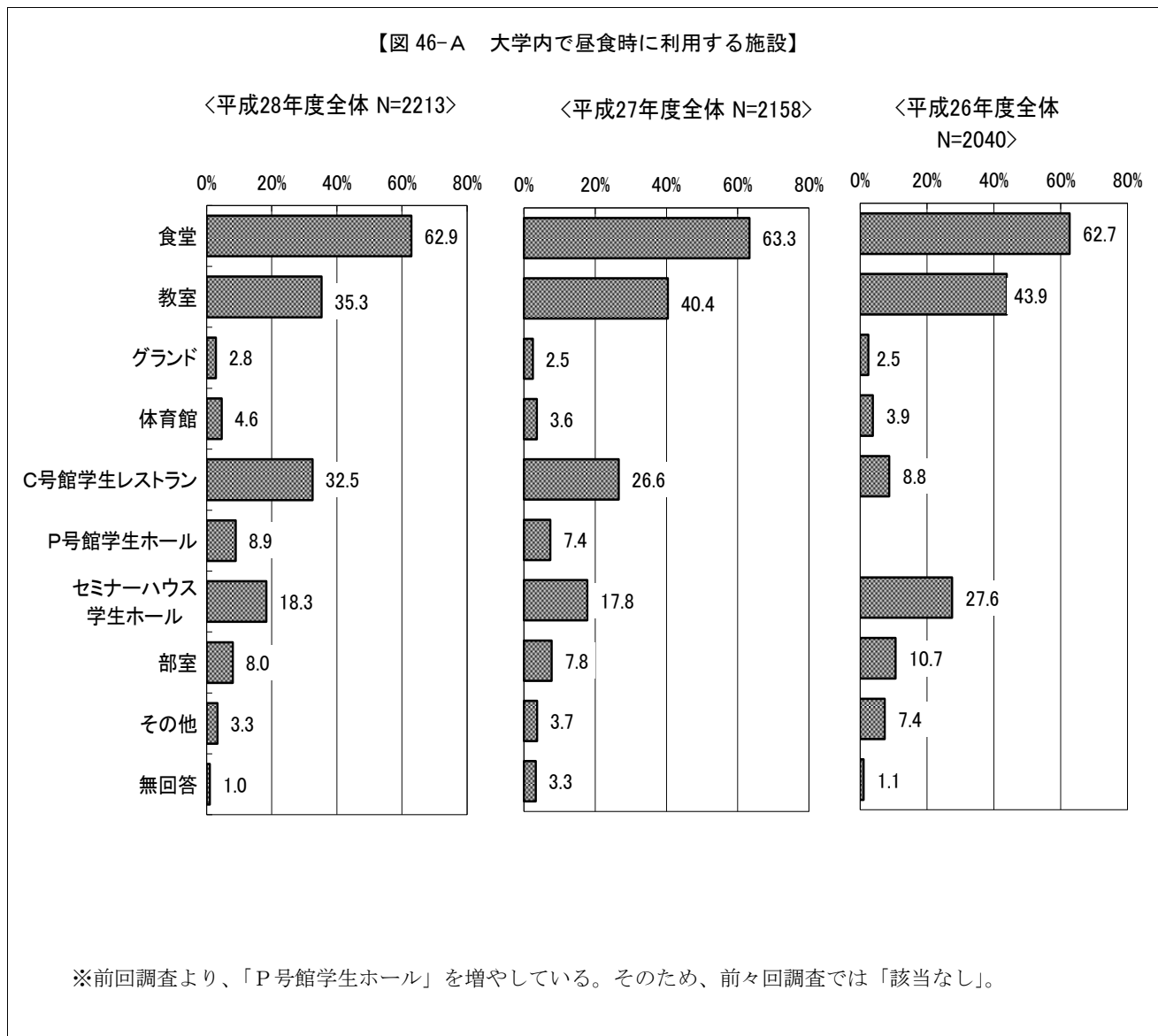


10. 大学施設等について

【結果概要（問46）】

問46. 大学内で昼食時に利用する施設は、「食堂」が62.9%と最も多く、次に多いのは「教室」が35.3%、「C号館学生レストラン」が32.5%となっている。＜図46-A＞

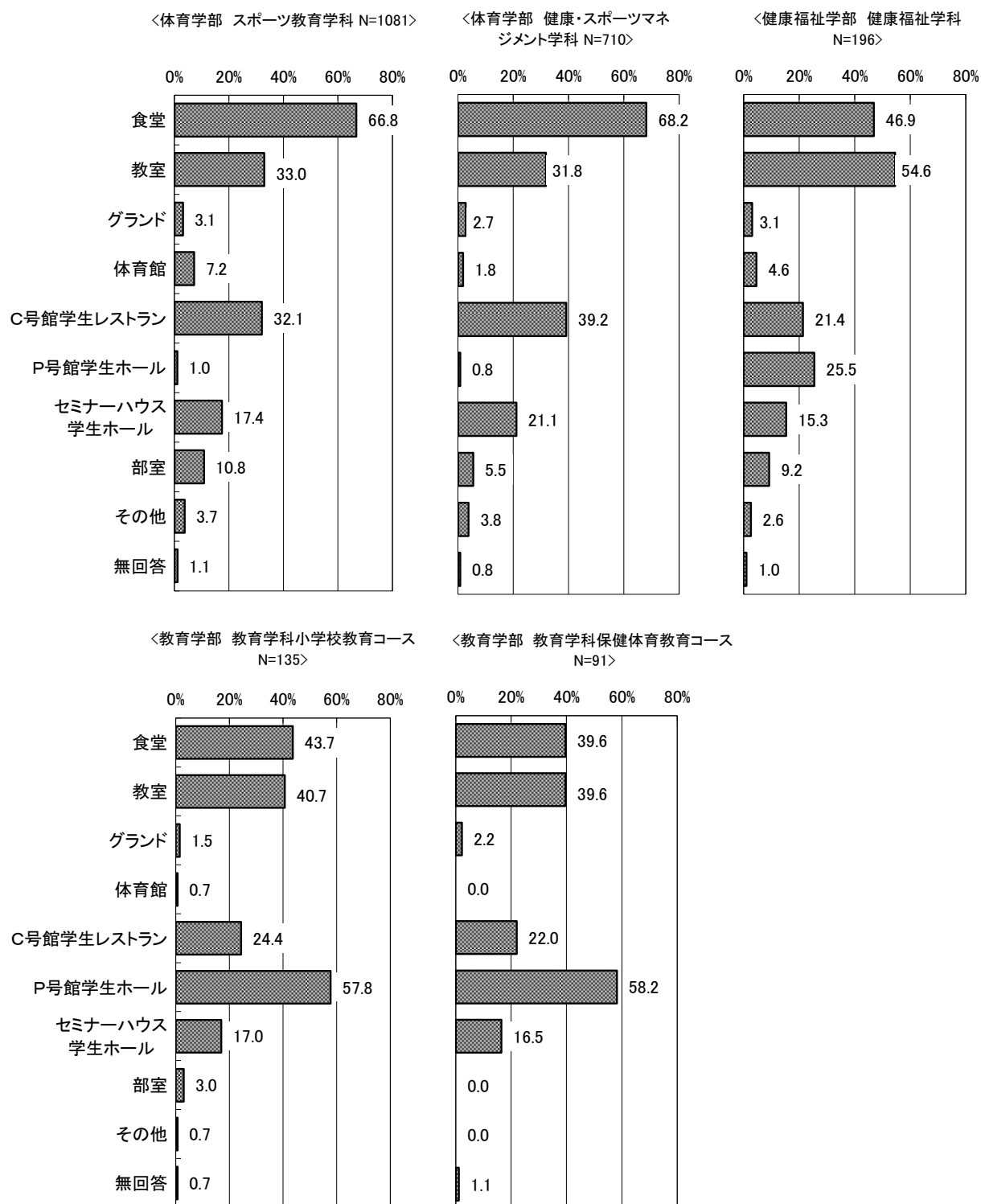
■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（過年度調査）



問46. 所属学部・学科別でみると、体育学部・健康福祉学部の学生は「食堂」の利用が最も多くなっているが、教育学部では「P号館学生ホール」の利用が多くなっている。＜図46-B＞

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（学科別）

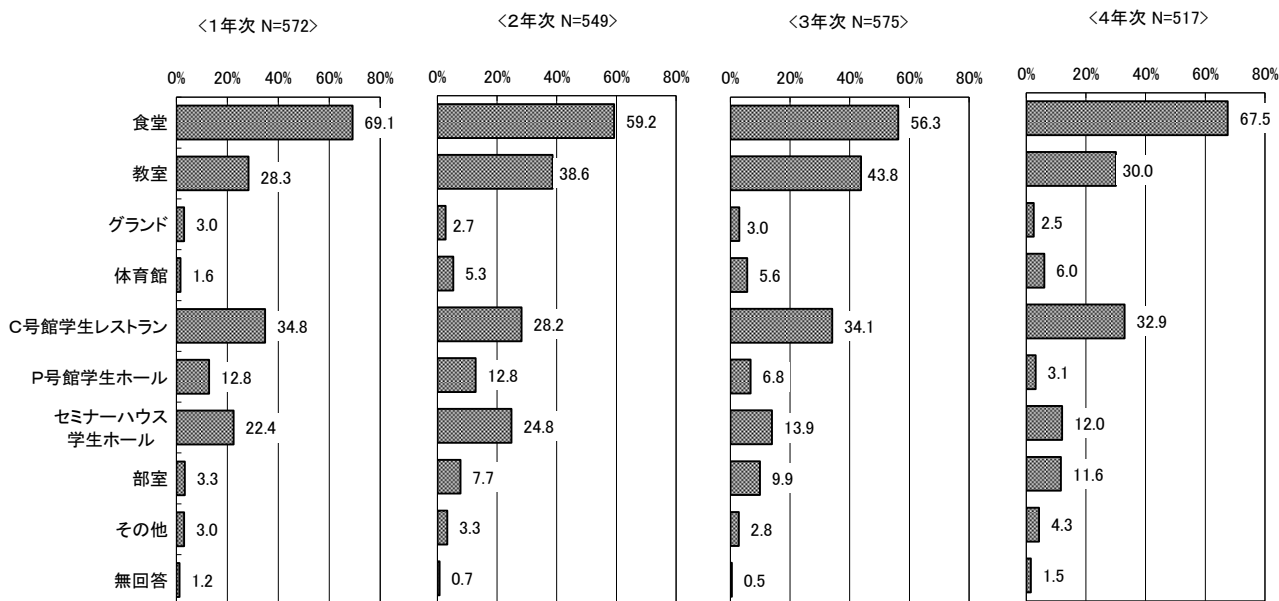
【図46-B 大学内で昼食時に利用する施設（学科別）】



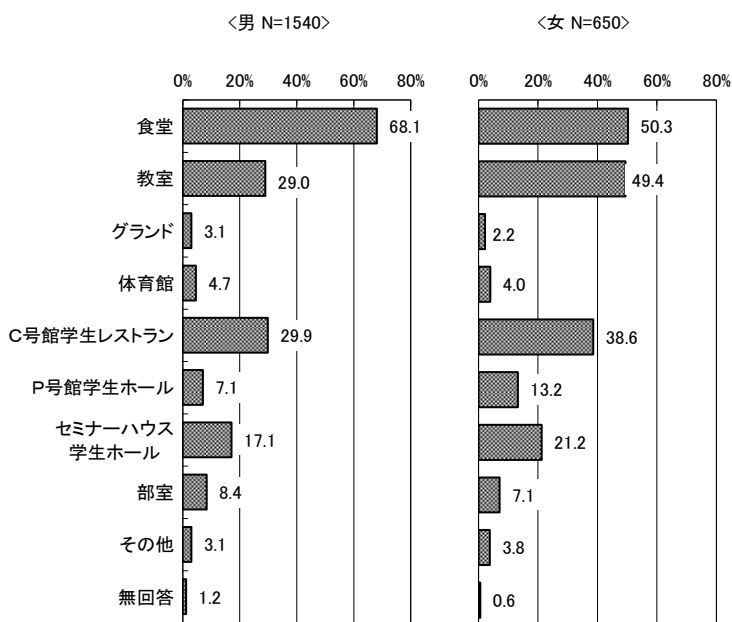
問46. 年次別では、各年次とも「食堂」が最も多く1年次と4年次で約7割を占めている。「C号館学生レストラン」は1年次が34.8%と各年次の中で最も多い。〈図46-C〉
性別でみると、「食堂」は、女子学生の50.3%より男子学生の68.1%の方が多いが、「教室」では男子学生より女子学生の方が20.4%多くなっている。〈図46-D〉

■問46. 大学内で昼食時に利用する施設（年次別・性別）

【図46-C 大学内で昼食時に利用する施設（年次別）】



【図46-D 大学内で昼食時に利用する施設（性別）】



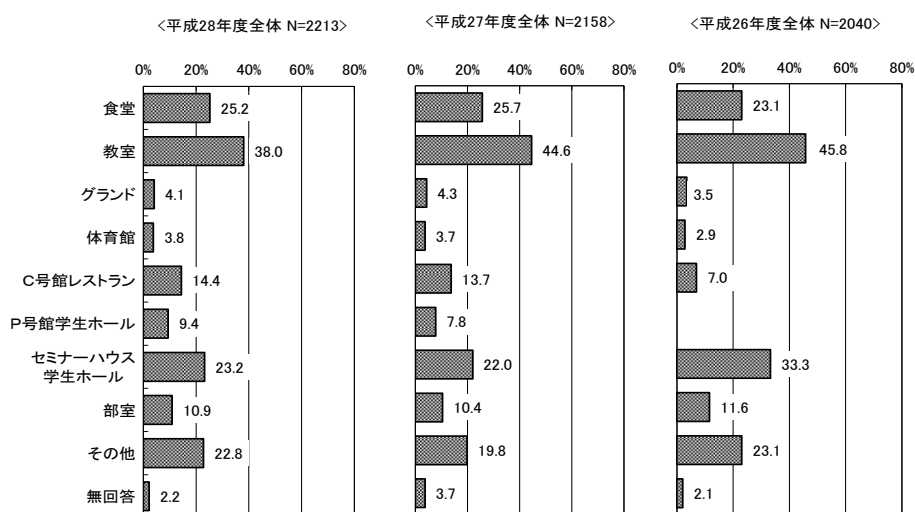
【結果概要（問47）】

問47. 大学内で空き時間に利用する施設としては、「教室」が38.0%で最も多く、次に「食堂」が25.2%、そして「セミナーハウス学生ホール」が23.2%となっている。「その他」の施設としては「図書館」等が挙げられている。＜図47-A＞

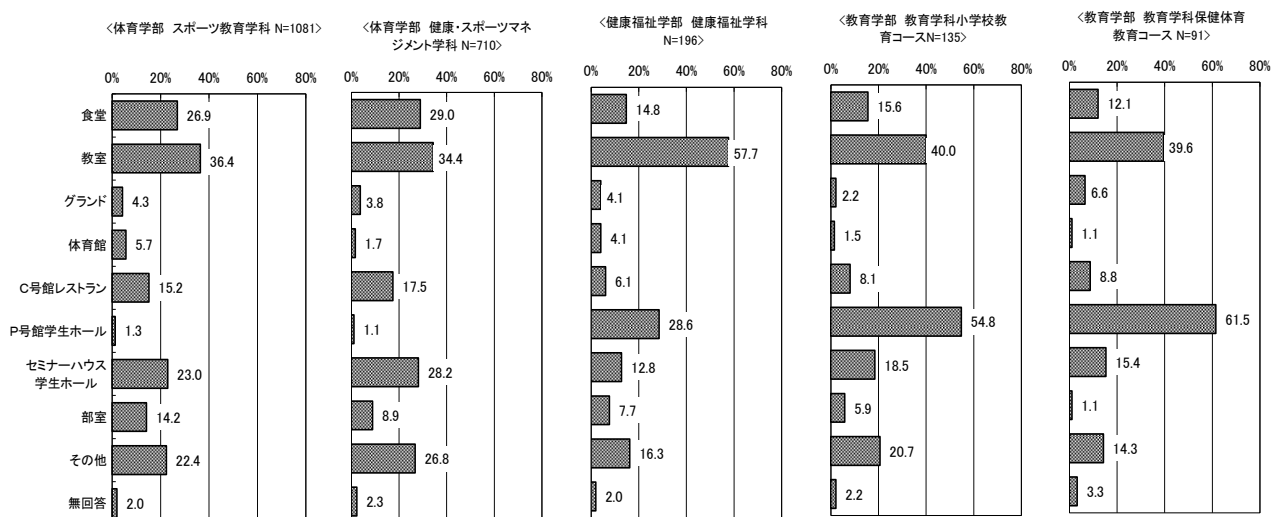
所属学部・学科別では、教育学部教育学科保健体育教育コースの「P号館学生ホール」が61.5%の利用が他の学部・学科と比べて多くなっている。＜図47-B＞

■問47. 大学内で空き時間に利用する施設（過年度調査・学科別）

【図47-A 大学内で空き時間に利用する施設】



【図47-B 大学内で空き時間に利用する施設（学科別）】



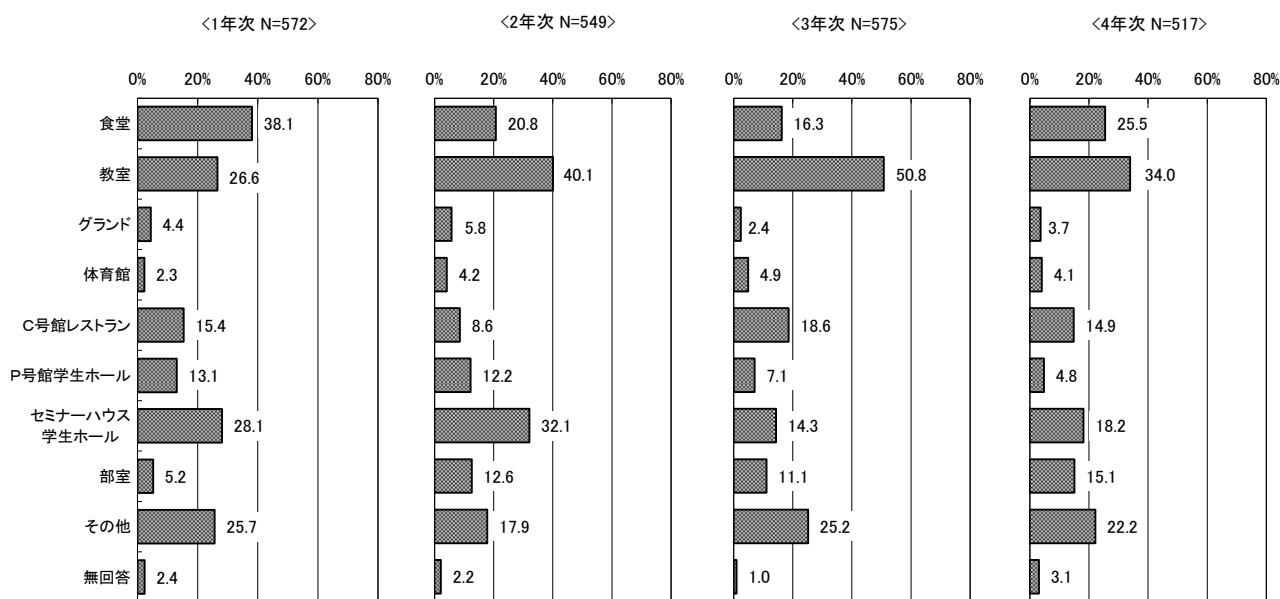
※前回調査より「P号館学生ホール」を新設している。そのため、前々回調査では「該当なし」。

問47. 年次別でみると、1年次は「食堂」が最も高く、2～4年次では教室の利用が最も高くなっている。〈図47-C〉

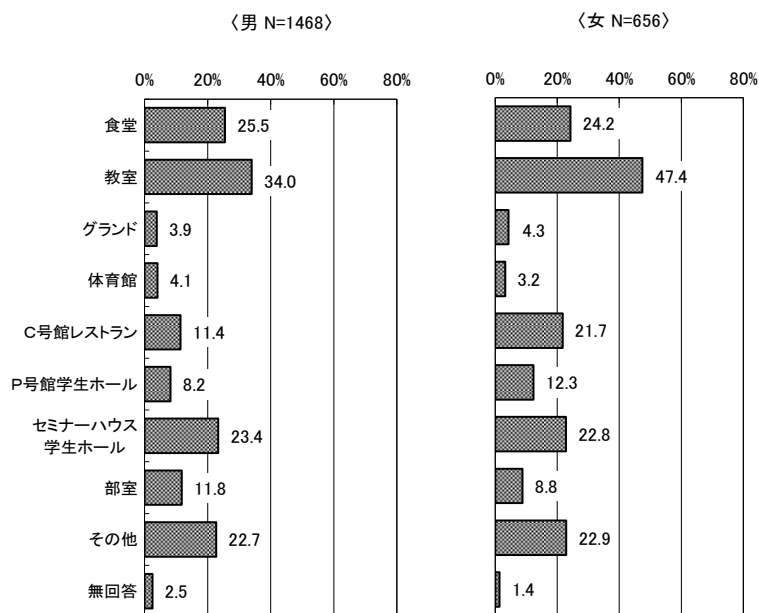
性別でみると、「C号館学生レストラン」が男子学生は11.4%、女子学生は21.7%と女子学生の方が多くなっている。また、「教室」も男子学生34.0%に対して女子学生47.4%と女子学生は約半数を占めている。〈図47-D〉

■問47. 大学内で空き時間に利用する施設（年次別・性別）

【図47-C 大学内で空き時間に利用する施設（年次別）】



【図47-D 大学内で空き時間に利用する施設（性別）】



【結果概要（問48）】

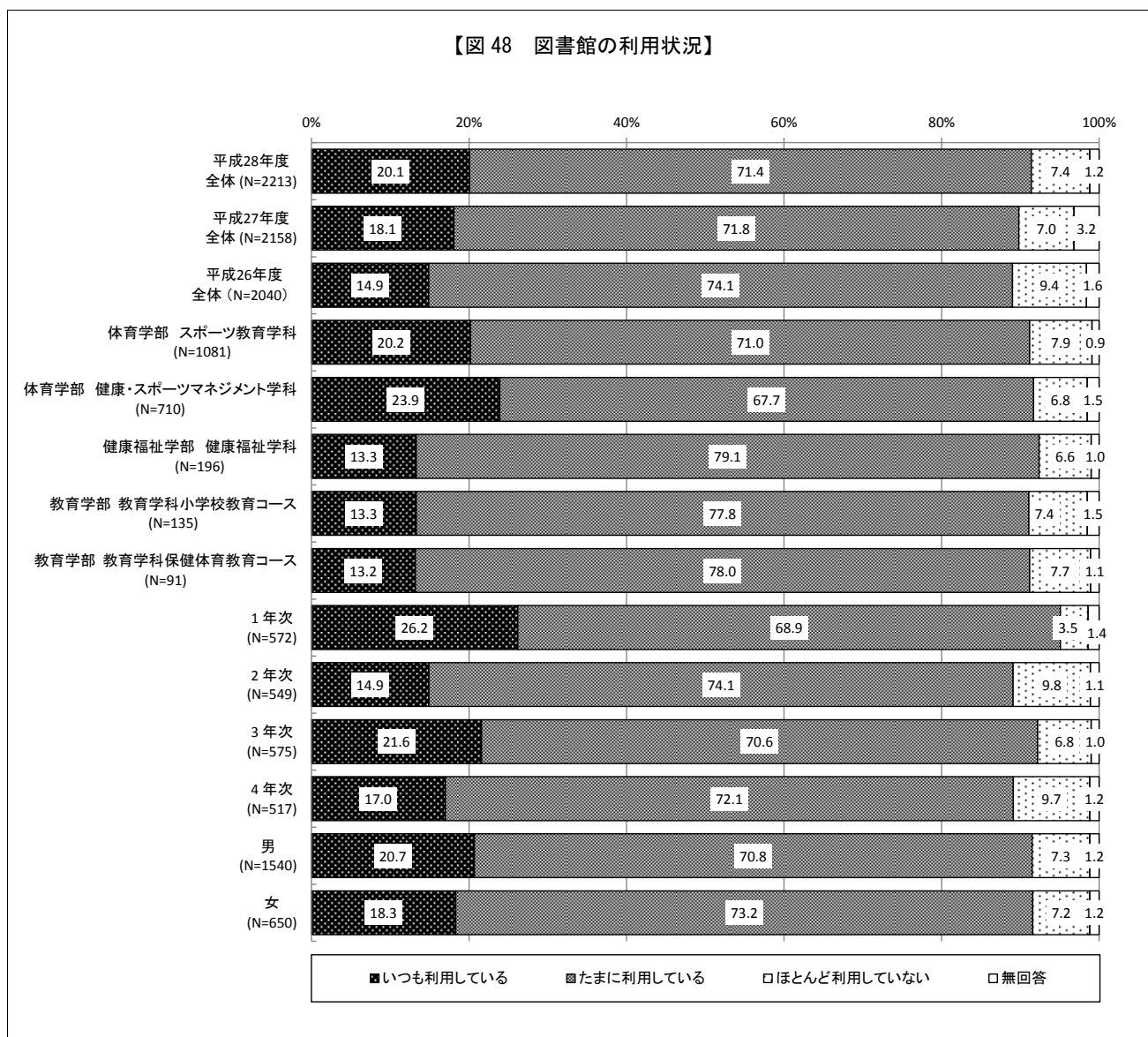
問48. 図書館の利用状況としては、「たまに利用している」が71.4%、「いつも利用している」が20.1%で90%以上の学生が利用している。

所属学部・学科別では、「たまに利用している」と「いつも利用している」を合わせた図書館利用は、割合の高い順に健康福祉学部健康福祉学科(92.4%)、体育学部健康・スポーツマネジメント学科(91.6%)、体育学部スポーツ教育学科・教育学部教育学科保健体育教育コース(91.2%)、教育学部教育学科小学校教育コース(91.1%)となっている。

年次別でみると、「いつも利用している」と「たまに利用している」を合わせた図書館利用の割合は1年次で95.1%と他の年次より高く、一方で2年次では89.0%と最も低くなっている。

性別では、「いつも利用している」は男子学生が20.7%、女子学生が18.3%となっている。< 図48 >

■問48. 図書館の利用状況（過年度調査・学科別・年次別・性別）

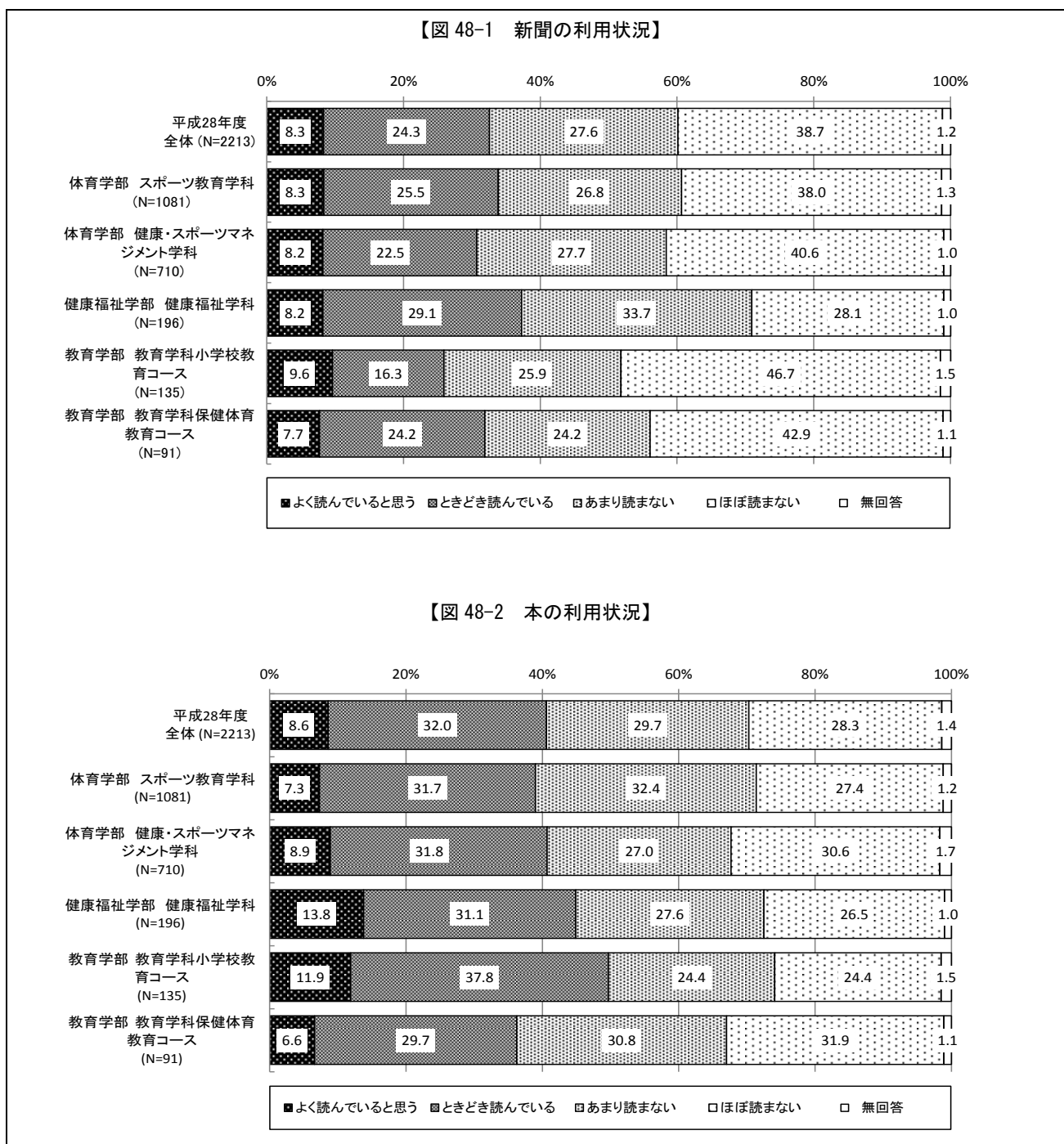


【結果概要（問48-1・48-2）】

問48-1. 新聞の利用状況としては、「ほぼ読まない」が38.7%で最も多く、次に「あまり読まない」が27.6%となっている。「よく読んでいると思う」が8.3%と「ときどき読んでいる」が24.3%の読んでいるは、32.6%となっている。<図48-1>

問48-2. 本の利用状況としては、「ときどき読んでいる」が32.0%で最も多く、次に「あまり読まない」が29.7%となっている。「よく読んでいると思う」が8.6%と「ときどき読んでいる」が32.0%の読んでいるは、40.6%となっている。<図48-2>

■問48-1 新聞の利用状況（学科別） ■問48-2 本の利用状況（学科別）



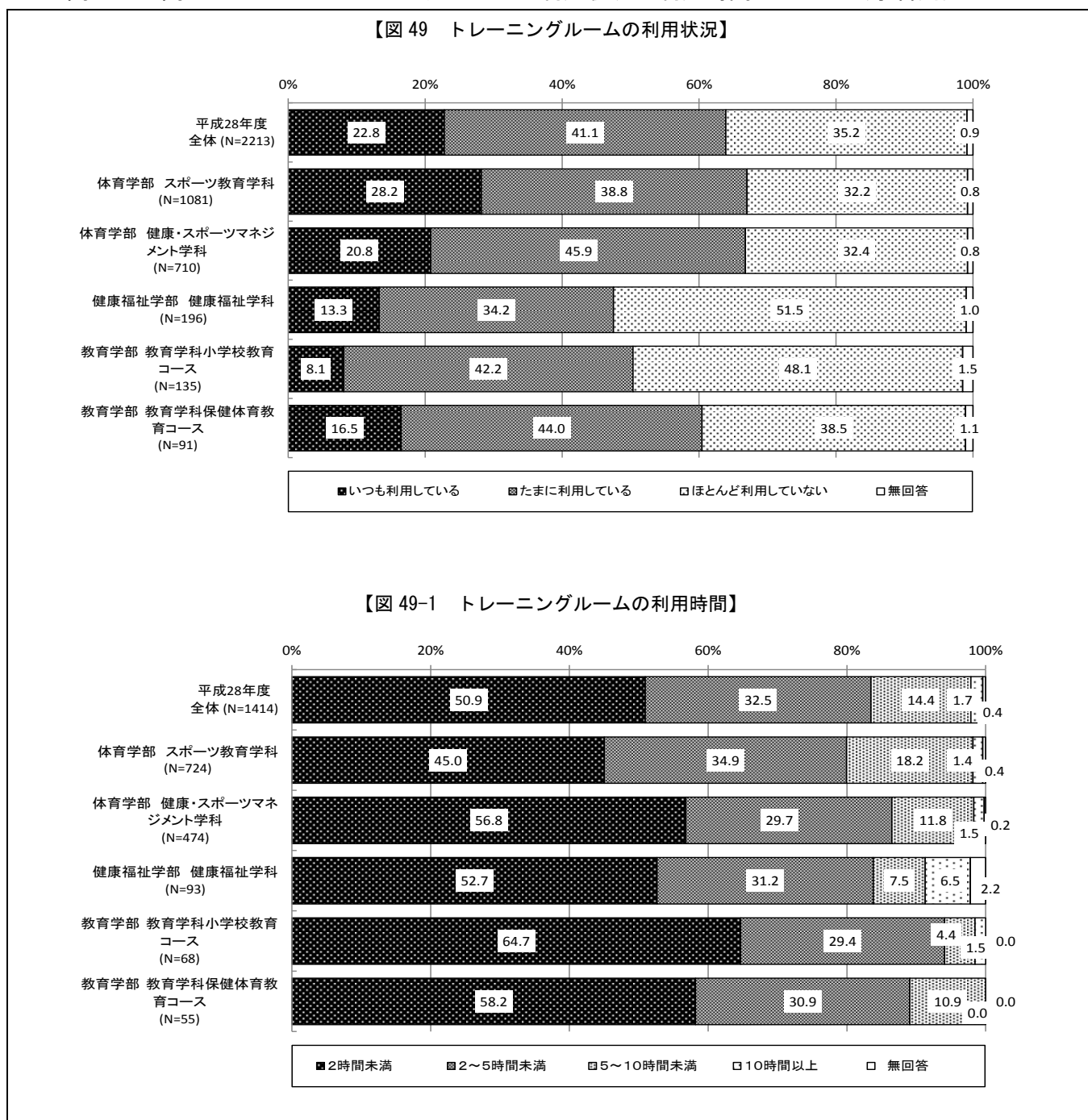
【結果概要（問49・49-1）】

問49. トレーニングルームの利用については、「たまに利用している」が41.1%で最も多く、次に「ほとんど利用していない」が35.2%となっている。

所属学部・学科別でみると、「いつも利用している」は体育学部が2割以上を超えている。<図49>

問49-1. トレーニングルームの利用時間については、「2時間未満」が50.9%と最も多く、次に「2～5時間未満」が32.5%となっている。<図49-1>

■問49・問49-1 トレーニングルームの利用状況・利用時間について（学科別）



【結果概要（問50）】

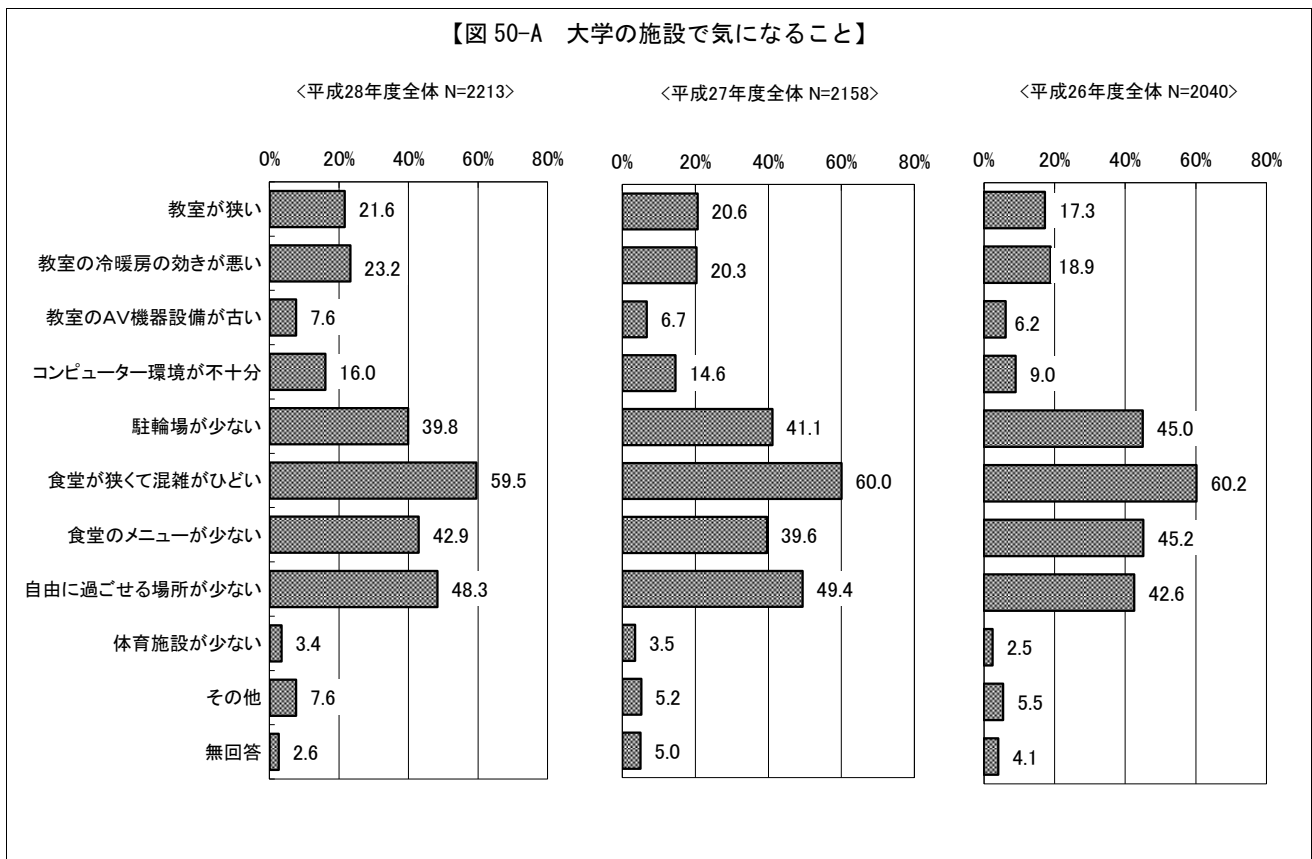
問50. 大学の施設で気になることは、「食堂が狭くて混雑がひどい」が59.5%と最も多く約6割の学生が回答している。次に「自由に過ごせる場所が少ない」が48.3%、「食堂のメニューが少ない」が42.9%、「駐輪場が少ない」が39.8%となっている。前回調査と比べると「食堂のメニューが少ない」については3.3ポイント増加している。＜図50-A＞

所属学部・学科では、全ての学部・学科ともに「食堂が狭くて混雑がひどい」が最も多くなっている。体育学部スポーツ教育学科の「教室の冷暖房の効きが悪い」が27.8%は他の学部・学科と比べて高くなっている。＜図50-B＞

年次別でみると、「駐輪場が少ない」は、1年次では31.3%に対し4年次では48.0%と年次が上がるにつれ割合が高くなっている。＜図50-C＞

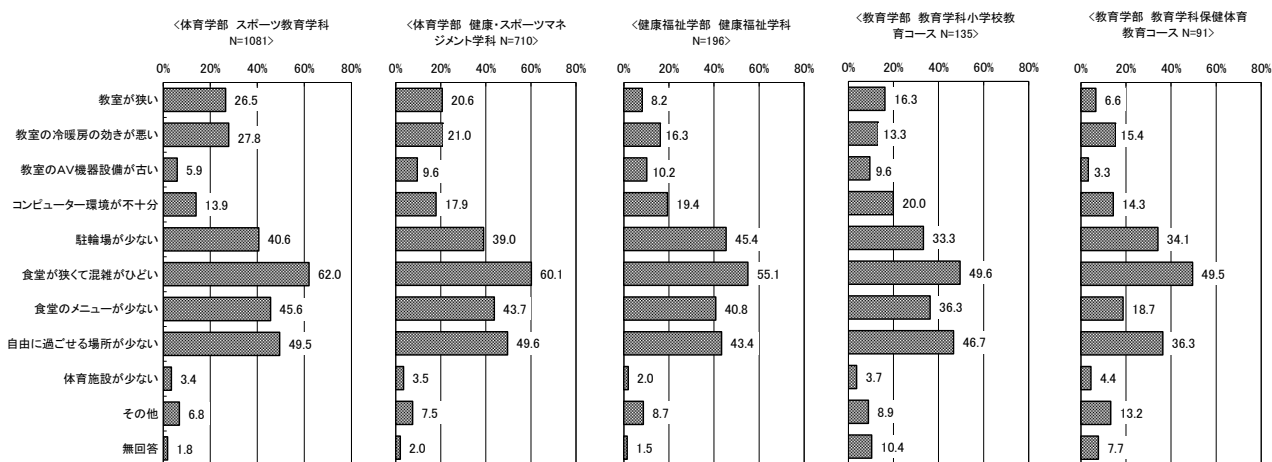
性別でみると、男女とも「気になる」と回答した上位4項目（「食堂関連2項目」「駐輪場」「自由に過ごせる場所」）は同じとなっている。＜図50-D＞

■問50. 大学の施設で気になること（過年度調査）

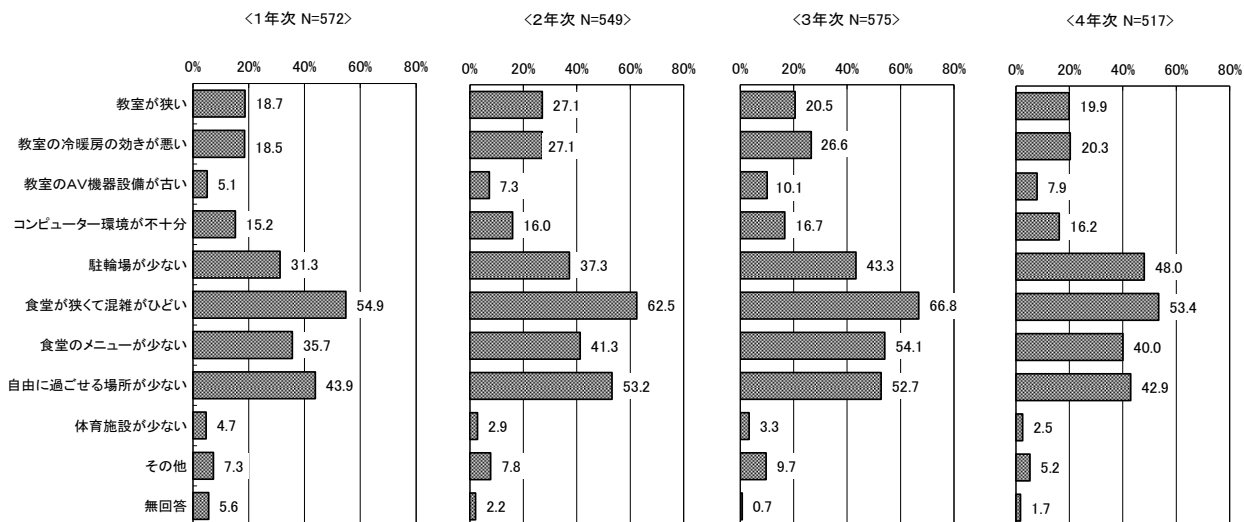


■問50. 大学の施設で気になること（学科別・年次別・性別）

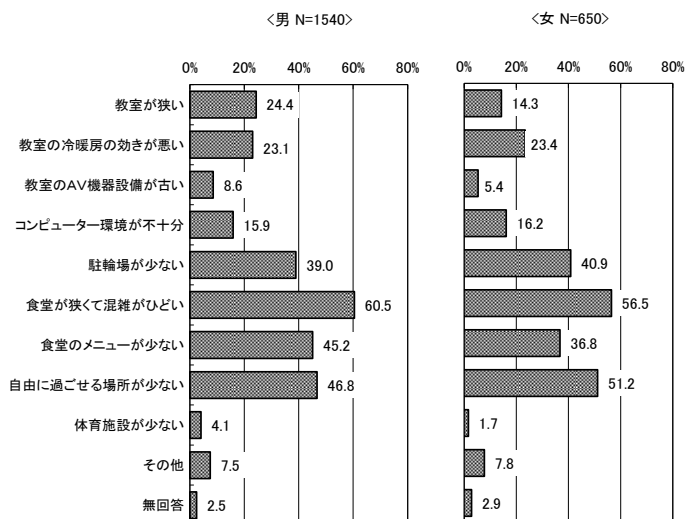
【図50-B 大学の施設で気になること（学科別）】



【図50-C 大学の施設で気になること（年次別）】



【図50-D 大学の施設で気になること（性別）】



【結果概要（問51）】

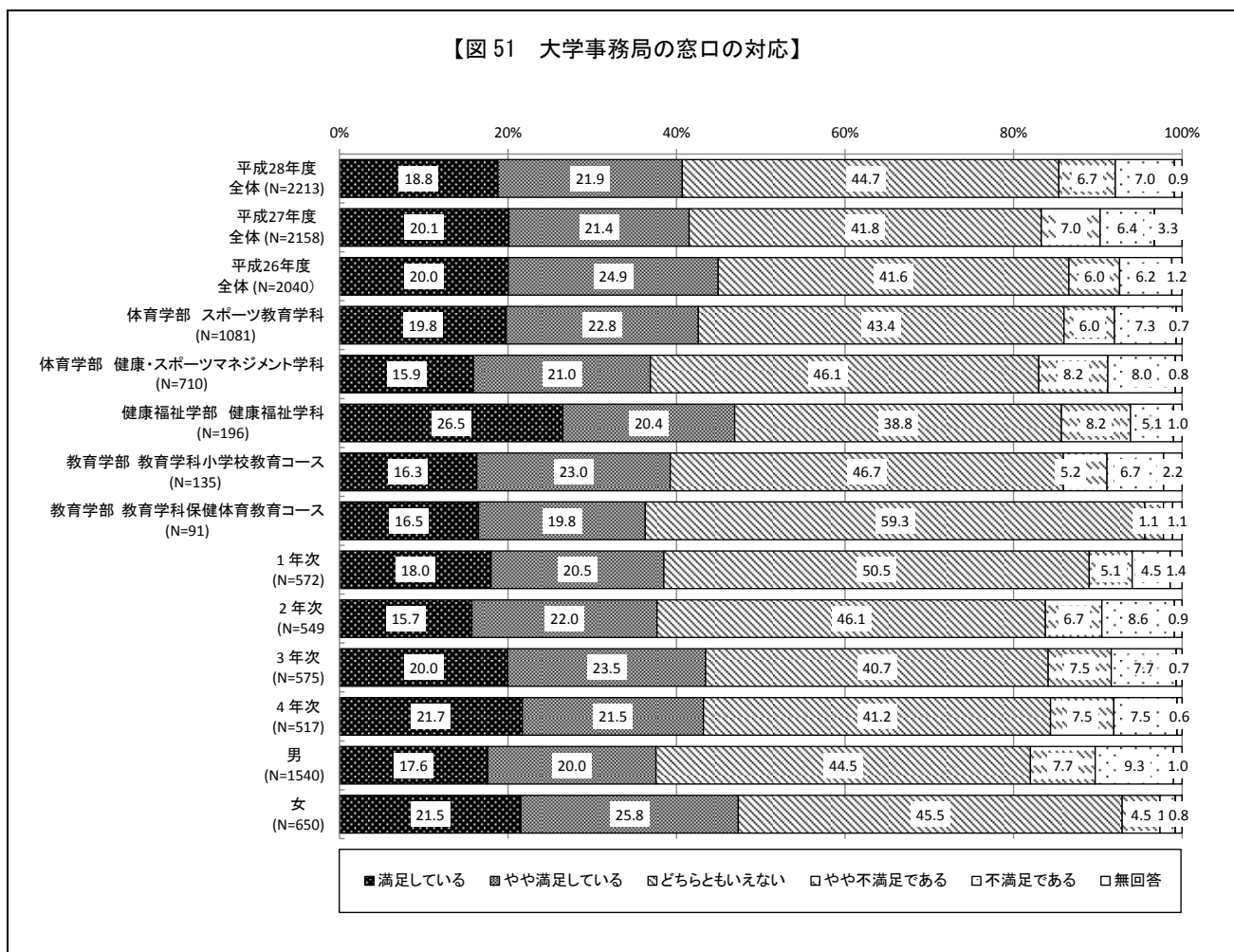
問51. 大学事務局の窓口の対応に対して「満足」（「満足している」+「やや満足している」）は40.7%、「不満足」（「不満足である」+「やや不満足である」）は13.7%と満足が上回っている。

所属学部・学科別でみると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は高い順に「健康福祉学部健康福祉学科」が（46.9%）と最も多く、次に「体育学部スポーツ教育学科」（42.6%）、「教育学部教育学科小学校教育コース」（39.3%）、「体育学部健康・スポーツマネジメント学科」（36.9%）、「教育学部教育学科」（36.3%）となっている。

年次別では、「満足」と回答した割合は3年次で43.5%と最も高くなっている。

性別では、「満足」と回答した男子学生が37.6%に対して女子学生が47.3%と女子学生の方が高くなっている。＜図51＞

■問51. 大学事務局の窓口の対応（過年度調査・学科別・年次別・性別）



【結果概要（問52）】

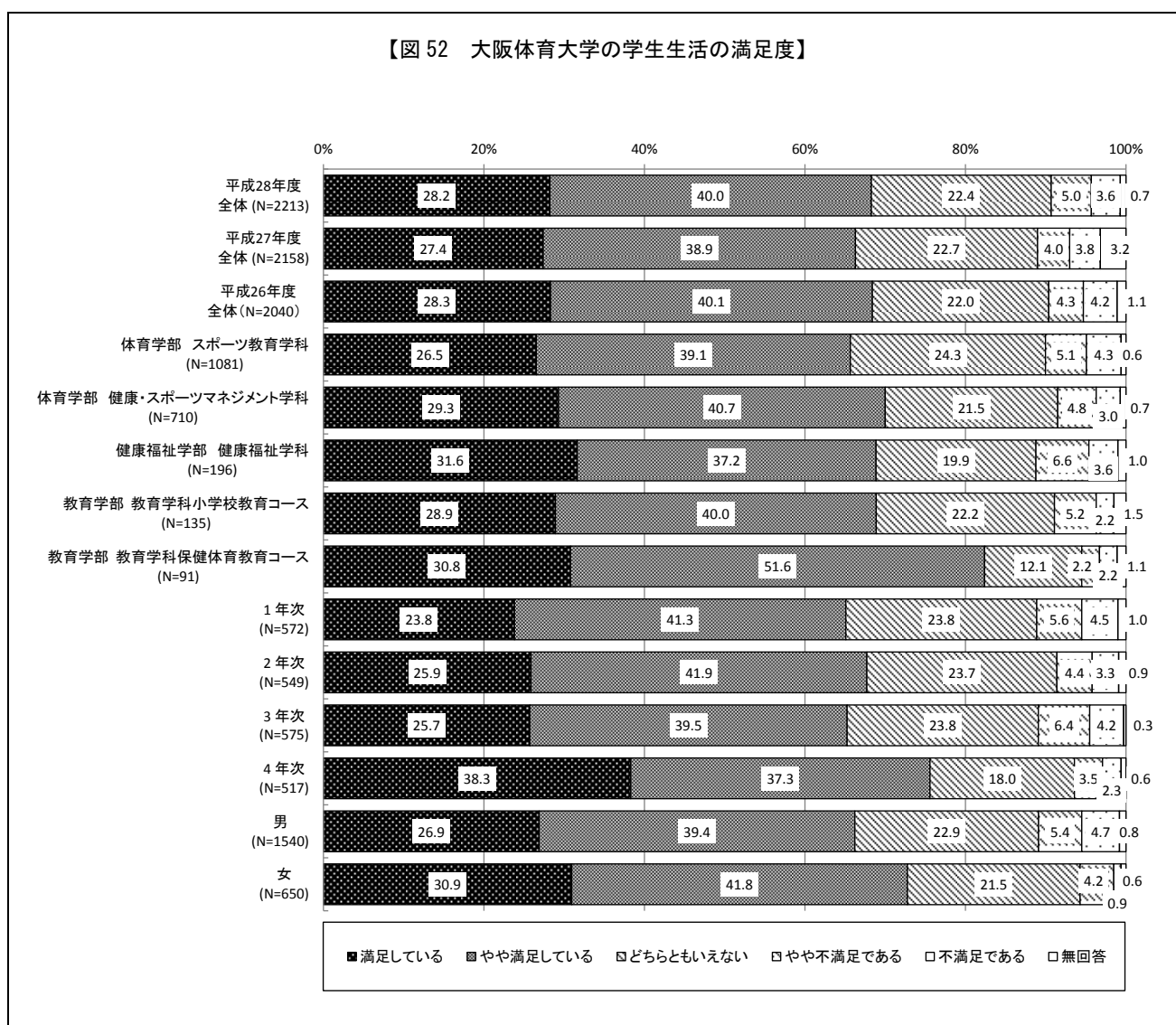
問52. 大学での学生生活の満足度としては、「満足」（「満足している」+「やや満足している」）は68.2%、「不満足」（「不満足である」+「やや不満足である」）は8.6%と満足が上回っている。前回調査と比べると、「不満足」は0.8ポイント増加している。

所属学部・学科別でみると、「不満足」は各学部・学科とも約1割となっている。

年次別では、「満足」は4年次で75.6%と最も高く、一方で1年次が65.1%と最も低くなっている。

性別では、「満足」が男子学生66.3%に対して女子学生が72.7%と女子学生の方が高くなっている。<図52>

■問52. 大阪体育大学の学生生活の満足度（過年度調査・学科別・年次別・性別）



11. 大学への意見・要望

大学への意見・要望の記入数は359人、総数550件でした。

主な項目としては、「施設・設備」関係が337件、「学生生活」関係135件、「授業・教育」関係が48件、「その他」が30件となっており、「施設・設備」関係の意見・要望が最も多くなっています。以下に主な内容を記載します。

□「施設・設備」関係 337件

「施設・設備」関係で最も意見・要望が多かったのは、「食堂」に関する意見が124件と最も多くなっています。その中で「食堂メニューの改善」が56件と最も多く、次に「食堂が狭い」が37件となっています。ほかには「食堂施設の改善」、「食堂の値段を安くしてほしい」、「食堂の混雑緩和」などの運営や施設改善に関しての要望が多く寄せられています。

次に多かったのが「体育施設」に関する意見が61件で、中でもロッカールームに関する意見は34件と多く、「ロッカーが狭い」や「ロッカーに冷暖房をつけてほしい」などのロッカー施設の改善・拡大の要望が多く出ています。次に「駐車場・駐輪場」に関する意見が31件で「駐輪場が狭い」や「駐輪場を増やしてほしい」といった駐輪場の拡大を望む声が出ています。

また、設備に関して「Wi-Fiが繋がりにくい」や「Wi-Fiエリアの拡大」などのWi-Fi環境改善・要望や、「教室の冷房が効きすぎて寒い」などの空調調節に関する意見がありました。

□「学生生活」関係 135件

「学生生活」関係で最も多かったのは、「教職員の対応」への意見・要望が39件でした。「態度が悪い」、「愛想がない」、「自分の意見を押し付ける」、「学生を見下している」、「説明が分かりづらい」などの否定的な意見が寄せられました。事務局としてこれらの意見をしっかりと受け止める必要があると思われます。

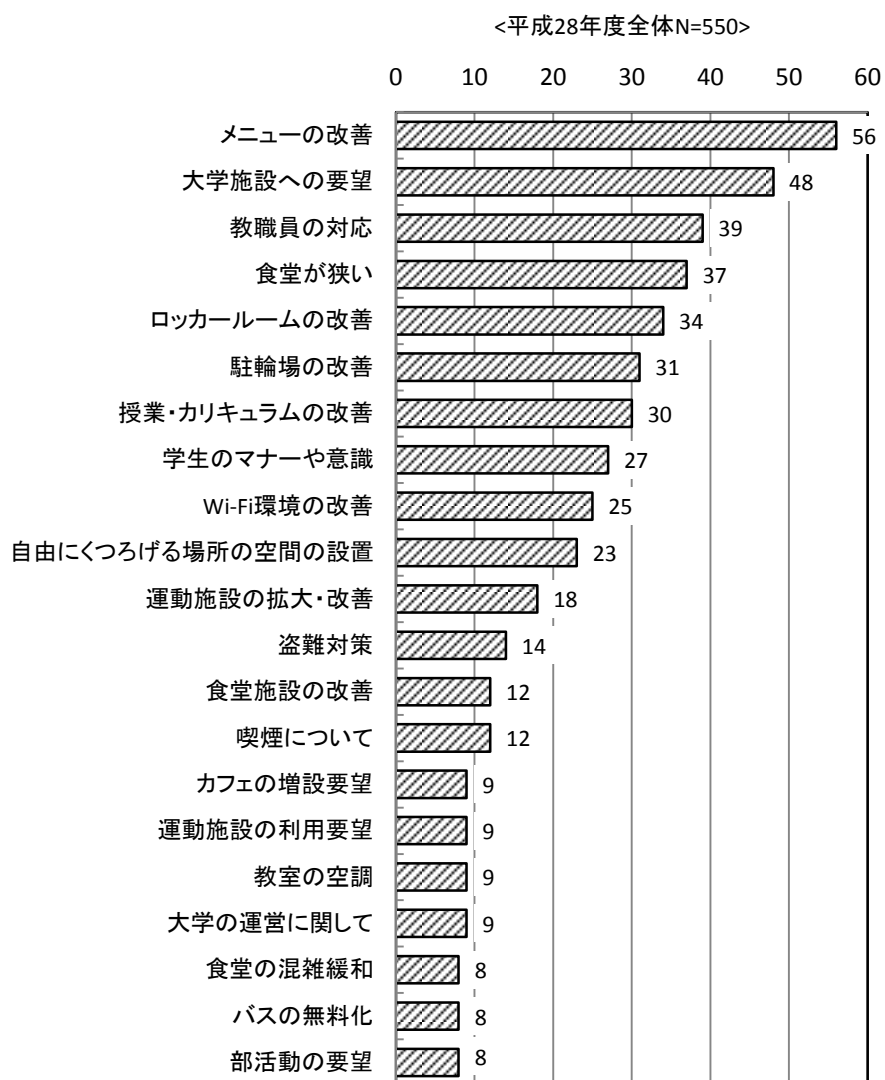
また次に多かったのが「学生のマナーや意識」が27件で、「駐輪場での置き方の悪さ」、「バイクの交通マナー」、「授業を受ける態度の問題」、「外で喫煙をしている」などの意見が出ており学生の意識の向上を求められる結果となりました。次に多い「盗難対策」は14件で「ロッカーや駐輪場に防犯カメラを設置してほしい」といったセキュリティ強化の要望が出ています。

その他には、「校内の全面禁煙」、「通学バスの無料化」、「バスの本数を増やしてほしい」など学業以外の要望が寄せられていました。

□「授業・教育」関係 49件

「授業・教育」関係では、「カリキュラムを改善してほしい」という要望が30件と最も多く、具体的な内容は「部活などの理由での欠席を出席扱いにしてほしい」、「受講できる科目が少ない」、「複数の資格が取得できるようにしてほしい」などの意見がありました。

【大学への意見・要望の主要な20項目】



Ⅲ 資料編

調査票

平成28年度学生生活実態調査ご協力をお願い

この調査は、本学学生の生活実態及び学生の意識を把握することにより、大学の運営の参考にし、より充実した学生生活の提供に資することを目的として実施するものです。

ご回答いただいた内容は全て統計資料としてのみ活用し、内容や意見が個人のものとして取り扱われることはありませんので、ありのままできるだけ正確に回答して下さい。

この調査の集計結果は「大阪体育大学学生生活実態調査報告書」として平成29年3月頃に発行する予定です。

平成28年11月

大阪体育大学

全学学生委員会

調査票の記入にあたって

1. アンケート調査票に鉛筆またはシャープペンシルで直接記入してください。
(お名前の記入は必要ありません)
2. 質問文で(複数回答可)と記載がある質問に関しては、あてはまる選択肢全てに○印をつけてください。(複数回答可)と記載がない質問に関しては、選択肢の中から最もあてはまるもの1つだけに○印をつけてください。
3. 記入された調査票は

11月30日(水)

 までに教学部に提出してください。
4. このアンケート調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

教学部 担当 川添、岩本

TEL:072-453-7024

1. 基本項目

F1 次のそれぞれの項目について、あてはまるものに○印をつけてください。

①所属学部・学科	1. 体育学部 スポーツ教育学科 2. 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 3. 健康福祉学部 健康福祉学科 4. 教育学部 教育学科小学校教育コース 5. 教育学部 教育学科保健体育教育コース
----------	--

②年次	1. 1年次	2. 2年次	3. 3年次	4. 4年次
③性別	1. 男	2. 女		
④入学方法	1. AO入試	2. スポーツ特別AO入試	3. 推薦入試	
	4. 一般入試	5. 編入学入試		
⑤課外活動 (クラブ・同好会)	1. 参加している			
	2. 参加していない			
⑥居住形態	1. 自宅	2. 自宅外で一人生活 → 問1へ	3. 自宅外で共同生活 → 問1へ	
		↳ 問2へ		

2. 住居と暮らしについて

問1 上記⑥で「自宅外」と回答した方にお聞きします。家賃等(共益費等含む)はいくらですか。

1. 3万円未満	2. 3万円～5万円未満	3. 5万円～7万円未満
4. 7万円～9万円未満	5. 9万円以上	

問2 大学への通学方法はどれですか。

1. 電車+バス	2. 電車+バイク	3. 電車+自転車	4. 自動車
5. バイク	6. 自転車	7. 徒歩	8. その他

問3 通学時間は、片道どれくらいですか。

1. 30分未満	2. 30分～60分未満	3. 60分～90分未満
4. 90分～120分未満	5. 120分以上	

問4 通学中に事故の経験がありますか。

- | | |
|---------------|-------|
| 1. ある → 問4-1へ | 2. ない |
|---------------|-------|

問4-1 どのような事故でしたか？(複数回答可)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 自損事故(転倒など) | 2. 接触・衝突をした | 3. 接触・衝突をされた |
| 4. その他() | | |

問5 1ヶ月平均の生活費はいくらですか。(家賃等を除く)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円～4万円未満 | 3. 4万円～6万円未満 |
| 4. 6万円～8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問6 家族からもらう1ヶ月の平均金額はいくらですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 2万円未満 | 2. 2万円～4万円未満 | 3. 4万円～6万円未満 |
| 4. 6万円～8万円未満 | 5. 8万円以上 | |

問7 アルバイトの週平均労働時間数はいくらですか。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. していない | → 問11へ |
| 2. 10時間未満 | } 問7-1へ |
| 3. 10時間～20時間未満 | |
| 4. 20時間以上 | |

問7-1 アルバイトの時間帯はどれですか。

- | | | |
|---------------------------------|--------------------|----------------------|
| 1. 午前中(6:00～12:00) | 2. 昼間(12:00～17:00) | 3. 夕方～夜(17:00～24:00) |
| 4. 深夜から早朝(0:00～6:00) 5. その他 [] | | |

問8 アルバイトの月平均収入はいくらですか。

- | | | |
|----------|--------------|--------------|
| 1. 4万円未満 | 2. 4万円～6万円未満 | 3. 6万円～8万円未満 |
| 4. 8万円以上 | | |

問9 アルバイトをする理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | | | |
|-----------------------------|-------|----------|--------|-------------|
| 1. 生活費 | 2. 学費 | 3. 課外活動費 | 4. 交際費 | 5. 旅行・レジャー費 |
| 6. 携帯電話・インターネット費 7. その他 [] | | | | |

問14 1週間あたりの授業の予習・復習や課題をする時間はどれくらいですか。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0時間 | 2. 1時間未満 | 3. 1時間～6時間未満 |
| 4. 6時間～11時間未満 | 5. 11時間～16時間未満 | 6. 16時間以上 |

問15 学習支援室の利用についてお聞きします。

- | |
|------------------------------|
| 1. よく行って利用している |
| 2. たまに行って利用している |
| 3. 学習支援室があるのを知っているが利用したことはない |
| 4. 学習支援室があるの知らない |

問16 通信機器を持っていますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|------------|---------|------------|
| 1. 携帯電話 | 2. スマートフォン | 3. パソコン | 4. タブレット端末 |
| 5. 持っていない | | | |

問17 大学でのパソコンの利用目的はどれですか。(複数回答可)

- | | | |
|-------------|----------------------------|-------------|
| 1. 授業・演習・実習 | 2. レポート・課題作成 | 3. Eメール |
| 4. 就職活動 | 5. クラブ・同好会の活動 | 6. ブログ・HP作成 |
| 7. ウェブページ閲覧 | 8. チケット予約・ショッピング・ネットオークション | |
| 9. その他 [] | | |

問18 大学でのパソコンの主な利用場所はどこですか。

- | | | |
|------------|---------------|--------|
| 1. 大学図書館 | 2. キャリア支援センター | 3. ゼミ室 |
| 4. その他 [] | | |

問19 大阪体育大学のGoogleポータルサイト(大学からの各種情報提供サイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問20 Gmailを利用していますか。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 大学とプライベートの両方で利用している | 2. 大学からの通信手段として利用している |
| 3. 公私ともにあまり利用していない | |

問21 Campusmateポータルサイト(休講情報や呼出し、セミナー情報等提供サイト)を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. よく知っており、毎日アクセスしている | 2. 名称は知っており、時々アクセスする |
| 3. 名称を知らないし、アクセスしたこともない | |

問22 問19、問20、問21で「1」または「2」と回答した方のみ、利用している媒体をお答え下さい。
(複数回答可)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 自宅のパソコン | 2. 大学のパソコン | 3. スマートフォン |
| 4. 携帯電話 | 5. タブレット端末 | |

4. 課外活動等について

問23 学内の課外活動に参加していますか。

- | | | |
|----------------|---|--------|
| 1. クラブに参加 | } | 問23-1へ |
| 2. 同好会・サークルに参加 | | |
| 3. 参加していたがやめた | } | 問23-2へ |
| 4. 当初から参加していない | | |

問23-1 1週間あたりの活動時間はどれくらいですか。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 5時間未満 | 2. 5～10時間未満 | 3. 10～15時間未満 |
| 4. 15～20時間未満 | 5. 20時間以上 | |

問23-2 不参加の理由は何ですか。(複数回答可)

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| 1. 練習・活動についていけない | 2. 人間関係 | 3. 経済的な負担 |
| 4. 時間的余裕がない | 5. 学業の妨げになる | 6. 面白くない |
| 7. 学外での活動に参加したい | | |
| 8. その他 [|] | |

問24 2年生以上の方にお聞きします。大学祭(両山祭)に参加していますか。

- | | | | |
|--------------|--------|--------------|----------|
| 1. 参加したことがある | → 問25へ | 2. 参加したことがない | → 問24-1へ |
|--------------|--------|--------------|----------|

問24-1 不参加の理由は何ですか。

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| 1. クラブ等で忙しい | 2. 興味がない | 3. 内容が面白くない |
| 4. その他 [|] | |

5. 健康等について

問25 朝食を摂っていますか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ほとんど毎日摂る → 問25-1へ | 2. 週に2～3回摂る → 問25-1へ |
| 3. 摂らない → 問26へ | |

問25-1 朝食は主にどこで摂っていますか。

- | | | |
|------------|------------|---------------------------------|
| 1. 自宅または下宿 | 2. 大学の学生食堂 | 3. その他 [] |
|------------|------------|---------------------------------|

問26 三食の栄養摂取状況についてお答え下さい。(該当する物の数字をカッコ内に5つまで記入)

- | | | | |
|------------------|----------------------------------|--------|--------|
| 1. 主食(ご飯、麺類、パン等) | 2. 野菜 | 3. 肉類 | 4. 魚介類 |
| 5. 豆類(豆腐、納豆等) | 6. 卵 | 7. 海藻類 | 8. 乳製品 |
| 9. 果物 | 10. その他 [] | | |



- | | | | | | |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 朝食 ⇒ | () | () | () | () | () |
| 昼食 ⇒ | () | () | () | () | () |
| 夕食 ⇒ | () | () | () | () | () |

問27 食生活についてどう感じていますか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 特に不満なし | 2. 食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない → 問27-1へ |
| 3. 食べたいものが食べられない | 4. 野菜が不足している |
| 5. 栄養が偏っている | 6. インスタントや加工食品が多い |
| 7. 何を食べたらよいか分からない | |

問27-1 「食べた方が健康に良いと思われるものが食べられてない」理由は何ですか。

(複数回答可)

- | | | | |
|----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 身近にない | 2. 時間的余裕がない | 3. 経済的余裕がない | 4. 作るのが面倒 |
|----------|-------------|-------------|-----------|

問28 本学が毎日実施している「100円朝食」について、お聞きします。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. ほぼ毎日利用している。 | 2. ときどき利用している。 |
| 3. たまに利用している。 | 4. 知っているが、利用したことがない。 |
| 5. 知らなかったので、利用したことがない。 | |

問28-1 「100円朝食」について、感じたことはどれですか。(複数回答可)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 100円朝食は良い試みなので、今後も継続してほしい。 |
| 2. 100円朝食に和・洋の2種類のメニューが選べるのが良い。 |
| 3. 100円朝食の1日60食は少ないので、増やしてほしい。 |
| 4. 100円朝食には、あまり関心がない。 |
| 5. 100円朝食は意味がないので、やめた方がよい。 |

問29 タバコについてお聞きします。

- | | | | |
|-------------|----------|-----------|----------|
| 1. 以前から吸わない | → 問30へ | 2. 今は吸わない | → 問29-1へ |
| 3. 現在喫煙している | → 問29-1へ | | |

問29-1 喫煙はいつごろから始めましたか。(問29-2へ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 大学入学前から吸っている | 2. 大学入学後から吸い始めた |
|-----------------|-----------------|

問29-2 喫煙のきっかけは何でしたか。(問29-3へ)

- | | | |
|----------------|-----------|-----------|
| 1. カッコいいから | 2. 友人のすすめ | 3. 先輩のすすめ |
| 4. いつの間にか吸っていた | 5. その他 [|] |

問29-3 禁煙をしたことがありますか。(問29-4へ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問29-4 学内が全面禁煙(喫煙場所がなくなる)になった場合どうしますか。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 積極的に受け入れる | 2. 仕方なく受け入れる | 3. 受け入れできない |
|--------------|--------------|-------------|

問30 学内での喫煙・禁煙についてお聞きします。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 全面禁煙にすべき | 2. 喫煙場所での喫煙のみ認める |
|-------------|------------------|

6. 不安や悩みについて

問31 現在、悩みや課題はありますか。

- | | | |
|-------|---------|-----------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ほとんどない |
|-------|---------|-----------|

問32 悩みや課題の具体的内容は何ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|---------|
| 1. クラブ活動 | 2. 学業 | 3. 就職・進路など | 4. 対人関係 |
| 5. 身体上の健康 | 6. 精神上的の健康 | 7. 家族の問題 | 8. 学生生活 |
| 9. 恋愛 | 10. ハラスメント | 11. 悩み・課題なし | |
| 12. その他 [| | |] |

問33 悩みは誰に相談しますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------|---------------|-------------|----------|
| 1. 家族 | 2. 大学の友人 | 3. 高校までの友人 | 4. 大学の教員 |
| 5. 学生相談室 | 6. キャリア支援センター | 7. 教職支援センター | 8. 教学部 |
| 9. 身近にいない | 10. 誰にも相談しない | 11. その他 [|] |

問34 学生相談室についてお答え下さい。

- | |
|-----------------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 存在は知っているが利用したことはない |
| 3. 存在を知らないので利用したことがない |

7. マナー等について

問35 マナーアップキャンペーンについてお答え下さい。

- | |
|------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. キャンペーンをしていることは知っている |
| 3. 全然知らない |

問35-1 マナーアップキャンペーンに5回参加したら「活動参加証明書」をもらえるのを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問36 あなたが悪いと思う学生のマナーをお答え下さい。(複数回答可)

1. 授業中の私語	2. 授業中の携帯電話	3. 教室内での飲食
4. ゴミの捨て方	5. 食堂でのマナー	6. 通学時のバイク等の交通マナー
7.ロッカーの整理・整頓	8. その他 []

問37 あなたは学内で何らかの被害にあったことがありますか。(複数回答可)

1. かばん、服、靴などの盗難被害	2. 財布・現金等の盗難被害
3. 自動車・バイク・自転車の盗難被害	4. 痴漢・のぞき等被害
5. 暴行・傷害被害	6. ストーカー被害
7. 霊感、マルチなどの悪徳商法の被害	8. 新興宗教などへの強引な勧誘被害
9. いじめ被害	10. その他被害[
11. 被害にあったことはない]

8. 進路と就職について

問38 あなたの進路についてお答え下さい。

1. 進学する	2. 就職する	3. まだ決めていない
4. その他 []	

問39 あなたの進路を考える上での情報の入手手段は何ですか。(複数回答可)

1. 指導教員(ゼミ)	2. クラブ指導教職員	3. 先輩・知人	
4. 就職情報誌・マスコミ	5. 家族	6. インターネット	7. キャリア支援センター
8. 教職支援センター	9. 授業(キャリアセミナー、キャリアデザイン)		
10. キャリアフェスタ	11. その他 []	

問40 あなたの将来の希望職種は何ですか。(複数回答可)

1. 教員	2. 警察官	3. 消防士	4. その他公務員
5. 企業	6. 生涯スポーツ(フィットネス等)関係	7. 医療・福祉関係	
8. プロ・実業団選手	9. その他 []	

平成28年度 学生生活実態調査 報告書

平成29年3月

編集・発行 大阪体育大学 全学学生委員会

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

TEL 072-453-7024 (教学部学生支援担当)